臺灣日日新報 夕刊
十二月二十八日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 [illegible]
臺北市榮町四丁目 發行所 臺灣日日新報社
基隆市旭町（電話七八五）基隆支局
臺中市寶町（電話四〇七）臺中支局
臺南市錦町（電話貳〇七）臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區靭南通貳丁目 大阪支局
東京市京橋區銀座二丁目（ユタカビルディング內）東京支局

「明徵問題を繞り」

政友會內の兩派
對立愈よ激化
幹部も統制に難澁

【東京二十八日發】議會休會と共に政局は[illegible]狀の儘來春に持越されることとなつたが、政友會內には明徵派と之を政爭の具に供するは不可なりとする一派とが對立し、然も後者の中には之に依つて政友會の强硬態度を緩和し本議會を無解散に導かんとするものさへあり、對立は益々深刻化しつつある、卽ち二十七日午後六時明徵派の山本悌二郎、猪野毛利榮、竹內友治郎、河上哲太氏等十餘代議士は築地瓢屋に會合して飽くまで明徵問題一本槍を以て政府を彈劾すべきであるとし黨幹部を鞭撻して所期の目的を達成すべきであるといふに意見一致を見午後九時散會した、一方非明徵派の植原悅二郎、八角三郎、[illegible]野田俊作氏等三十七氏は同日午後四時より虎ノ門晚翠軒に會合し明徵問題を中心として種々懇談し之が緩和策に就き協議するなど黨內兩派は自派の主張貫徹に躍起となつて居り幹部さへこの間に處して統制に足並揃はぬ狀態で之が成行は注目さる

政局今後の革正上
解散は望ましい
安達氏が首相に考慮を促す

【東京二十七日發】安達國同總裁は二十七日午後四時十分首相官邸に岡田首相を訪問し第六十八議會に對する國民同盟の態度並に今後の方針を說明し解散氣構への休會明け議會に臨して政府は徒らに政友會並に各方面の情勢に顧慮することなくこの際飽くまで確乎不拔なる態度を持し斷然解散の强硬方針に出るは政局今後の革正上望ましきものである旨縷々進言し政府の考慮を促して四時半辭去した

學生運動が轉化
排日貨運動へ
我外務當局は成行重視

【東京二十七日發】國民黨では過般來學生運動を煽動し排日運動は漸次擴大化の形勢にあるが二十七日着外務省公電[illegible]公電に依ると國府は漸次組織的な排日貨運動に轉化の勢を示してゐるので外務省でも事態を重視してゐる、卽ち南京の各同業組合代表學校代表等二千名は二十五日南京市政府に參集し國貨提倡運動會式を擧げ國貨を販賣し或はポスターを貼布して國貨使用及び排日貨を宣傳してゐるが標語として「支那品を用ひざる者は支那人にあらず」等露骨な文句を使用し排日貨の氣勢を煽つてゐる、右運動會は更に三十日大會を開き排日貨行列を行つて排日貨運動を强化する豫定であるが排日貨運動の形勢は注目されてゐる

學生團が
徐州驛占領
津浦隴海兩線は全く不通

【徐州二十七日發同盟】徐州の學生團體は氣勢を揚め二十七日午後百名の男女學生は北支自治反對請願のため南京に赴かんとして徐州驛を占領したので津浦線及び隴海線は運轉全く不通となつた

南京、安亭間
鎭江に戒嚴令

【南京二十八日發同盟】南京衞戍司令谷正倫氏は中央の命に依り過般の學生運動の[illegible]南京、安亭間の戒嚴司令に就任し二十七日夜より右地帶に特別戒嚴令を布いた、鎭江でも二十七日より戒嚴令が布かれた

平漢線も不通

【上海二十八日發同盟】河南省政府來電によれば同地學生二千餘名は二十六日停車場に押寄せ列車を占領して南京行乘車を强要したため平漢鐵道も不通となつた

須磨總領事が有吉大使と重要會談

【上海二十七日發同盟】須磨總領事は二十七日午後八時來滬し有吉大使と會見したが二十八日更に有吉大使、喜多武官等と打合せの上二十九日長崎丸で東上、廣田外相に重要報告することになつた

廣西の印象は
極めて良好
廣東で根本新聞班長語る

【廣東二十七日發同盟】[illegible]根本新聞班長は廣西省の視察を終へ二十七日廣東に歸來、二十八日は陳濟棠、鄒敏成氏等と會見し同夜は更に廣東の要人招待宴に臨む豫定で同大佐は廣西の視察の結果に就き左の如く語つた

廣西の民團訓練と經濟建設の情況は豫想以上に良好である、自分は廣西において長年に亙る支那軍閥中初めて敬服させられた李宗仁、白崇禧氏等との會見においては東亞の平和は西南支那の一角より來ると自負を强めた兩氏は此上とも何分日本よりの指導と援助を望むと外交辭令の交々で熱意を表明してゐた一要するに廣西の印象は極めて良かつた

盟通專務理事
岩永裕吉氏

【東京二十八日發】社團法人同盟通信社は旣に成立登記を完了し愈明年一月一日より業務を開始する筈であるが新聞聯合社は豫ての公約に基づき本月三十一日限り同社を解散して同盟通信社に參加する事に決定したので二十六日の同盟通信社理事會に於て

專務理事 岩永裕吉
常務理事 畠山敏行
同 古野伊之助

三氏を選任し夫々就任の承諾を得た、尙前記三氏及び他の常務理事に日[illegible]

總督府政納式

二十八日午前十時から總督府正廳に於て昭和十年度の政納式が擧行された、府內高等官が出席、中川總督より左の如き挨拶ありて後小濱民政長官代理より答辭あり十時半閉式した

總督挨拶

◇光陰は眞に白駒の隙を過ぐるが如く匆々として又一年早くも茲に御用納の式を擧ぐべき日と相成り過去一年を追懷して轉た感慨深きものあるを覺ゆるのであります、私は先以て客月二十八日畏くも第二皇子義宮正仁親王殿下の御生誕を拜し我が皇室の彌榮を益すことに對して謹んで御慶びを申上げ奉りたいと存ずるのであります

◇顧みますれば本年は始政四十周年に相當致し例年に比し幾多の施設事業が行はれたる實に多忙の年でありましたが各位の熱誠事に當られたる結果總て洵に好成績を以て終始せられ本島文化の向上に寄與するところ鮮からざりしことは私の感謝措かざるところであります

◇一月には李王垠殿下の島內御視察を拜し二月には練習艦隊の寄航に依りまして御乘組の久邇宮朝融王、朝香宮正彥王、伏見宮博英王の三殿下を御迎へ致しましたが諸事滯りなく相濟み本島の山川光榮に輝き其の民心に及ぼす感化の甚だ大なりしこと誠に恐懼感激に堪へざる次第であります

◇四月二十一日の新竹、臺中兩州に於ける大震災は本島稀有の慘事で罹災民に對し洵に同情に堪へざるところでありまするが之に對する應急及善後の措置機宜を失せず一般をして倚安の念を深からしめたるのみならず畏くも、天皇皇后兩陛下の難有御聖旨と翕然たる國民の同情の顯はれは島民をして一視同仁內臺融和を如實に體驗せしめ所謂禍を轉じて福たらしめたるものと感謝する次第であります

◇久しく開會の機會なかりし府評議員會も五年振りにて開催せられ多年の懸案であつた地方制度の改正も亦實施を見其の第一回選擧も豫期以上の好成績を以て行はれたることは當局關係者諸君の熱心なる指導努力と島民自覺の結果であつて洵に欣快に存ずるところであります、併し乍ら其の最も主眼とするところは寧ろ今日以後の制度の運用如何に存するのでありますから私は諸君が更に不斷の熱誠と努力とを以て制度改正の目的たる共同一致國民精神の振作に貢獻せられん事を希望して已まざる次第であります、更に始政四十周年の記念式典及同記念博覽會又は熱帶產業調査會等皆夫々十二分の成績を以て終始致し或ものは島民をして其の自己の現況如何を明確に認識せしむると共に或ては中外に本島の重要性を周知せしむる上に於て又或ものは本島天賦の使命たる南支南洋に對する經濟發展に關し適切の資料を供する上に於て至大の貢獻を爲したることに對し感謝を禁ぜざる次第でありまするが夫れと共にこれ亦其の眞の目的としたる效果を收むることは今後此の得たる資料を如何に利用するかに懸つて存することを忘れてはならぬのであります、斯の如く本年中に施設せられたる事項中主要のもの二三を摘出して考へ見ましても私は何れも皆諸君の熱心なる努力に依り十二分の好成績を收めたることを信じ深く感謝を表すると共に其の今後の仕上に付一段の御努力を願はねばならぬことを痛感する次第であります

◇而して更に世界の情勢を顧みますれば列强相互の關係は今や緊迫の極に達し帝國亦非常時局に直面致し國民の神經を尖銳ならしめたる軍縮會議は現に倫敦に開催せられ其結果は逆睹し得べからざる情勢に在り隣邦支那の天地亦平靜ならず東洋平和の支柱を以て任ずる帝國の責任極めて大にして本島の使命愈々重きを加ふるの秋であります、卽ち吾々は內外兩面に通じて最も緊張したる場面を控へて新年を目睫の間に控へて茲に暫く休養の時期に入る次第であります

◇冀くは諸君は此の時局重大なるに鑑み茲旬數日の間充分の靜養を爲られ更に溌剌の元氣を以て新任務に邁進せられんことを希望に堪へません、茲に本年中の熱烈なる御努力に對し衷心より感謝の意を表すると共に將來の期待に付所感を述べて以て御用納式の御挨拶と致します

今期產糖高
總督府第二回豫想

總督府特產課では二十八日第二回臨時調査に基く本期の產糖見込を左の如く發表した

新式製糖所 一六、六二五、三二二擔（分蜜及び耕地白糖）
改良及び舊式糖廍 三[illegible]、二六[illegible]擔（赤糖）
合計 一六、九九八、五八八擔

これを前期の實績に比すれば九十萬二千二十一擔の增加であり第一回豫想調査による產糖見込に比すれば二萬二千四十九擔の增加見込である又過去における最高記錄たる昭和七年期の一千六百四十八萬四千百六十擔を突破し糖業初つて以來の新記錄を實現すべく豫想される

人事

（二十八日着無電）

▲藤山愛一郎氏（大日本製糖會社長）東京販賣主任鈴木政一氏を同伴二十八日來臺（吾妻）二十九日午前の急行にて虎尾へ

▲奧田達郎氏（督府特產課長）二十九日午後二時十八分臺北發はるびん丸で上京、一月二十三日神戶出帆[illegible]丸にて[illegible]の途に上る

▲樺山丑二氏（故樺山伯令孫）二十八日來臺（鐵道ホテル）二十九日はるびん丸にて歸京

▲小笠原金壽氏（元督府特產課技師）一月五日一先づ內地へ

本紙夕刊は一月五日迄休刊

本紙夕刊は二十八日（土曜）發行の二十九日付の分を以て終刊とする、明年は六日（日曜）（七日付）の分より發行

無絃琴

目下臺灣にて使用されて居る曆は神宮神部署より頒行さるる本曆及略本曆の外に臺灣神苑會の發行に係る臺灣民曆のあることは人の知る通り▲これは大正二年の創刊で當時支那曆が澤山に臺灣に輸入せられて本島人が多數之を用ゐる結果、我國の祝祭日が區々となり從來の事件の日時の決定に多大の障害を來すので、時の學務局長隈本繁吉君の發案に基き、支那曆の輸入を禁止し、之に代ふるに[illegible]を編成することとし加へ臺灣民曆を編成することとなり、寺本前御用係所長等が中心となつて作成し大正三年一月一日から頒布されたものであつた▲この曆には本島農業に關することや度量衡、郵便貯金の規則等も入れてあり又友引、大安といつたやうなことも入れてあるので本島人殊に農民には極めて調法なものとなりその發行部數なども本年は八萬四千冊に及んで居る▲筋合から言へば神部署の略本曆を推獎すべきであるが、一の過渡期の產物として未だ當分の內はこの民曆の使用も止むを得まいとされて居る、尙朝鮮でも同じ意味で朝鮮民曆が刊行されて居るさうだ。

臺北州政納式

臺北州の政納式は二十八日午前十時より會議室に全職員參集の上野口知事が中心となり昭和十年度行事について訓示をなし、戶水內務部長答辭を述べ十時半終了した

臺北市御用納め

臺北市では二十八日午前十一時より全所員を樺山小學校講堂に集め政治納式を擧行、松岡市尹一場の訓示をなし[illegible]助役答辭を述べ散會した

米日爲替

【ニューヨーク二十七日發聯合】本日の當地に於ける米日爲替は二十八弗八十一仙

山東丸より

（來訊）[illegible]の風稍々强し、船客一同元氣、二十九日朝七時基隆港外着の豫定

その日その日

○猪突疾進の昭和十年を顧みて非常時下に於ける躍進日本の諸相を觀る

○東亞會議も日支交涉も來年に持越し之とワケは違ふが政戰も明春までお預け

○休會明けの議會戰に政府の肚は決まつたといふ、但し野黨の出樣を觀望するといふだけ——非常時におよそふさはしくないものの典型

○兎にかく政治納めまで辿りつく顧みて本年の多事多難と、猪突躍進とを想ひ出す

○臺灣の社會も本年は色々な事を經驗した、結局大局より太い力强い線で行くのが一番だといふ結論らしい

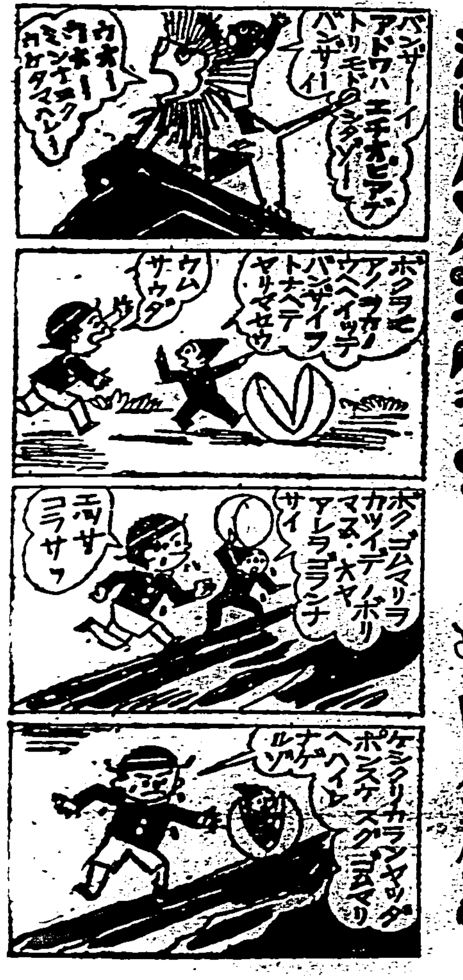
○活動の舞臺愈々廣く、臺灣の新生面は拓かれて行く、南方生命線たるの使命いよいよ重きを加ふ

○基隆市と殺傷事件、妙な廻り合せだが、事實は事實

○その日欄も夕刊休刊と共に本年は之で擱筆する、ペンを洗つて新年より改めて言論陣を張らう

連續漫畫 バウケンマルチャン (61)

明石精一画


バンザーイ アドワハ エチオピアノ トリモドシタゾ バンザーイ
ウオー ウオー ミンナテンク カタダマヘレー
ボクラモ アノ [illegible] ウヘイツテ バンザイヲ トナヘテ ヤリマセウ
ウム サウダ
ボク ゴムマリヲ カツイデ ノボリマス オヤ アレアレ ゴロゴロ [illegible]
エツサ コラサ
ケシクリカランヤツタ ポンスケ スグゴムマリ ヘヘイヤ
[illegible]

結婚機構 (51)

細田源吉作
大橋月皎畫

急旋回（一）

瀧川は、鏡子から告白した縁談事情をうつたへられた時、意外に行き過ぎたことを知つた。

といふのは、彼が怪しい役者などを橫平へ送つたりして同僚中の二人の間になにかし波紋を捲き起した覺えがあるからだつた。

それにしろ、この行き過ぎは（かうなつたのは、おればかりのせゐぢやないらしい！）と、狩く考へてしまつた。これは偶に、橫平の打算からだ。上役の令孃といふので今迄の鏡子に對する義理や愛情を踏みにぢつても悔いないらしいのだ。

（ところで、この行き過ぎた事情が、却つて鏡子に激情を叩きつけることになるぞ！一つ、どこまで前の愛情を橫平にとり戾させられるか、おれが動いてみよう）

彼のアパートへ鏡子が泣きついて來ての話では、とつくに橫平が東京に歸つて來たばかりか、會社へもどこかから通つてゐるといふことだつた。

朝から瀧川は二度も橫平のつとめてゐる會社へ電話をかけてみたが、二度目に覺悟したのか、橫平自身で電話口へ出て來た。

「今夜ぜひ私が逢ひたいんですがね……どこかで……あなたがいいところでもいいんですが……」

「瀧川さん！……僕にだつて理由はあるんですが……それではどこへでも伺ひませう！」

「マノンはどうです？あなたも知つてるでせう、バアの……あ、さうです！それぢや夕方から私もそちらへ行つてますから、え、ぢや、お待します！」

瀧川は自分がいつも世話役を引き受けて、時には隨分苦勞もするのだといふ事を、自分の思ひをかけてゐる新子の前で見せつけたいのだ。それもこれも姉妹の爲めなら、どんな迷惑も厭はぬ、といつたところを……。

バア・マノンへ、午後といふと、もう三時頃から遊びに來てゐる新子は、瀧川に買つてもらつたスマートなベルトを誇んで、初めての[illegible]なら、[illegible]れさうなサーヴィスさへするのだつた。今日も、瀧川よりは、早目に現はれた彼女が、女給代りに一二の馴染客を對手にボックスでシガーをふかしたりしてゐると、

「新ちやん、ゐるか？」

と、飛び込んで來たのは、鏡子の情人の樋口だつた。新子がボックスから顏を出すと、

「おい、ちよつと、耳寄りの話だよ！」

「なにさ！あわててるぢやないか！え？……もう一度はつきりいつてよ！」

「僕公が東京にゐるんだつてんだよ！」

「たからさ、あわてずにさ！え？どこだつて？」

「そいつが、鄙だけさ、奴の顏を見たつてんでね」

「おい！おい！新ちやん！」

と、ボックスの若い客が、興ありさうに呼んだ。

「……なんかいい話らしいなア？ね、樋口さん！鏡ちやん、今日おそいなア……」

そんな上つ調子な冷かしが、樋口にも新子にも通じようがなかつた。客の少ない午後四時頃の空の一つのボックスで、新子は顏色を替へながら樋口へ肉薄してゐた。

さすがに樋口も、飛びきりのニュースのつもりだつたが、まだ充分に調査はしておかなかつたのだ。新子は自烈たさうにベルトのポケットから可愛い金入れをとり出し、小さく疊んだ五圓紙幣を樋口の手に握らして、どこかへ彼を走らせた。

すこし風邪氣味で出のおそくなつた鏡子が、そこへ顏を出す頃には、瀧川もやつて來たが、鏡子の哀れな姉の破局は、もうとつくに妹の新子からマノン中にひろげられてゐたから、誰もこのトピックに强い興味を殺られずにゐなかつた。

その一方の主人役の橫平が五時半頃マノンの扉からオペア姿で現はれた時には、いつもの橫平を、たにか人間違ひでもしたやうに目を瞠てた。

主婦之友 新年號の大評判記事
人妻の危險時代は如何にして切り拔けるべきか？
多情な良人 妻以外の女性に手を出す良人がありますが、どうしたらこれを改めさせることができませうか
良人の愛人 良人に愛人のあることを知つた妻はどうすればよいか？其善處法を親切に御傳授いたしました
性的の不滿 夫婦和合の良夫の障碍は性生活の不調和にあります。良人も妻も心して讀むべき特別記事發表
良人の道樂 良人の道樂に惱んでゐられる奧樣方のために、その煩悶が解消する祕訣を御傳授いたしました
良人の變態 良人の變態的な愛慾に惱む奧樣方は御覽ください。妻の態度一つで病癖を治すこともできます
冷淡な良人 良人の冷淡さに不滿を感じてゐる奧樣方のために、その善處法を親切に公開した特別記事です
良人の嫉妬 良人のヤキモチに苦しめられる奧樣は御覽ください。抛つておくと嫉妬心は次第に惡化します
良人の隱し兒 信じ切つてゐた良人に隱し兒があつたら妻は何うすればよいか、その場合の處置法を詳しく公開
愛し得ぬ良人 如何に努力しても良人を愛する氣になれない奧樣方は、何をおいてもこの記事を御覽ください
良人の虐待 良人に虐待されて泣きの淚で暮してゐる方はぜひこれを讀んで幸福な生活を取戾してください
▼『主婦之友』の新年號は「和服裁縫全集」と「お客料理全集」[illegible]特別附錄がついて特價八十錢（送料十三錢）です。まだお求めにならない方は、この際大至急お求めください。書店に品切れの節はたとへ一部でも、東京神田主婦之友社へ直接に御注文くださいませ。（振替東京一八〇）

バンドマンの[illegible]！

イカリソース
日本一の產額 日本一の品質
日本一の信用
日本一づくめ

地球鉛筆

●神經衰弱にはれやか●

圓熟しきつた音丸のノドに今大評判の流行歌
深草三郎・詩 明本京靜・曲
紺屋高尾の唄
音丸
レコード番號二八六〇
コロムビアレコード

昔懷しい金色夜叉を題材とした名曲
高橋掬太郎・詩 江口夜詩・曲
貫一お宮
豆千代
松平晃
レコード番號二八六五二
コロムビアレコード

お待兼ねの新情歌曲！
西條八十・詩 江口夜詩・曲
乙女鳥
ミス・コロムビア
レコード番號二八六五三
コロムビア

續發した殺人事件 けふ二つとも片付く
犯人が自白して基隆署大喜び

【基隆電話】基隆市曙町の殺人事件は二十七日午後より再度の現場檢證により最初見込をつけた傳大龍金水が矢張り怪しいといふことになり一應取調べをされた物的證據及び人的證據を蒐集して追及した結果、二十八日朝に至り遂に犯行の大部分を自白し、此處に或は迷宮入りかと危ぶまれた事件も解決し、警察では愈しい正月が出來ると大喜びである

◇

【基隆電話】既報基隆市西町の第二の殺人事件については二十七日後〔illegible〕氏婦（三）の死體解剖の結果は溺死すべき原因は何等認められず、而も頭部に腫の跡あり絞殺したこと明瞭となつた、警察中の劉添も〔illegible〕犯行の一部を自白したが彼は後妻の連子娘（七）を両手に自分の娘婿として届け出であつた事實も發見、依て腸にたたんでゐたことも觀念して自供し事件も此處に大體の解決を見ることとなつた

臺灣神社 月次祭

二十八日午前八時から月次祭を執行、中川總督は柳山秘書官を、柳川軍司令官は田中副官を差遣へ下車を奉賽、次に福田守備隊司令官、各局長、帝國議員、堀田市長其の他官民四十八名順次下車を奉賽し同四十分終了した、式後神酒及供物を頒興した

基隆魚市の紛糾 圓滿に解決
勸業課長の調停で

【基隆電話】既報基隆魚類小賣人組合と基隆市魚市場賣人組合との紛糾は二十七日市小松勸業課長が組合側を歡待、組合側も納得し讓歩して無條件で組合に加盟手數料も規定通り納める代り市當局で相當資金の融通を考慮してやることとなつたので、同組合は今度は組合側代表に此の旨を傳へた所、組合でも賛意を表したので來年も待遇される家の問題も此處に急轉直下的に解決し、總會では早速魚市場に五百圓の保證金を納め二十八日朝から勇ましく商賣に取掛つた

生產黨員送局さる
州の取調べ一段落ついて

過日來臺北州刑事課にて嚴重取調べ中の生產黨員林某外二名は州の取調べ一段落ついたので二十八日午前臺北地方法院檢察局に送局され、中村檢察官係で取調べらるることとなつたが、罰則關係その他で起訴不起訴の年内決定は困難と見られてゐる

瑞穗丸門司を出港

【門司二十八日發本社特電】文教局學務課長島田昌勢、臺灣銀行取締役柴崎治氏等は瑞穗丸に乘船した

貧困者に寄贈

臺北市西門婦人會にては恒例に依る歳末同情週間にて古着類の施與につとめた結果三百有餘點に達したので窮民其他貧困者に寄贈した

鹿兒島の火事
ゆうべ五十戸を燒く

【鹿兒島二十八日發本社特電】二十七日午後十時四十分鹿兒島市樋ノ口町末次大島紬工場より出火、附近は細民部落の上に東方の强風で火は見る見る中に燃え擴がり五十餘戸を全燒、今曉零時鎮火した、火の廻りが非常に早かつたので燒死者ある見込なるもカード整理でゴッタ返してゐる爲め燒失戸數さへ判然せず目下極力調査中である

紅桝青年團の夜警

紅桝青年團は例年通り新年末より翌年末にかけて夜警をするが本年は明二十九日より四班に分れてそれに當るよし

[illegible]

▲門松を壞すものと爆竹を投げる者を取締つて下さい（年末年始）▲町全住民のために市營〔illegible〕を運行して下さい（〔illegible〕住民代表）▲町會長さん探偵で迷惑をかけてゐる不心得者を町内から追ひ出す方法はありませんか（川端生活）▲二等に當つても知らぬ半兵衛の警察官もある（苦笑）▲南門公會堂廢止には反對です（佐久間町民）▲一中裏の小路で大學正門を落しました御持參下されば御禮す（理農學部生）▲就職一年祭だとて巷の街を飲み廻つてゐた教員がある（私學）（本欄も米春までは休止）

內臺初飛行に 大竹記者が便乘
航空券は第一號
旅行記は新春の本紙に掲載

NO. 1
TICKET
大竹文輔
臺灣日日新報社

五百萬島民が待望の臺灣內地間定期航空は愈よ新春一月二日を以て正式に旅客、郵便、貨物の取扱ひを開始することになり內臺間交通史上に一大エポックを劃することになつた　一千六百粁と云ふ長距離に亘る海洋横斷をなす定期航空路は未だ歐米各國にもなく我社ではこの榮えある歷史的壯擧を記念すると共に航空思想普及に資せんため同日臺北發上り第一便に就航するフオツカー式三M機「かりがね」號に本社航空擔當記者たる整理部副部長大竹文輔君を同機の初旅客として搭乘せしめ、處女空を征服せしむると共に大空上より蒼海を突破する空の旅行印象記を執筆せしめ新春早々の本紙上に掲載することとした、今後內臺間空路より旅行せんとする人々に取りては好箇の參考資料と多大の興味とを供することであらう（寫眞は大竹記者とNO１の航空券）

臺灣日日新報社

立教軍を迎へる
臺北覇者の横顔 ⑥

CBは最近になり攻撃にも偉力發揮
三好、黑田の兩君はきつと殊勳打を放つだらう

捕手福田君が現代の名手としてその優秀な守備を誇り、一般の間に評判と喜び稱せられてゐることはファンの熟知するところである、今春スランプに陷つたが秋には全く脱出して、再び素晴らしい守備範圍で以前にも增して堅實なプレーヤーとなつた、華やかならず地味ならず名野手として依然第一人者の貫祿を示してゐる、外野は左翼が下村君に的川君の二君で下村君は本年臺北一中卒業の新人ではあるが強力もあり、肩もよく捕球にも敏の無いいい外野手である、ただ外野手としての投球動作にいささか難がある、的川君がもち前の打力を發揮して、第一戰に華々しい活躍をみせる日はもう再來せぬのだらうか

× ×

中堅手國友正一君は立教の元選手で、守備力、走力ともに完璧、しかも君の持つ打棒の凄さは他の追從を許さぬ、くに迫げて許さない、左ボックスに立つて、コツンと巧みに三遊間を抜くかと思へば鋭い引つけで一二塁間を割る、高目の球が來れば渾身の力を込めて右中間を襲ふ、隙をみてセーフティーバントを用ゐて意表に出る、第一打者としてはむしろ主將の田中以上であり、時に三番をも打つ、好適の第一打者を他に得れば第二打者として變化に富んだ攻撃の妙味をもつて活躍させたい、右翼は最近すつかり守備もうまくなつた打撃の人山田君で、捕手を田中君がやるか、三好君がやるかに依つて、的川、田中、香椎君などが配されやう

CB團の投手 石川君

一壘手 楠木君

從來守備のチームとされたCBは最近攻撃にも威力をもつて來た過日の定期戰で國友をリード・オフ・マンとし、三好、黑田、田中、楠木と配列した配陣は全く理想的のものであつた、特に、三好、黑田の近來の當りは全く手のつけやうもない位で、きつと立教に對しても兩君が目覺ましい殊勳打を放つにちがひない、發表されたメンバーは左の如くである

團長 片山 吾三
監督 內田 勝
主將 田中 傳
投手 石川 呉馬
高橋 健三
捕手 三好 善良
一壘 楠木 守
河內 眞一
二壘 香椎 瑞穗
三壘 松本 瑞吉
武藤 勳
遊擊 黑田 健吾
外野 山田碩二、吉田國男、國友正一、的川海二、下村盟

豫想されるラインアップは左の如くである

中 國友
遊 黑田
捕 三好
右 田中
一 楠木
三 松本
左 下村
投 石川
二 香椎

過日天候不良に練習を妨げられ乍らも臺北の三チームは敏頭施備に遜色がない、大敵立教軍を圓山球場に迎へて、血湧き肉躍る大決戰を挑む日は近い、新年劈頭の圓山原頭は晴か雨か、我們早くも前景想に花が咲いてゐる（完）

中堅手 國友君

あすの天氣

（臺北測候所發表）
臺北地方 東の和風曇一時雨
一區（北部）北東の和風曇一時雨
二區（東部）北の和風曇後晴
三區（西部）北の和風晴一時曇
四區（南部）北西の和風晴一時曇

概況（廿八日）七八〇粍の低氣壓は華南方面にあり南東に移動し七五〇粍の低氣壓は本州の南部海上にあり東北東に進む模様、本島の天氣は全島曇近海は北東の疾風强浪稍々高し

潮汐（廿九日）
基隆 滿潮 午前 [illegible] 午後 [illegible] 干潮 午前 [illegible] 午後 [illegible]
淡水 滿潮 午前 [illegible] 午後 [illegible] 干潮 午前 [illegible] 午後 [illegible]

各地溫度（十二月廿八日午前十一時）
恒春 二二度 臺中 一九
臺東 二三 臺北 一八
高雄 二四 基隆 一七
臺南 一 那覇 二一
澎湖 一九 鹿兒島 一八
阿里山 二 長崎 五
花蓮港 二二 石垣島 二三

臺日案內

書籍
臺博兒童繪藥 臺北市榮町一丁目
許見書店 臺北市本町貳丁目 文化教育

醫院
小林醫院 文光病新設 臺北大和町 內科兒科

料理屋
生そば・辨金本家
壽司天ぷら 魚文
壽し 淺草 出前はスグ

寫眞
トウゴーカメラ 京町二丁目
オリエンタル 臺北市榮町
アルバム特賣 臺北市榮町二丁目
御寫眞 サンスタヂオ 榮町三角

內地土產 ホンカン桐田商會
白柚 シヤボン 矢野商店
世帶道具 經濟カマド
時計眼鏡 和田のメガネ専門
メガネ 日光堂
メガネは金光堂へ
樂器 山葉オルガン 日本樂器
藥種商 セキヤス
蓄音器 三枚臺園 大石蓄音器店
製靴商 ヒコウ靴
雜件 特許商標 岸喜鍛 運命判斷

シデ紐
商品券 債券
買流 洋服と古着
コークス ガラ販賣
商品券を高價買升
金銀屛風に高見
軍用大 バイオリン尺八

父辻善吾儀〔illegible〕
男 辻允
妻 辻チキ
友人 大井文次
親族代 酒勾貞敏

廣告は宣傳の近道なり

流行歌
塹壕の夢
唄 虎 龍
男聲合唱付
タイヘイレコード

入神の至藝を收めた待望の名盤出づ！

長唄
越後獅子 三枚
邦樂傑作集第五十五輯
吉住小三郎
稀音家六四郎

綱館 曲舞の段 五枚
邦樂傑作集第五十六輯
稀音家六治

傑作集第五十五輯 アルバム入解說附
傑作集第五十六輯 アルバム入解說附

コロムビアレコード

全國映画ファンへ大急報!!

「富士」新年號附錄
映畫・レビュー大寫眞帖
俄然!!各地で大評判!!
ファン奪合ひの大熱狂!!

映畫レビューの人氣花形悉く網羅、寫眞は全部苦心の新撮影！更に年齡住所から、收入、財產身體檢查報告、秘話珍話等…何でも判る空前の豪華附錄

賣切迫る!!
見逃したら一大事!!
お早くお求めを!!

●本誌と二大附錄併せて三冊七十錢 書店賣切の節は直接本社へ御申込あれ（發行所 大日本雄辯會講談社）

Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal Ideal

アイデアル衿白粉

濃くつく上に襟を汚さぬ

お正月が目前です
アイデアル衿白粉は特に白粉のなれ惡い衿脚用に造つたもので
どんなに平素白粉氣なしの方にもピッタリムラなくなじみます
白肌 各色三十錢

正月の白粉

國防受難の活歴史

元寇（123）

藤井眞澄作
齋藤五百枝畫

救ひの船（三）

「父上様は、孫太郎様が殺されたのではなうて、蝦目殿がなされた御計は、昨月の蒙古の山賊で、厭しうお話しておきましたぞ」

塔二郎が、急いで口を入れたのである。

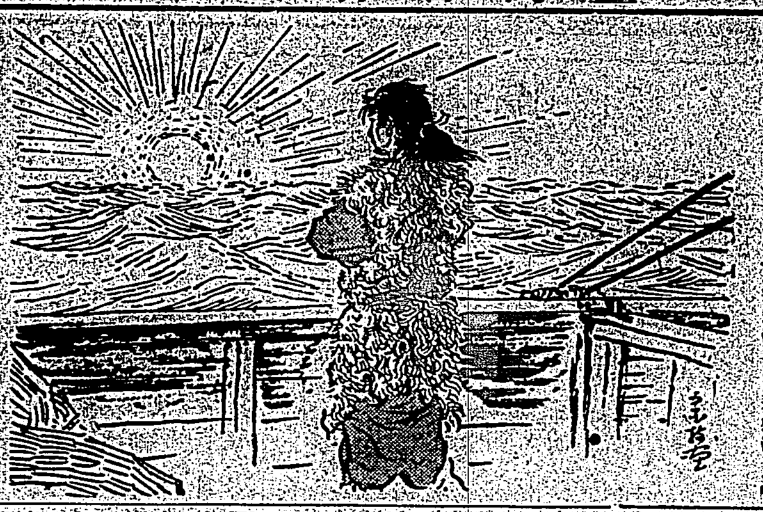
「だが……」

孫太郎なほおもく〳〵しくいふ。

「蝦目殿をなされた元は、この孫太郎が作つたのです」

「いや〳〵……」

こんどは塔二郎が熱心に云ひ出した。「たとへさうであつても、今はもう昔の怨恨などを、若へる氣はさらりとありません。兄者は不覺にして目害しましたが、その遺した太刀は世間にあだなす大敵を、實に多く切つて下さいました。兄もきつと滿足してゐませう。孫太郎様ツ。お願ひです、今後はどうぞこの塔二郎の、兄上になつて下さい」



孫太郎は、しづかに頷いた。頼んだのは塔二郎である。

「おお、よう云はれた。よう云はれた。さうなくてはかなはぬ〳〵さア、義兄弟のお盃、お盃」

と、帆柱の根元の後ろにある臣代の間から、白髪頭の實侍姿の少年がひとり、銚子を持つて出て來た。

「そのお酌は私にさせて下さい」

その聲は元氣に充ちてゐたが、なんとなくなまめかしい調子である。

その顏を見て、驚く塔二郎。

「おお、お前は小督殿……」

美少年はうなづいて、孫太郎の盃へ酒をそゝぐ。

その顏をつく〴〵見て、小督を拂ける孫太郎。

「小督殿といはれるか、どこかで見たことのあるやうな……」

「はい。七年前にあの水無瀨の里で、お目にかかりました」

「なに、七年前に水無瀨の里で……」

「貴方様のそのお足に、私はすがりついたことがございます」

「おお……。でも、あの時お身はたしか町のやうな小女姿であつた……」

「はい。蒙古の大軍と戰はねばならぬ今日、心も形も、男になつてゐるのでございます」

「なるほど。む……」

孫太郎なにか考へこんでしまつた。

「そのお盃をおほしなされて、新しいお弟様へ、おさしなされませい」

「おお、さうであつた」

あわてて塔二郎へさす。

兄弟かための盃ごとが終ると、塔二郎は小督を見て、ひそかにたづねる。

「小督殿、お前がそのやうな若侍姿でこの船に乘つてゐられるとすると、若しや、あの……」

小督は、無言のままやさしく頷いて、しづかに元の臣代の向ふへはいつてしまつた。

塔二郎も無言で頭をうなづきながら、

「芽出たい、ああ芽出たい……」

手前で、盃をかざされるのである。

塔二郎は、兄篤二が形見の太刀を取り上げて、つく〴〵と眺めながら

「兄上ア。貴方のお形見のこの太刀は、新しい兄上様のお手によつて、日本國のために、大きな働きをいたしました。そしてこれから後も、とこしへに、眞人に用ひられるいさをしを、ますく〳〵輝やかすでございませう」

と、孫太郎の、落着いた聲。

「その太刀の役目はもう濟んだ。對馬の戰ひで、あまりに穢れてゐます。ああ新しい太刀がほしい……」

この時、臣代の間から太刀を捧げながら出て來た、一人の美丈夫。

「新しいお太刀は、ここにございます」

塔二郎、急に盃をおいて居住をただしながら

「おお、あなた様は、蝦夷姫様ツ……」

うや〳〵しく禮をする。

「蝦夷姫様、嬉しくでございました」

やさしくて、そして凜々しい聲だ。

塔二郎は一目みた拍子に「これは神功皇后様のやうなお姿だ……」と感じて、思はず頭をさげた。

男裝の麗人、イカヅチ黨の女大將蝦夷姫は、太刀をかかへたまま、塔二郎に禮をしづかにかへしながら、孫太郎に向つて、恭しく坐つた。

「加賀孫太郎様、これは貴方様のお太刀でございます。あれからずつと七年の間、わたくし郷の神様として朝夕拜んで居りました。蒙古を防ぐあの三別抄を助けに、江華島、珍島、それから耽羅島にまで、持してまゐりました。今こそ貴方にお返しいたします」

蝦夷姫が獻げる太刀を、ぐいつと引き取つた孫太郎、その手が俄にさツとかかる。その眼光はらんらんと光がつて、七年間さがし求めてゐた呪ひの女の、あの白い細首に、矢のやうに注がれた。

全身がぴり〳〵と震へだしたかと思ふと、顏がつりあがり、口が横にひきつり、呼吸がはずむ。

蝦夷姫は、荒御使の前に獻げられたいけにへそのままの姿。

「斬りたくば、どうぞお斬り下さい」

「き、き、斬らいでか……」

この物凄い聲で、向ふの間から、臣代の後ろから、五、六人の白裝束が、ばた〳〵と出て來た。そしてスハ……といへば、孫太郎の太刀を防いで、女大將を助ける決死の氣合――。

なんびとも、物が云へない。みんな呼吸つまる――一瞬。

ふいと立ちあがる孫太郎、太刀をさげたまま、する〳〵と縄梯子段をのぼつて、外へ出て行つたのである。

呆然として少時後を見送つてゐた一同、バタ〳〵と、其の後を追つて行かうとする。

蝦夷姫、すらりとその前へ出て、無言で押しとめ、たつた一人しづ〳〵と梯子をのぼつて行つた。

白裝束の者五、六人、なほもその後を追ひかけようと、足をふみ出す。

それを引き止めたのは、何時の間に出て來たのか、さいぜんの小督である

小督が止めるのを見て、塔二郎も急いで止めに廻つた。

孫太郎は、甲板の上に、その身をあらはしてた。

その時、丁度、東海の果ての空をひき裂き、見渡すかぎりの空も海も紅に彩つて、まつかな大日輪が、ズツツずつつ……と、ゆすり出るところである。

加賀孫太郎、横に長い切目の大眼を、カツと見ひらいて、その燃え廻る日の玉を、ぐつと睨みつけたのだ。

旭日は、全身をあらはし、その眞紅の血潮の光をもつて、飛び散る白雲を、山と崩れる巨濤を、同じ色でぬりつぶしてしまつたのである。

「あつ……」

右手で兩眼をおほうた孫太郎、ひよろ〳〵と倒れさうになる。

「もし、どうなされました。お、あぶなうございます」

後から來て、抱き支へたのは、蝦夷姫である。

「あまり長う朝日をお見つめになりますと、お目がいたみます」

男の全身から、急に力がぬけた。

女と男は、かたく抱きあつたまま、よろ〳〵と立つた。

その女の暖かい腕に、顏をすりよせた男の眼から、熱い涙がとめどもなく、流れ出したのである。

（終り）

便箋

現在、句數無制限、何人も投書し得、宛名は本欄係

△病院にて　臺中　[illegible]

△君へ一と寄書らせ候の文も病舍のベツトから

△二人歩きも出來ない身をはかなに任かそか御所車

△やるせないまゝ白衣の姫に拗ねて甘へる年の暮　親友へ　眞一呼

△運は天から病は氣からはらはらせ惱みを頂にして

△泣いて叫るちやろ何處かの國で喜姫、小遣、吳れ母　北投　不樂人

△馴れぬ覇子は鈴振るばかり抱いて置くた夕飛脚　臺北　八郎

△何處へ行くやら小春日浴びて沖は紀の國蜜柑船　臺北　小紅

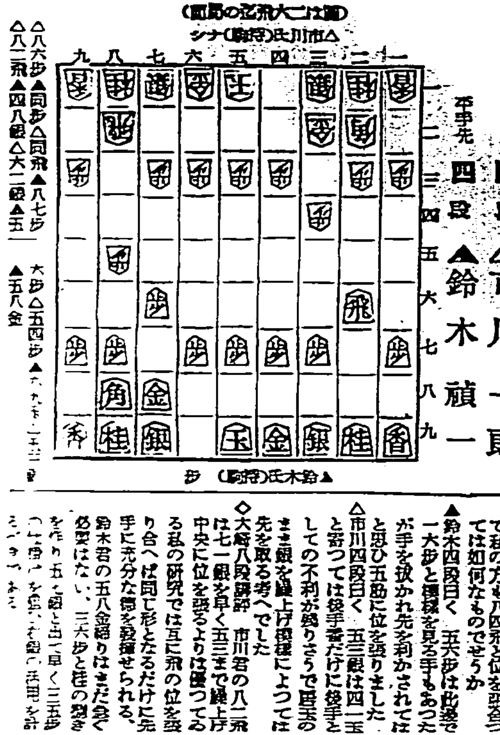
名家敗退將棋（二九）

（鈴木氏一回勝二回目）

四段　△市川一郎
平手先　四段　▲鈴木禎一

（圖は二六飛迄の局面）

△市川氏（持駒）ナシ



▲鈴木氏（持駒）歩

△八六歩　▲同歩　△同飛　▲八七歩　△八二飛　▲四八銀　△六二銀　▲五一[illegible]　▲五八金　大歩　△五四歩　▲[illegible]

△市川四段曰く　八六歩は昧を避けて六二銀と締る手もあつたが敵との釣合上飛先の歩を換へました、八二飛は豫定であつたが敵が二六飛と位を張つてゐるので私の方も八四飛と位を張合つては如何なものでせうか

▲鈴木四段曰く　五六歩は此邊で一大歩と鷹揚を見る手もあつたが手を拔かれ先を利かされてはと思ひ五筋に位を張りました

△市川四段曰く　五三銀は四一玉と寄つては後手番だけに後手としての不利が殘りさうで居玉のまま銀を繰上げ模樣によつては先を取る考へでした

◇大崎八段評　市川君の八二飛は七一銀を早く五三まで繰上げ中央に位を張るよりは優つてゐる私の研究では互に飛の位を張り合へば同じ形となるだけに先手に充分な德を發揮せられる、鈴木君の五八金締りはまだ急ぐ必要はない、三六歩と桂の跳ねを作り五七銀と出て早く三五歩[illegible]

お肌の性質に適合した
マスター 百番 水白粉

肌の性質に適合した水白粉

アブラ性の方・ニキビ・吹出物等のある方にマスター百番
アレ性の方・キメ細かで白粉の滑る方に……マスター三百番

何れもト澄液には肌に彈力をつける美肌料が配合してありますからニキビ・吹出物等のない生々とした滑らかな肌になります、白粉は見事なコロイド狀になつてゐますから眞に地肌からの自然化粧が出來て驚く程化粧もちがよろしいのです

新婚三日目！

「ネ、ウチのお父様が、あなたに不器量者ですがよろしくつて云つたら……イヤとても美白で僕！　すつかり…つて云つたでせう…そしたら皆んなでクス〳〵笑ふんですもの私眞に恥しかつたわ」

「ウフ君の肌は何してこんなに美白かなア…と感心してたからだよ」

「アラ！　そんなに美白に見えまして……ちや私の様に色黒でも　マスター水白粉と衿粉は地肌にピツタリ自然化粧が出來るんだわ」

曖味のある生きた白さ……これこそモダン女性方のお衿に似合しいものです、こんな白さつてあるでせうか？

▲マスター衿白粉は特殊な白味料と最高の技術で創られたものであなたの地肌がそのまゝ美白になつた様に生々と曖味のあるお化粧が出來ます　▲白粉がムラはげせず時間が經つても變色の心配なく御召物を汚しません　▲高貴な美肌料が配合してあるので垢拔けした肌目の細かいお衿に致します

モダン化粧
生きた白さ
マスター・五百番 衿白粉

至明年度公債發行額
實近於百十億萬
納利負擔累加且成財政上之癌

明年度特別會計。二十七日。經大藏省議。決定。明春匆々。付諸閣議決定。明年度新規公債發行額。比本年度。一般會計。減六千九百萬圓。特別會計。減五百二十萬圓。計減七千四百餘萬圓。爲七億五千五百萬圓。高橋藏相。照豫算編成鐵則。會言明公債漸減方針。於茲完全實現。然既發公債總額。至十一月末。既爲九十五億六千萬圓。合算本年度未發行。並明年度分。近百十億。公債支出利息。負擔累加。與金融市場公債消化力問題。共爲今後財政上之癌。二十八日東京電云。

歲末金融意外緩漫

東京二十七日本社特電。稱本年末金融。由諸般事情推之。早已料必平穩推移。去二十六日。市中[illegible]金償還一億千六百萬圓。翌日物短資日步。交換後落于六厘臺。豫想以上緩慢。今後歲末切迫。亦無波瀾。料得以平穩越年也。

島內年賀狀提出尚寡

臺北郵便局。爲辦理賀年狀。現甚忙碌。內地賀年郵便。大體已提出。唯島內間提出尚寡。若至迫切時提出。恐所提出賀年狀。于元日趕不及。且使用賀年紀念印。限至二十九日。故須于二十八日。至遲二十九日。要全部提出。又自三十日之信片郵便。往々遲緩。如屬急要者。以封書提出較爲安全云。

日華關係展開依然疑問
明年匆々南京會議
外相決意助華

東京二十八日電。日華關係根本調整爲目的之兩國會議。因華方提唱。明年匆々。期開於南京。即以廣田外相。近來提示中之對華三原則。且求排日運動。徹底取締。而關北問題。亦望國民政府再檢討。並謀華北防共。及經濟開發所關兩國提携具體策。而有所定。次議日華通商條約締結。關稅問題。航空連絡。帝制改善等問題。如或意見一致。乃委員會設置。各具體協定。而廣田外相。不管華方誠意如何。照本年勞作成明文。改革帝制決意指導。顧蔣行政院長。勸

飛行郵便
遞送萬通
廿七日最後

去二十七日午前九時。積載三百五十五通郵便。及小包四個。由臺北飛行場出發。豐島氏操縱之隼號。至二十八日飛抵福岡。年內々臺定期飛行。全部告畢。飛行回數。往復十二回。而事故僅隼號。于那覇出發後。生出故障引歸之一件而已。積載郵便物運到者。以十月八日初次之六百三十六通最多。計三千九百十二通。小包七十四個。而提出下行第一回三千四百八十六。斷然居首位。每次四五百通。計八千七百七十一通。爲配到之倍數以上。提出小包三十四個。若來春開始一週三往復。料增二三倍云。

臺北市要求豫算
六百八十餘萬圓
勢必起相當之市債

臺北市。昭和十一年度各課要求豫算。此次已齊集。現經吉田庶務課長準備查定。而各課要求額。一般會計六百二十萬圓。特別會計六十五萬圓。要求總額計六百八十五萬圓。比十年度要求額。約減六十萬圓。蓋因明年度。市廳舍新營。其他急施新規事業不少。故各課對較可緩新規要求不提出。其新規事業要求總額。約四百萬圓。其主要爲市廳舍新營費。樺山小學校移轉。其他小公學校營繕費。西門市場改築費。勅使街道擴張費。中央排水溝延長工事費等。一面歲入豫想增加者。因地租規則改正。地租割自然增收。約三千五百圓。營業稅割自然增收。約二萬圓。及雜種稅割之自然增收。約二萬圓。財產收入千圓。市場收入約一萬七千圓。自動車增收四萬五千圓。總計不過十萬六千餘圓。乃將其他新規要求。全部削除。唯廳舍及小公學校營繕費。並由國庫州補助金關係。即只對其必要施之土木事業。而以歲入不足敷用。勢必相當起市債也。

政友會兩派
各力主張
幹部未統制

東京二十八日電。議會休會與政局。仍如現狀。延之來春。政友會內。別有一派。與國體明徵派對立。以爲不以此爲政爭之具。欲以軟化政友會之強硬態度。而導本議會於不解散中。圓滿息事。此其對立。益加深刻。自二十七日午後六時。明徵派山本悌二郎。猪野毛利榮。竹內友治郎。河上哲太諸氏。計十餘代議士。會於築地瓢屋。共援以明徵問題。彈劾政府。硬提黨幹部。達成所期目的。同九時解散。一面非明徵派榊原俊二郎。八角三郎。磯部尚。野田俊作諸氏等。計三十七人。同日午後四時。會於虎門晚翠軒。以明徵問題爲中心。種々懇談。協議其緩和策。黨內兩派。各謀貫徹主張。幹部處此。似未統制。所堪注目云。

花蓮港廳下
牛價暴騰
一頭二百餘圓

花蓮港廳下。最近耕作水牛。賣買價格暴騰。而吉野村。因粟價益騰。在十二月中。水牛一頭。從來百圓。竟起至二百三十餘圓。現已購入五十餘頭云。

水產講習所
基隆陳情團
開報告會

基隆市々會議員月例會委員一行。去二十六日赴臺北。關于水產講習所設置問題。陳情于野口知事及督府關係者。又二十八日午後一時半。集關係者于基隆公會社樓上。報告陳情經過云。

廣西視察
印象極佳
根本大佐談

廣東二十七日電。渡華中根本新聞班長。既視察廣西省。二十七日歸到廣東。擬自二十八日。與陳濟棠蕭佛成諸氏會見。夜臨兩廣要人招待宴。其就廣西視察結果。有語如左。

廣西民團訓練。與經濟建設情況。意外良好。余在廣西。與久在中國生活中。初次感服之李宗仁。白崇禧諸氏會見。勸以東亞平和建自中國西南。必要自重。兩氏披瀝誠意。希望日本指導及援助。不用外交辭令。要之廣西印象極佳云云。

廿九日歸朝
須磨總領事
先會有吉大使

上海二十七日電。須磨總領事。二十七日午後八時來滬。與有吉大使會見。二十八日。再與有吉大使。磯谷武官等商後。訂二十九日。乘長崎丸東上。對廣田外相。重要進言云。

兩線不通
占領徐州驛
請願學生團

徐州二十七日電。徐州學生運動極烈。二十七日。二千名男女學生。將華北自治反對請願。將赴南京占領徐州驛。津浦線及隴海線。朝來全不通云。

臺中州方教
兩委員會

臺中州下。方面委員。教化委員。聯合協議會。去二十六日。午前九時起。開於臺中市民館。州有二宮教育課長。石川社會事業主事。高橋社會教育主事。及關係職員等臨席。出席者。二市十一郡。方面委員。教化委員。各二名。附議事項。一、協議事項。關於葬儀改善實行方策決定之件。二、指示事項。關于方面委員及教化委員協力之件。俱照原案可決散會。

高雄州下信魚盛獲
沿海漁村俄呈好況
魚子暴落爲百匁二圓餘

高雄州下沿岸一帶。最近盛獲信魚。殊如東港郡及潮州郡枋寮方面。稱數年來罕見豐漁。至去二十四日冬至前日。獲得十三萬尾。今後尚有相當漁獲。本年必超過二十萬尾之好成績。爲是各漁村。俄呈活況。又信魚子市價。漸見落下。現在上等品百匁二圓三十錢。普通品一圓五、六十錢。若延至正月。價格必更暴落云。

能澤理事
或兼經理部長

臺灣電力會社理事島山敏行氏。明年二月任期方滿。然欲他就。因於去二十六日辭任。氏東京人。年五十四。明治四十年卒業東大法科。合格高文。即拜命遞信省屬。累進爲電務局長。最後敍高等官一等。昭和六年十一月退官。七年二月任臺灣電力理事。九年五月一日就任臺灣瓦斯會社取締役。同年十一月。命爲電力經理部長。從三位勳二等。島山氏就任臺電理事後。謀日月潭電力再興。經理營業。買入外債。社債借換諸事。明年二月定時總會。將行補缺。經理部長職務。或以能澤理事暫兼之也。

對英軍事協力
四國政府正式回答
英國對意益深自信

倫敦二十七日電。英國政府。二十七日。接法蘭西。猶哥斯拉夫。土耳其。希臘四國政府。關對英軍事協力。正式回答。其回答內容。契約如左。若意大利。攻擊英國之艦。或侵害英國之權利。則照聯盟規約第十六條三項。所定義務。忠實履行。對於英國。海空兩方面。與以軍事協力。但西班牙。葡萄牙兩國政府。回答未到。大體對英諾之回答。近亦當到。英國政府。對意積極策之遂行。於茲益深自信云。

自動車業者
寄附鉅金
・交通安全協會

臺北州下。團體乘合車組合。新莊自動車合資會社。三之大新自動車株式會社。和自動車會社。流水交通社。基隆輕鐵會社代表者。到臺北州保安課。提出臺博期間中利益金一部金五百圓。寄附于交通安全協會。又去二十七日午前十一時。有日本自動車會社臺灣特約店張東隆商行主張東紅氏及販賣部長林金海氏。到州保安課。提出寄附金二百圓云。

內臺定期飛行
鳫號飛機
卅日空輸來臺

內臺定期飛行第一便。訂來二日實施。其使用機鳫號。訂來三十日。將由大森。阿部。田代。淺田四氏搭乘。由福岡空輸來臺。即三十日上午六時。發福岡。中途在那覇給油後。下午六時許。可抵臺北云。

蘇澳旗魚鮪魚盛獲
每日起水値一萬圓
基隆漁船漁獲亦多

天候靜穩多日。本年旗魚鮪漁業稍覺不振。最近季節風猛烈。小雨凉氣。蘇澳方面旗魚鮪漁業。今呈活氣。蘇澳魚市場起貨。每日達一萬圓。同市場或移出內地。或供給島內。備極多忙。現下蘇澳漁船。合基隆方面之出漁船。計八十餘隻。異常盛況。又基隆之手繰網漁船漁獲額頗增。豐漁連續。漁業者有餘裕。蘇澳。基隆。眼前當相殺豐漁。正月用魚類豐云。

高雄三漁組
合同組織
各幹部商議中

以高雄港爲根據之漁業者。爲謀同業者福利。有高雄漁業組合。發動機漁船組合。發動機漁船船主組合三者。目的雖同。素無統制。各組合員已知不利。一方漁業法改正。前記三組合。欲混合而設漁業協同組合。去二十六日午後二時。各組合幹部古谷。濱田。王田村。蔡諸氏。齊到州廳。磋議組合設立之事云。

岡田部隊
遇二百匪賊
力戰滅之

哈爾賓二十七日電。五常駐屯山部隊岡田部隊。於五常東北二里新屯附近。二十四日早朝。遇二百名匪賊。而潰滅之。我方土屋一等兵戰死。佐藤伍長[illegible]中尉重傷。外輕傷二名。滿洲國兵一名重傷云。

員林柑貴受檢激增
新竹遭風意外減少
各處檢查所備極多忙

植物檢查所本年十二月檢查成績。柑橘類四百三十七萬餘顆。西瓜三萬顆。各分所之成績。新竹激減二十萬二千顆。蓋價不好。出貨躊躇。十一月且遭暴風。搖落三成。員林則因好價。出貨增加。多於前年同期四十六七萬顆。全體比前年增加二十四萬顆。至來年三月柑橘末期。檢查總額當不下一千萬顆也。開昨年九百七十萬顆。植物檢查所開所以來。十五年前曾達一千萬顆。又基隆高雄之正月用盆栽類食用及工業用豆類。穀類輸移入檢查。目下極忙。人員不足。移出檢查。相當制限云。

廈門臺僑
貸與拳銃案
無罪釋放

洪棟榮。年二十七。臺北士林人。前年渡華。住廈門棉株巷門牌二十號。以拳銃。貸與僑民李某外九名。使得闖入豐南信託公司。強奪大銀二萬元。及日本金千餘圓。洪受金千圓。後被警署探悉。捕歸臺灣。去二十七日。在臺北地方法院。開廷公判。檢察官求刑懲役三年。而川脇裁判長。以其雖知情貸與。第因實際檢證不充分。判決無罪云。

紛失不尠
安平運河貨物
拘十餘名查究

臺南警察署。探知最近安平運河邊諸貨物。紛失不少。去二十七日朝。由村島警部指揮。刑事總出。包圍運河邊附近工寮。拘嫌疑者十餘名。嚴重查究。並押收贓品內衣。化粧品等。其他甚多。約値二、三千圓云。

大屯堆肥育豚
兩競技會
褒賞授與

大屯郡農業組合聯合會所主催之第七回堆肥品評會。第一回肉豚肥育競技會褒賞授與式。去二十六日午前十時。舉行於郡會議室。正午式畢。肉豚肥育競技首由入鹿山州技師。報告審查概況。次貞方郡守。對入賞者堆肥。特等二名。一等二名。二等五名。三等十二名。四等四十名。計六十名。肉豚特等一名。一等二名。二等五名。三等十名。四等十五名。計三十三名。授與褒狀賞品。組合別審查成績。總得點數各十點數如左。

霧峰庄。七百五十六點。
大里庄。七百五十二點。
南屯庄。六百七十二點。
烏日庄。六百七十一點。
大平庄。六百三十一點。
北屯庄。五百八十九點。
西屯庄。四百九十四點。

臺中市內
消防增車
試運轉佳績

臺中市住民。爲期市內消防整備。乃由臺中消防組會員有志。鳩集寄附金以一萬圓。購買森田式消防自動車一臺。月二十五日。經已配到。去二十六日。細井警務部長。大塚警察署長。宮本保安課長臨場。在臺中公園內。舉行試運轉。成績良好。

板橋納稅表彰
順開懇親宴

海山郡板橋街。自地方制度改正以來。各種納稅成績優良。屢受府州當局表彰。如昭和十年度納稅。亦舉成績優良。並區總代十個年勤續者表彰式。去二十七日。午前九時半。開于板橋公會堂。有大田郡守。後藤熊谷兩課長。街協。區總代。兩課職員。及其他多數列席。席定首田庶務主任。宣告開會。一同起立。向皇居遙拜。次淀川街長。述式辭後。表彰良區二十區。授與表彰狀。及表彰金。次對區總代楊慶古氏之十個年勤續。授與表彰狀。及紀念品。次大田郡守訓示。來賓佐藤祝辭。受表彰者總代張鴻機氏答辭。終由吳街助役。述閉式辭。畢後開宴懇親。過午盛況裡散會。

華人買收空矸
盜兒童自轉車

現住臺南市港町一丁目。華人任必華。年三十。於本月中旬方渡臺。無所爲業。乃向市內各住戶。收買空罐。去二十五日。赴竹園町警官宿舍。盜兒童用之自轉車一臺以去。該車係某警官之子所有。其家人告以賊之形相。該警逐出偵查。二十六日下午五時。於港町被捕獲。解署訊問後。立即供承。現尚拘之追究餘罪云。

冬防警戒後
被人砍傷
原因色情

嘉義郡中埔庄下六字公館人。葉鈍金。年三十四。去二十六日午後十時半。冬防警戒補助壯丁團員。歸至同所六三蔡蔡坤年三十三宅前。被蔡坤持臺灣刀所砍。負頭部重傷。遂舁入嘉義市榮町永松病院治療。原因聞被害者葉鈍金。會潛入加害者之兄房內。事有曖昧。蔡坤行凶後。由現場逃脫。郡警察課接報。急指揮搜查犯人。至深夜。在同所附近徘徊中。被愛甲邱兩刑事捕住。二十七日堀龍司法主任。赴現場檢證云。

兩次用裁縫針二枝
刺入夫弟幼兒膀胱
幸急就醫手術不至斃命

東石郡下義竹庄。北港子人。周受之媳。周蔡氏員。年二十五。周受次男之妻。去十月七日。及同月二十三日。兩次用裁縫針二枝。刺入周受之[illegible]周朝農年二歲之膀胱。（即周受三男之子）。一時陷入重態。幸急就醫。將膀胱手術。取出裁縫針。得無性命之虞。該事被布袋分室。陳大根刑事偵知。拘員嚴重取調。質供不諱。原因周員最近喪失二子。其夫又在病床呻吟。慨覺人生在世上痛苦。令其翁周受。將員之夫兄弟。財產分配。各人分戶。乃遷怒於朝農。居心狠毒。聞者皆爲駭異云。

通姦害夫
判決言渡
女死刑男懲役

苗栗郡苑裡庄社苓字社苓鄭樹根。年三十四。同所賴鄭氏阿妹。年二十七。兩人所犯之通姦害夫事件。去二十七日。在臺北地方法院刑事合議部。開廷公判。照中村檢察官求刑。由山脇裁判長。判決言渡。即姦夫鄭樹根無期懲役。姦婦賴鄭氏阿妹死刑云。

內地人聚賭
送局究辦

嘉義市新富町八丁目三番地坂井淺吉。年三十七。同市玉川町一〇八稻垣福松。年五十六。臺北市老松町三丁目三番地山木武男。年二十八。以上三名。去二十六日午前八時。在前記稻垣福松家。聚賭花牌。被玉川町派出所員。捕入義橫署。由木崎司法主任訊問結果。于二十七日押送檢察局究辦云。

彰化第二消費市場
廿八日盛舉落成式
初賣式豫定一月二日

彰化市第二消費市場落成式。去二十八日午後二時。在同新市場舉行。是日有小山市尹。柴山助役。淺野署長。李府評議員。及官紳二百餘名臨席。照順序舉式。四時式畢。繼開祝宴。該市場內賣店。共七十二軒。魚介類。獸肉類。蔬菜類。日用雜貨類等。件々都齊。對於採光通風。亦極注意。爲全島中不多見之新式市場。豫定一月二日。舉盛大初賣式。供市民一般利用之云。

彰化神社
年末年始祭典
希多數參拜

彰化神社。於年末年始。豫定依左記日程。在當社殿。舉行祭典。希望各官衙團體。及官民多數參拜。

大祓恒例式　三十一日午後二時。
除夜祭小祭　同午後七時。
歲旦祭中祭　一月一日午前五時。
元始祭中祭　一月三日午前八時。
彰化神社昇格紀念日祭中祭　六日午前八時。

臺東廳原野
試栽煙草
三處按五千株

臺東廳。綜合各方面事情。對廳下栽培黃色葉烟草。愈感有望。決定由廳農會之手試栽。去二十四日。在農會指導圃內播種。欲試栽于呂家。臺東平野。里壠各適地。約五千本。然參考先進地之花蓮港。屏東等收穫期間。該廳下之苗床期間。按三十日間。栽培期間六十五日。即自播種至收穫。要九十五日間。願煙草栽培入實行第一步。若成績優良時。擬利用廣大適地。招致集團的煙草移民。建設一大規模移民村云。

毆內緣妻
死因肺炎
解剖後明白

東石郡鹿草庄後堀二八五番地。陳元評。年四十六。有內緣妻。洪黃氏笑。年四十。去十二月二十二日。午前七時頃。夫婦反目。妻被元評二回打罵。嗣後於去二十三日起病。翌二十四日。午前六時逝去。二十五日。江頭司法主任。偕黃。花田。邱刑事一行到現場搜查。二十六日。午後二時有檢察官代理江頭警部補。同堀川博士到現場。解剖屍體。結局死因。判明爲急性肺炎。原因元評爲被反對者悲傷。致受嫌疑云。

是々非々

胡鏡輝氏之住址。在何處。希爲示知。（基隆町林金生）某有夫之婦。自南部逃歸。往其夫家率不歸。現往稻江北方。狗引狂蜂浪蝶。莫無恥也（敗壞風俗）洗某爲色情。被人毆打。幾至殞命。但小害者。非妻子被佔。何至出此毒手（傍觀者不平）彰郡下。既有非組合員爲組合監事者。若以庄長故。必欲藉光。亦宜使之加入一口。又身既爲庄長。自然明理。何故以非組合員。而承諾監事。又何故不加入。皆使人費解。（組合員私議）

新竹

視察東臺

竹市教育會主催。臺東視察團五名。二十六日起。至三十日五日間。赴臺東。花蓮港。恒春方面。視察教育狀況。觀光參加者如左。新竹小學松浦亞千代氏。新竹一公津猪小氏。二公邱再氏。三公黃振耀氏。住吉公渡邊忠氏。

腸疫何多

猖獗中之新竹市腸疫。患者漸多。月二十四日。凡十三名。二十五日。有市營北辰病院藥局生。翻山發則。二十六日。花園町古川竹子兩名。亦被斷定爲眞性腸疫。目下皆收容於新竹醫院。然該院以容力。僅八九名。現在竟收容十五名。今後如再發生。當移入避病舍之城西醫院云。

藥事務所

專賣局新竹出張所。日前於市內榮町（小田醫院邊）之廣場新築中之倉庫。近已告完成。者爲與倉庫連接之處。再築事務所。工費按五萬圓。建坪百二十坪。訂來年三月末日竣工。移轉。豫定四月中旬。開盛大落成式。此建築爲全島出張所中。殿美麗。將來或有支局昇格之望云。

彰化

官衙行事

彰化市郡。年末年始行事如左。二十八日午前十時御用納式。一日午前九時參式。四日午前九時御用始式。

役員磋商

彰化同志信用組合。役員磋商會。去二十七日午後二時。開於事務所樓上。開附議事項。爲定款一部變更。外七件。協議結果。俱照原案可決。四時閉會。

配付傳單

彰化署當局。對歲末警戒。由淺野署長外職員全部。分擔從事。又外更印刷警戒文之宣傳單一萬枚。配付于各戶云。

視察改正

彰化市之市區改正工事。目下著手中。大部分着見進步。按正月中。得見一段落。目下市土木課員。每日出爲監督。而州宮本保守課長。亦欲往巡內容。于月二十七日午前九時來彰。與小山市尹。淺野署長。古家行政主任等。審議良久。後一行乘自動車。到諸現場。詳細視察。並激勵諸從業員云。

南投

名刺交換

南投街依例新年名刺交換會。定一月二日。午前十時。開於南投公學校講堂。會費三十錢云。

祭事執行

南投神社祭事執行。即大祓式並除夜祭。爲月三十一日午後五時。▲歲旦祭一月一日午前五時。▲元始祭一月三日午前九時。

建議豫算

草屯庄協議員。月二十六日午前十一時。訪庄長于公室。建議明年度草屯庄豫算。及教育產業。交通等宜設施設。

開忘年會

南投郡下農務關係者。及各街庄職員。月二十六日午後七時。集于南投街開花樓。開忘年會。參加人員三十五名云。

會事

▲新莊郡山腳公學校。定來一月二日午後一時起。在同校講堂內。開同窓會。

人事

▲士庫吳瑞秋氏之大男坤樹君。此回依八丁西螺郵便局長夫妻爲媒。與西螺街人黃廷客氏之末女爽娘締婚。訂來春一月二日迎娶。▲既報稻江李族李室飛鶴之葬儀。去二十八日上午九時。在其大有街發合商行舉式。依佛式。莊垂勝行。席上臨濟寺僧侶誦經後。有陳天來。李延禧。陳復禮諸氏弔詞。十時過式終。大造族謝詞。是日會葬者多係紳商鉅家。凡五六百名。極生榮死哀之至云。▲彰化地方法院供託局長。仙葉清吉氏。其子定雅君。彰中商業學校五年生。不幸於月初去世。仙葉氏爲香奠答謝。提出金五十圓。交市役所。爲國防獻金云。

摭談

黃天蕩蟹

章太炎先生之夫人湯國梨女士。有兩句詩曰。「不是陽澄湖蟹好。此生何必住蘇州」。在蘇夫人時中看少。是以陽澄湖蟹而住蘇州。足見陽澄湖蟹。確大人口。但蟹之佳者。實無有於常州北鄉黃天蕩所產。無論雌雄。全身膏肉堅實。啖之味極雋美。大者十餘兩。小者七八兩。市上售一元兩斤半。所產之蟹。除供應市上入所販外。其餘悉數運銷常州。故外埠老饕鮮知者。黃天蕩位處常州北門外三十里。蕩內水深而故水產動物。稱豐美。該處農民。農時暇以捕魚爲副業。迨黃菊綻時。日夜捕蟹。尤以夜間爲較多。蕩內之蟹。殼深而色青。爪尖金黃色。腹臍白玉色。他處所產則雖就燈光下視之。實爲立可判也。因以金爪玉臍著稱云。

趙莊狗寶

安次通訊。縣西趙莊居民趙某所畜家犬因病瘋。忽似瘋狂狀。趙命工人打死而剖之。不意發現一亘大白珠。似石非石。有識者謂係狗寶。計重二斤八兩。與牛黃等同爲藥品。用途頗多。[illegible]五錢。七錢。咳嗽。吐血。身及五臟等病。定劑。氣喘。咳症等。功效極大。趙自得此物後。擬携赴天津出售云。

商況（廿八日）

株式

東京銀行貿株
日　五五八、〇〇　四新三九四、〇〇
正金　二二二、五〇
鐘紡　七八、五〇　同新二九、三〇
紡　九三、七〇　同新七〇、〇〇
　九〇、六〇　同新二四、七〇

東京市中貿株
日清　九六、五〇　同新八二、〇〇
臺銀　五〇、四〇　同新一四、九〇
東洋拓殖　二五、六〇　同新六、〇〇
日石　五一、〇〇　同新一九、八〇
　五〇、六〇

紐育株式
スチール株　四六弗八分三
アナコンダ株　二八弗八分七

公債

東京國債
[illegible]

爲替

外國爲替相場
對米　二八弗八〇仙
英貨　一志二片三一分
神戶對外爲替
[illegible]

豆粕
[illegible]

砂糖
シカゴ小麥　[illegible]
玖馬　[illegible]
爪哇　[illegible]

銀塊
[illegible]

絲況
大阪現物　[illegible]
大阪綿絲　[illegible]
大阪棉花　[illegible]
大阪人絹　[illegible]
橫濱生絲　[illegible]

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

編輯兼發行人　前野篤若
發行所　臺北市榮町
臺灣日日新報社

廣告料　普通欄一行　壹圓
特別欄一行　壹圓五拾錢
記事挾込一行　貳圓

天井知らずの大賣行！

滿天下諸名士より斯くも有難き熱讃！激賞！全國會社、銀行、工場、學校

青年團、處女會より怒濤の如き大量注文！感謝！感謝！大感謝！何とも言ひ様なし!!

——愈々以て御國の爲、渾身の御奉公をと社長首め社員一同大いに勵まし合つて居ります——

世間雜話　三十錢

野間清治著

順不同（拔萃掲載）

内大臣伯爵 **牧野伸顯先生**

平生御多忙の貴社長が大小の社會問題に關し常に御注意相成候事誠に感服此事に候。

文部大臣 **松田源治先生**

余は文教の重責にあつて日夜其及ばざるを恐れてゐるが、特に教育の向上改善に就いていろいろ心を碎いてゐるこの時余と意圖を同うする野間君によつてこの『世間雜話』が著はされた事は余にとつても此上なき欣びであります。

樞密顧問官子爵 **石井菊次郎先生**

野間君ノ著書ノ孰レヲ拜見シテモ手近ノ例證ヲ掲ゲテ人生要諦ヲ簡單ニ而モ徹底的ニ説明シ悉シテアル。蓋シ科學ハ別トシ人生ノ要義ハ之ヲ先哲ニ諮ルヲ要セズ之ヲ東西學説ニ徴スルニモ及バズ日常生活裡ニ自然ノ法則ヲ爲シテ流レテ居ルノデアラウ。

德富猪一郎先生

始めから終りまで悉くみな野間社長の實踐躬行體得身驗の内より得來りたるものたることを認め、如何にも敬服に堪へなかつた。之は客觀的に云へば世間に對する教訓であり、主觀的に云へば野間社長の自傳、若しくは自傳の骨髓であるとも云はれないことはあるまい。巻末の『婦人よもやま話』は、正に現代の女大學と云ふべきものであらう。

建長寺派管長 **菅原時保先生**

寶炬を暗衢に挑げ、甘露を塵寰に洒ぐ、之是の古句を以て野間清治君の新著『世間雜話』を評す。卑近にして高深、人の語らんとして未だ語り得ざる所を能く語り、平易にして優越、人の説かんとして未だ説き得ざる所を能く説く、其親切、其深備一紙上に躍然たり。

公爵 **德川圀順先生**

訓説丁寧比喩剴切讀去リ讀來リテ興味津々洵ニ處世之好指南萬人必讀ノ高著ト敬服仕候。

文藝家 **菊池寛先生**

苦勞人の日常道德の實踐訓話である。前々の著書よりもいよいよ味が細かくなつてゐる。道德の大綱に就ての本は多いが、かういふ細かい注意の方が實生活にはすぐ應用出來るものだ。（中略）僕は現代日本の十大人物を選べば何の考慮なしに野間さんを選ぶ。五大人物を選んでも選ぶかも知れない。

貴族院議員 **稻畑勝太郎先生**

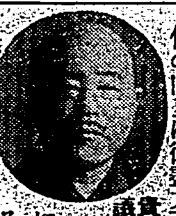
全卷人生處世術の教訓で埋まれる此書は一讀後抛り棄てずに常に座右に置いて、何か迷ふ問題が起る毎に此の書を繙き、其の教訓を參考とするならば、大いに實益がある。

遞信大臣 **望月圭介先生**

此書は人生を愉快に世の人々を幸福にする爲に人として爲さねばならぬ手近な道が極めて平明卒直に書かれて居る。そして今の世に缺けて居るものは實はこの手近な道の實行である。私は野間君が繁忙の間から常に此方面に努力せられつゝあるを多とすると共に、此良書を廣く江湖に推奬せんとするものである。

日本女子大學教授 **高良富子先生**

今度、野間さんの『世間雜話』を拜見して、これこそ、永い間私が希望して居た本である。いゝ本を出して下さつたものだと思ひました。私は『世間雜話』に依つて、日本人の生活のレールが敷かれたと信じます。そしてこのレールの上に、今後野間さんが、第二、第三の指導を與へられ、文化の向上に御盡力下さることを期待してやみません。



貴族院議員 **丸山鶴吉先生**

成人にも、子供にも、傭人にも、雇主にも、母にも子にも、夫にも妻にも、凡そ萬人に深い感銘を與へる、大きな力のある事を信じて疑ひませぬ。本書の出版は實に大なる教化事業の一つであると信ずる次第であります。

男爵 **若槻禮次郎先生**

本書ガ讀者ノ歡迎ヲ受クベキコト小生ノ疑ハザル所ニ有之候處國民ガ好ンデ本書ノ如キ著書ヲ讀ムニ至リタルコト其事ガ誠ニ結構ナル傾向トシテ小生ノ喜ブ所ニ御座候。

文學博士 **下田次郎先生**

讀書人が机の上で假想問題をいぢくつて出した教訓書の不徹底とおめでたさは一ケ所だつて、この書には見出されない。この書は野間氏の頭腦の熔鑛爐にかけて、雜物を選り分けて流し出した灼熱の鋼鐵である。

海軍大將 **山屋他人先生**

此著は風教に益するところ頗る大なるものがあり、しかも社會の各階級を通じて德教上最も普遍的なる參考書とすべき名著である。敢て蕪辭を呈して深甚の敬意を表する次第である。

拓務大臣伯爵 **兒玉秀雄先生**

日々我々の接觸する手近な諸問題に就て、國民道德の軌範を示されんとする野間君の努力は敬服に堪へない處である。此の努力の結晶が卽ち『世間雜話』であるので、今日の時世に於て、世道人心を正すに有益なる羅針盤なりと賞讚するに躊躇しないのである。

早稻田大學總長 法學博士 **田中穗積先生**

私は野間氏の著作の最も熱心なる愛讀者の一人である。曩きに昭和六年『修養雜話』と題せる著作の公刊された當時、一讀三歎直ちに數十部を知己の間に頒つて其精讀を促したが、近業『世間雜話』が又實に金玉の文字で、巻を措く遑なく一氣にこれを讀了した。其質實穩健の思想、洗錬暢達の文章、眞に三十年間苦鬪の結晶と思はる。

醫學博士 **佐多芳久先生**

世の中を美しくし、明るくし、人が偉くなり、幸福になる道を簡易に誰でも解り易く說いてあることに只々感服するばかり、一人でも多く日本國民が讀んだら其の人が幸福になり、一家が朗かになつて日本の繁榮、進歩に役立つこと、深く信じます。

文藝家 **中村武羅夫先生**

全くどえらい人だ。その人が、ニコ〱顔で、やさしい、面白い話をして聞かせてくれてゐる。小僧さんや、女中さんが讀んでも、面白くて、ためになるし、大臣や大將や、博士が讀んでも、やつぱり面白くて、ためになる。これこそ、老若男女、貴賤貧富を問はず、萬人が萬人のために『人生の寶玉』を、ザク〱と秘めてゐる貴い『人間の寶』であると言つていゝ。

軍事參議官 海軍大將 **山本英輔先生**

これは日本人の書である。國防の書物である。富國強兵の本である。凡そ人間に必要缺くべからざる大切なもの程廉い。日光、水、空氣、之程大切で之程廉いものはあるまい。『世間雜話』は日光であり水であり空氣であると思ふ。

大正大學教授 **友松圓諦先生**

『雜話』とはいひ乍ら、みんな生活の活きた指針であり、萬人必讀の大文字である。野間さんに佛典を讀みなほして貰つたら、さぞ立派なものとして現代に再生するだらう。

共立女子專門學校長 **鳩山春子先生**

『世間雜話』とは申せ、立派な『世間哲學』で、讀者が之によつて、如何に多くを訓へられ、救はれるであらうか、私は本書の普及に大なる望みを懸けてゐるもので御座います。

前大審院長 法學博士 **横田秀雄先生**

『世間雜話』中に於て、平易なる文字を以て氏獨特の處世訓の妙味を遺憾なく發揮せられましたるは、誠に喜ばしい事でありまして私は、其の世道人心に感化を及ぼすことの極めて大なるべきを信じ、大に此著を推奬したいと思ふのであります。

陸軍中將 **大島健一先生**

人生日常接觸する事象を捕へ來て仔細に玩索し愼密に思辨し之を彝倫の洗練に附し人性の本能に愬へて懇誠に評釋し明朗に淨化し而も文章の流暢にして解詁の心切なる讀む者をして知らず識らず至善の寰宇に逍遙し道義の體用を了徳し篤く之を行ふの道を知らしむ。

日本勸業銀行總裁 **馬場鍈一先生**

該書は誠に平易に說述せられたる處世訓を蒐められたる社會教科書とても申すべきものにて近來になき快著と信し申候此の書か一人でも多く世間の人に讀んで貰ひ且其の通りに實行せられ候はゞ唯に著者の御滿足は申すに及ばず世間一般の者の幸福和樂如何ばかり大きからんかと愚考仕候。

拓殖大學々長 帝國教育會長 **永田秀次郎先生**

日常の極く些細な事柄に注意して、これによつて極く些細な事から大きな目的を達するやうに導かれてゐるが、これは最も有效な方法である。斯ういふ平凡な些細な事柄を活かして道を敎へる事は大變に容易な事のやうに思はれるが、實際は極めて難かしい事で、苦勞を仕拔いた人でなくては出來ない。

武德會副會長 陸軍中將 **山本鶴一先生**

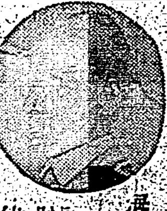
實に一言一句人々の陷り易き過誤、心得等吾等老人には一々胸に覺えある事とて難有且つ面白く存じ申候、只老の近づき今更取返しの時機遲きを患へ申候　呵々

愛國婦人會長 **本野久子先生**

これは嫁入道具の一つとして忘れられぬ本であるのは勿論ですが、女學校や女子青年會や處女會あたりで花嫁讀本として採用したら、どれほど日本の若い娘さん達の將來が明るく幸福になるかしれないと思つて居ります。

代議士 **安部磯雄先生**

私は野間氏の『世間雜話』を讀んで全く舊知に逢つたやうに感じた。野間氏の經營する雜誌が何れも多數の讀者を有してゐるといふのも、其秘訣は主として此點にあるのだ、私は一氣にこれを讀了した。



海軍大將 **百武三郎先生**

全篇之れ金玉の聲とも可申か言々句々肺肝に徹し申候誠に實踐躬行の感化力は偉大なるものと敬服之至に奉存候。

日本女子高等商業學校長 **嘉悦孝先生**

かくも平易に、讀み易く、わかり易く、推敲に推敲を重ねられた著者の御苦心、御骨折の跡を拜見いたしまして唯々驚嘆するのほか無之、かやうな有益な書物を讀ませていたゞく事が出來ました事に對し深甚なる敬意を表する次第で御座います。

文藝家 **白井喬二先生**

曾て私は青年時代、圖書館の歸途に、上野の森を過ぎ、冷たき石上に立つて[illegible]太郎主義の演說をしてゐる一老人[illegible]た。聞いてゐる內に、日はトップリと暮れ[illegible]のみ傳はり私は感激して立去り兼ねた。『世間雜話』は[illegible]に幾千倍した力を以て、全日本に呼びかける石上の演說であらう。街頭に孔子が現はれたのだ。

此の外諸名士よりの御批評机上に山積！　玆に掲げ洩れの御批評は何等かの方法を以て順次發表させて頂きます

又々大量大增刷

面白い〱トテモ面白くて爲になる

早ければ早い程得、即刻書店でお求めあれ

國運の進展と臺灣の使命

多事なりし昭和十年を送る

一

昭和十年も將に暮れなんとしてゐるが、多事なりし此の一年を顧ると伊、エ戰爭の勃發するなど、國際情勢の緊張益々甚しきを加へる中に、我日本は國運の進展益々隆々として皇國の一途を辿りつつあり、之は畏くも皇室の御稜威の然らしむるところである事は申すまでもないが、時局愈々重大なる時に當り、皇國の民として深く之を想ひ、益々無窮の皇國の途に邁進すべき時なるの感を深くせざるを得ないのである。此の意味に於て本年を送るに當り特筆さるべきは國體明徵問題である。概觀に言へば昭和十年は國體明徵問題の爲めに其の大半を費したのであり、此の問題は國民の最も大なる關心事の一であつた、それは實に歷史的にも記念さるべき事柄に屬する。

二

國體明徵運動の基調をなすものは皇道精神であり、日本精神である。日本精神には二の部面が見られる。其の一は純粹日本的であると說明せられるものに唯一至上性を認め、外來的なものを排擊する動向であり、其の二は或時代以後に實を結んだ日本の固有の文化其の他に日本的なよさを認め、之を基本としつつ、なほ外來的なよきものを加へて進まうとする進取的融合的精神がそれである。今日は此の兩者の著しい相剋を見るのであるが、斯くて日本精神の高揚の努力が眞劍に致されるのである。國體明徵問題は憲法上の一學說の排擊に端を發した形であるけれども其の中心眼目はそれだけに留まるものではない。又所謂極端な右翼思想の反動的運動の强大化となすが如きに至つては全然問題の核心を外れたものである。

三

國體明徵運動は實に急激な西洋思想の輸入に因る諸弊或は純化なリベラリズムの風潮を打破して國民の自覺を促し以て日本の國體の本義に正しく目醒めしめ、皇道精神の眞髓に立還らしめる事を意味するものに外ならない。固より之を以て政爭の具に供するが如きは明徵運動の本旨を誤るものとして國民の指彈を買つたが、之は兎も角として國體明徵運動は曖昧、無批判的な西洋思想謳歌の思想に對し國體を本とするものとして國民の永く銘記すべきものである、所謂[illegible]を排擊し、[illegible]世界に求める方面にのみ熱中して、よりて以て大いに皇道を振作すべき最も肝要な點がやや閑却されたとすれば遺憾であつて、[illegible]に限らず、其の他の方面に於ても遺憾ながら認めざるを得ないのであつて斯くの如きは皇國の民の最も深く反省すべきところである。國體明徵の明徵に就いては吾人の一層心を致すべき事は多言を要せぬ。

四

臺灣に就いて本年を回顧すると多年の懸案たりし地方制度の改正の實現を見、秋には始政四十周年記念博覽會が開催せられ、更に始政四十周年に當り臺灣に於ける未曾有の大震災に見舞はれ、或はジュノー號事件が起る等、本年は實に多事であつた。しかしながら先づ震災の復興に就いては其の對策宜しきを得、官民の努力に依つて其の奏效よく進渉し、寧ろ轉禍して福となすに至りつつある事は喜ぶべき事であり、又記念博も豫期以上の好成績を收め、外部に對する臺灣の紹介は固より、島民自體にとつて始政四十周年の成果たる臺灣の文物をよく認識せしめ、將來の發展に資する事を得しめたる事は頗る愉快な次第である。

五

更に地方制度は大體に於て好成績に終つたが、併し、地方行政の上に顯現せしむべきは今後に殘せられたる問題である。ジュノー號事件は諸種の問題を派生せしめたが、臺灣の人士に對し、國防に對する認識を新たにし、之を深めた點で一の重大教訓を與ふるもので之に鑑みて善處を期せねばならない。殊に始政四十周年に當る昭和十年を送るに當り强調せねばならぬ事は臺灣は本年を以て一時期を劃し政治、經濟、產業、國防等あらゆる方面に於て新生面を開かねばならぬといふ事である。本年に至り內臺航空の實現を見たが將來、臺灣は國際航空路への基點たらんとし臺灣は其の活動の舞臺が擴大せられ、其の地位は愈々重大を加へるに至つたのである。之は東亞の安定勢力としての日本の重大使命とも密接な關係のあるところである。臺灣はあらゆる意味に於て帝國南方の生命線たるの使命いよいよ重要を加へる事を思ひ、臺灣に於ける人士は既往を顧み其の眼界を廣くし以て臺灣の發展と國運の伸張に力を致すべき事を期せねばならぬ。

督府明年度豫算

大藏省査定で決定

總額一億三千三百五十九萬八千圓

前年度より一千三百餘萬圓の增

【東京二十八日發】拓務省所管の臺灣總督府明年度特別會計豫算案は大藏省査定の結果二十八日左の如く決定した（單位千圓）

			前年度比較
歲入	經常部	一一七、四三九	增　九、七七八
	臨時部	一六、一五九	增　三、六八四
	計	一三三、五九八	增　一三、四六二
歲出	經常部	九八、四八四	增　五、九〇七
	臨時部	三五、一一四	增　七、五五五
	計	一三三、五九八	增　一三、四六二

主なる新規事項

歲出中主なる新規事項（單位萬圓）

事項	金額
青少年訓練施設に關する經費	一三六
臺灣神社社殿改築並に境內擴張設備費	二三
國民體育及獎勵補助の增加	二二
臺灣拓殖株式會社設立に關する經費	八
米穀自治管理法實施に要する經費	二三
產馬獎勵に關する經費	九
水產試驗所新設に要する經費	一五
油田開發補助に要する經費	八八
山地開發調査に要する經費	九
發電水力調査に要する經費	四
鐵道改良費の追加（總額千四十三萬圓、三ケ年繼續）	三六〇
電信電話施設費	五六
航空施設並に航空輸送獎勵に關する經費	四九
花蓮港築港工事費の追加（總額八十一萬圓、四ケ年繼續）	一九
[illegible]新營に要する經費（總額九十六萬圓三ケ年繼續）	三二
一般會計へ繰給金繰入れ	一九〇
國債償還資金繰入增加	一〇〇
新店、礁溪間道路新設に要する經費（總額二百五十萬圓、五ケ年繼續）	三一
頭前溪改修工事に要する經費（總額四百七十八萬圓八年繼續）	二八

滿鐵が一月から運賃を改正

遠距離遞減制へ

【東京廿八日發】滿鐵では運賃料金の合理的是正と奧地產業開發の爲め運賃率の遠距離遞減の必要に迫られ之が改正に就き慎重研究の上關係當局へ認可申請中の所去る廿三日認可があり廿八日奉天、大連、東京の滿鐵支社に於て之が一齊發表をなし明年一月一日から實施の運びとなつた、今次の改正は事變後の滿洲新事態に即せしめ滿鐵國線側に聯絡線たる本來の使命達成を根幹として居り、その改正目標は

一、滿鐵、國線運賃機構の可及的統一

一、滿洲國產業就中北滿開發を目標とする國線貨物運賃の改正

一、社線運賃及び料金の合理化

の三點に置き新運賃が制定された

この結果運賃料金の負擔輕減額は社國兩線を通し年額五百六十萬圓に及び國線は年額五百萬圓の運賃遞減を斷行し、又重要物產たる農產物に對しては兩線を合せ四百五十萬圓を遞減した、尙實施期は舊正明けの取引開始期たる明年二月一日と決定發表された、尙改正要綱左の如くである

一、普通運賃

國線は三地帶に分れてゐる運賃を最低率の京圖線地帶に基準を置き統一改正し遠距離遞減制を採用す社線は現行四等級制を國線の六等級に統一し遠距離遞減率を增大す

二、特定及び割引運賃

奧地開發特定運賃を設定し一般特定運賃を必要に應じ改廢す

三、料金

各種手數料を全面的に遞減合理化す

四、運賃及び料金規則

荷主及び從業員の取扱便宜を主眼とし社國兩線間一規則を採用し國接鐵道との協定方針の下に內容の整備改訂を行つた

五、貨物等級表の改正

取扱の簡易化、荷主の利便を圖り社國兩線單一等級表を採用す

エ國皇帝から新提案

和協工作打開て

【ロンドン二十七日發聯合】エチオピア皇帝はパリ試案の流產に依り全く行詰りの狀態に在る伊、エ紛爭和協工作打開の爲二十六日非公式に左の如き新提案を提出したとの事である

一、イタリー軍のエチオピア領土よりの撤退

二、エチオピア側の損害に對する賠償支拂ひ

三、エチオピアの主權、國家たる地位の國際的確認

四、國際聯盟の任命せる委員會に依る國境查定

五、經濟的財政的並に行政的分野に於ける外人顧問の招聘（イタリー人を除外す）

政府が先手を打ち解散する事はなからう

國體明徵問題　行へるだけやつてゐる

御用納めの日　岡田首相語る

【東京二十八日發】岡田首相は御用納めの二十八日午後首相官邸において左の如く語つた

今日牧野[illegible]が內府を訪問したが牧野伯の辭職は相當以前からの事である、一木樞相の辭職に就ては何も聞いてゐない、[illegible]は何も考へた事はない、[illegible]は別に[illegible]ではない、[illegible]ともよい、若し[illegible]に退職を及ぼす事を恐れ[illegible]

◇この問題に就ては[illegible]

[illegible]へない、議會のことは休會明けになつて見なければ判らぬが豫算其他を政府から提出してゐる

ソ聯との國交斷絕

ウルグァイ國政府から發表

共產運動をソ聯が援助の爲

[illegible]

支那の排日惡質化

背後に英、米、ソ資金援助をもなす

日支離間策に利用

佛工部局も取締緩慢

確實なる筋よりの情報によれば上海に於ける學生運動は其後益々複雜化し北平學生團の占領、租界內に於ける「アジ」ビラ撒布等に進展しつつあるが共背後關係に就ては未だ全貌を把握し得ざるも本運動の初期より國民黨部が之を使嗾しありしは殆ど疑ひなき所にして目下該運動が意圖外に出でをるのみならず他方面に甚しく惡用せられつつあるを發見し稍々困惑しあるものの如し、反解運動者對日外交方針並に現政府構成分子に對する不滿者等の煽動に依るは勿論英、米、ソ等の働きかけ相當活潑にして從來の單なる排日抗日運動とは稍々趣を異にしあり、米國側は支那より自國への現銀輸送が目下困難の際にあり、支那一般民衆の對米惡感を更に惡化せしむるを極度に恐れた爲め只管支那一般の對日惡感化を希望し、折良く起りたる學生運動を利用して民衆の目を之に轉ぜしめんとの魂膽なり該運動に對し金錢的援助をなしたる事略々明瞭にして[illegible]の費用は北平米國教師が負擔したとの事なり、又最近當市[illegible]に對し一米國人より一萬元を寄贈したる外諸外國にある米國教授連はクリスマスの贈り物として相當の援助をなしたる[illegible]へられあり、尙先般北平に旅行中の排日記者ペーエルが漢口に向ふ時を同じくし當地米國軍司令官ボーモント大佐がクリスマス休暇を利用し同じく漢口に向ひたる等大に注目す可き事なり英國側が本運動に對し厚意的態度を持しあるは工部局取締振りに依るも明らかなる所なり、又其運動方法の傾向より見て共產系のものに依り指導せられある事又疑ふの餘地なく特に奇怪に感ぜらるるは當地佛支協會支部長李某が本運動の熱心なる指導者なりと佛工部局の該運動對策が極めて手緩き事にして佛國側又專ら支那言論界の意見のみを窺ひつつある情況なり、要するに今次の學生運動は黨部に潛在する徹底的抗日分子と之を利用せんとする英國、米國、ソ聯始め諸國の日支離間の惡策なる

ソ聯と外蒙古が軍事同盟締結せん

既に軍事上の大動員を敢行

日滿支の防共工作に對應

[illegible]

兩國の意見一致

正式に公文交換

日加通商正常化

外務當局談を發表して我公正なる立場を闡明

【東京二十八日發】日加通商關係の正常化に就てはカナダ政府新首相マッケンジーキング氏と我が加藤公使との間に交涉を進めた結果兩國政府の意見完全に一致を見るに至つたので、兩國政府に於て夫々國內手續を進め二十八日（カナダ時刻二十七日）オッタワにおいてキング首相と加藤公使の間に公文の交換を終了した、從つて我政府にては明年早々通商擁護法發動に關する一般的命令廢止の手續を執る豫定であるが、カナダ側も之に對應して三割三分三分の一の附加稅廢止並に產業保護法及び營業保護稅の發動に關する指令を執る旨を明らかにし、茲に日加通商關係は五ケ月振りで正常關係に復することとなつた、從つて外務當局では二十八日午後五時右交換公文の全文及び當局談を發表し從來の交涉經過を闡明し我が公正なる立場を明かにした

外務當局談

本年七月以來日加兩國政府間において交涉中の通商關係問題は今回圓滿妥結を見るに至り兩國今後の一般的關係に明朗なる影響を齎らしたことは欣快の至りに堪へない、周知の如くカナダ側は日本に對し輸出超過の關係にあるに拘らず日本商品に對し不當なる防壓手段をとり我方の是正要求に應じなかつたため我方は已むを得ず今年七月二十日通商擁護法を適用しカナダからの主要輸入品數品に對し五割の附加稅を課したのに對しカナダ政府は日本品に對し從價三割三分三分の一の報復稅を課し兩國通商關係は茲に不幸なる情態に陷つたのであるが、雙方友好的精神をもつて折衝の結果カナダ政府は今回日加貿易を相互的基礎の上に置く事に決し日本商品取扱措置を緩和することを通告し來つた、右は必ずしも我方要求の全部を承認したものではないが、日加兩國關係及び友好關係增進の大局に立脚し今回解決を見たのであつてカナダ側は明年一月一日から前記の措置を實行し同時に我方に於ても七月制定の附加稅を撤回することとなつた次第である

日加間の附加關稅を廢止

カナダ首相が布告

【オッタワ廿七日發聯合】カナダ首相マッケンジー・キング氏は日加間の通商上の紛爭が完全な解決に到達し列國關係に關する[illegible]が一掃された旨二十七日發表し附加關稅制度は一月一日より廢止する旨布告した

◎市營バス增發……

自一月一日至一月四日　臺日主催……

但し試合の都合にて五日まで延長する事あるべし

立教大學野球招聘試合中

一般觀覽者便宜の爲……

臺北驛―圓山間

萬華驛―圓山間を

西門―圓山間

增車バス二十五臺……

四國政府よりの對英回答發表

軍事協力を誓ふ

【ロンドン二十七日發聯通】英國政府は二十七日フランス、ユーゴースラビア、トルコ、ギリシャ四ケ國政府より夫々對英軍事的協力に關して正式回答を接受したが右四ケ國政府の回答內容は等しく若しイタリーが英國の武力に攻擊を加へ或は英國の權益を侵害するが如き場合には聯盟規約第十六條三項に定められたる義務を忠實に履行し英國に對し海空兩方面に亘つて軍事的協力を與へることを聲明したものと解釋されてゐる、但スペイン、ポルトガル兩國政府よりの回答は尙未着であるが之又近く大體同樣協力受諾の回答を寄せるものと見られてゐる、ために英國政府としては對伊[illegible]に對し愈々茲に自信を深めるに至つたものと見られる

林路一氏政友會を脫黨

【東京二十八日發】政友會の林路一氏（北海道第一區出）は二十八日松野幹事長に對し脫黨屆けを提出した、氏は脫黨と共に昭和會に入る事となつた

內調專門委員

【東京二十八日發】辭令

正四位勳二等男爵　[illegible]

[illegible]

正五位勳四等　阿部　[illegible]

正三位勳二等　中川　[illegible]

從三位勳二等　武部　欽一

同　[illegible]

從四位勳四等　蒲池　[illegible]

正七位　木村　增太郎

宮田　[illegible]

山本　忠興

小林　[illegible]

臺灣カストル殖產會社

第一回株主總會

【東京二十八日發】臺灣カストル殖產會社第一回定時株主總會は二十七日日本工業俱樂部で開催、營業報告、損益計算書承認原案可決した、同社では目下栽植中で明年五月より作業開始の筈

人事

◆中瀨拓務省局長　二十八日[illegible]

◆奧田達郎氏（[illegible]）歡迎出張の爲め二十九日午後二時十八分臺北驛發にて上京

歲暮贈答

[illegible]

臺北市本町一丁目　伊田商店

大阪商船

[illegible]

近海郵船

[illegible]

辰馬汽船

[illegible]

大連汽船

[illegible]

丸一組

喪中ニ付年末年始ノ御挨拶遠慮申上候

臺北市[illegible]

西　輝男

西　益良

喪中ニ付

年末年始缺禮仕候

臺北市榮町三丁目

鎌野時計舖

守田　哲二

喪中ニ付

年末年始ノ御挨拶御遠慮申上マス

秋本糸店

秋本蒲團店

秋本裝飾部

臺北

村井商行

電話二二番　[illegible]

人氣は刻々と皆様の身に集つて參りました……有意義なお年も剩す三日となりました……[illegible]

先づショール半額提供御早勝

其他年末[illegible]

商品券發行

[illegible]

最終お正月用特賣

上等絹蒲團・絹座蒲團・カーテン・赤毛系毛お腰

臺北榮町京町

松井吳服店

本期産糖見込 約一千七百萬擔

臺灣糖業開始以來の最高記錄

總督府第二回調査發表

總督府殖産局に於ては二十八日第二回蔗園調査成績に基き次の如く本期の産糖豫想を發表した、即ち第一回發表より二萬一千四十九擔の増加で、一千六百九十九萬八千五百八十八擔といふ、本島糖業創始以來の最高記錄が豫想されるのである

一、新式製糖　一六、六二五、三一三擔（分蜜及耕地白糖）
一、改良及舊式糖廍　三七三、二七五擔（赤糖）
合計　一六、九九八、五八八擔

一、本期糖見込は第二回蔗園調査成績を基礎とし十二月中旬迄にかける甘蔗の生育状況より豫想せるものであつて今や過去に於ける最高記錄一六、四四四、一六〇擔（昭和七年期）を突破し新記錄を示さんとする見込みである

二、之を前期實績數一六、〇九七、五八五擔に比し九〇一、〇〇三擔の増、本期第一回蔗園調査に據る豫想見込一六、九七七、五三九擔に比すれば二一、〇四九擔の増加見込みである

三、前期に比し増産の主因は作付面積の増加（六、五八七甲、六%一五増）に依る

四、單位面積收量は新式製糖場及改良糖廍僅かに減收（新式一、五四斤減、改良一七四斤減）舊式糖廍增收（五、六七九斤增）を豫想せられる

五、歩留は最近にかける甘蔗成熟状況並に製糖期間延長等より考察し前期に比し新式製糖場にかては略同率、改良及舊式糖廍にかては相當の低下を豫想されてゐる

△新式製糖場

	本期第二回豫想	本期第一回豫想	前期實績
原料蔗園面積	一〇八、五六四・一二甲	一〇八、五六四・一二甲	一〇一、九〇五・一四
甲當生産原料斤量	一二五、四八〇斤	一二五、四八〇	一二六、五三〇
原料生産總斤量	一三、六三八、〇九一千斤	一三、六三四、〇五一	一二、八八三、〇七五
壓搾原料總斤量	一二、五八八、九七一千斤	一二、五六八、三八〇	一一、八六九、三二七
歩留	一三、二〇%	一三、一〇	一三、一四
産糖高	一六、六二五、三一三擔	一六、六〇八、二〇五	一五、七七五、八〇二
甲當産糖高	一五、三一	[illegible]	一五、四四

△改良糖廍

	本期第二回豫想	本期第一回豫想	前期實績
原料蔗園面積	一、六六〇・〇五甲	一、六六九・五七	一、五八一・三六
甲當生産原料斤量	八九、五二八斤	八〇、一七〇	八九、四九二
原料生産總斤量	一四八、三三五千斤	一三五、一六二	一三五、六二二
壓搾原料總斤量	一三七、五五五千斤	一四〇、八〇九	一一〇、八〇二
歩留	一四、一〇%	一四、一〇	一四、九六
産糖高	一九五、六六二擔	一九八、六〇四	一六六、三一三
甲當産糖高	一二〇、六〇擔	一二一、七〇	一〇四、五四

△舊式糖廍

	本期第二回豫想	本期第一回豫想	前期實績
原料蔗園面積	三、三二六・九二甲	三、二九五・一三	四、〇九九・二七
甲當生産原料斤量	六七、一八八斤	六七、一二〇	六一、五一八
原料生産總斤量	二〇二、六八七千斤	二二四、二五八	二五九、六〇二
壓搾原料總斤量	二〇一、六八八千斤	二二四、一八八	二二四、八八六
歩留	九、四〇%	九、四〇	一〇、〇〇
産糖高	一八九、五〇六擔	二一〇、七〇五	二二五、四〇二
甲當産糖高	五五、七六擔	五五、七〇	五二、五五

△合計

	本期第二回豫想	本期第一回豫想	前期實績
原料蔗園面積	一一三、五六一・二三甲	一一四、〇八〇・六一	一〇七、一八四・一七
甲當生産原料斤量	一二一、四九〇斤	一二一、四六〇	一二一、四四九
原料生産總斤量	一三、八八九、九〇一千斤	一三、八八三、五九二	一三、一八八、一七六
壓搾原料總斤量	一二、八九八、五五八千斤	一二、八〇三、二九一	一二、一一四、八六五
歩留	一三、一〇%	一三、一〇	一三、二〇
産糖高	一六、九九八、五八八擔	一六、九七七、五三九	一六、〇九七、五八五
甲當産糖高	一四九、六六擔	一四八、七〇	一五〇、一三

氣象關係は惡いが

新記錄は間違なし

海岸と山手原料は良好

第二回蔗園調査に基く産糖豫想高は別項總督府發表の通りであるが右調査に從つた特產課當局者は本期にかける甘蔗の成育状況につき左の如く語つた

先づ本期の氣象状態をみるに七八月に雨が例年より多く九月に入つてまでも連雨が降つて十月頃まで續いた、そこで甘蔗の成育に一番大切な夏期に氣溫低く日照時間も從つて少いといふ結果になり、成育状況は第一回調査の折は昨年よりも稍々良いといふ程度であつた、一方季節風の關係はどうであつたかといふに昨年は十月中旬と十二月の二、三日とに大風にやられたが、本年は十一月中旬に風を受けその風速の最高は二十米、平均は十三米といつた程度で昨年よりも輕く、而も時期が一ヶ月遅れたため海岸原料にとつては有利な條件となつた、さて前述の様に雨が遅くまで降つて成育が遅れてゐる上に冬に入つてからは一般的の高温に禍ひされ全島殆んど出穗開花してしまつた、そこで出穗直後には甘蔗の成熟尚更悪く壓搾を開始した工場にして中途で作業を休止したところもあつた位である、花が咲くほどであるから甘蔗の內容も傳實に發達してゐる筈なく一般に頭弱でガツチリとは出來上つてゐない、そこで今後の天候の回復に期待をかけて待つてゐる向もあるが、充分なる發熟は期待出來ぬだらうし從つて本年の歩留は餘り芳しくあるまい、だが悪いといつてもさう一概にはいへず昨年に比し劣つてゐると思はれぬし、一方山手と海岸の原料は相當に增收する見込みであるともかく新式製糖場の產糖豫想は一千六百六十一萬擔餘位で、たとしても空前の新記錄を生むことには間違ひないところであらう

全日本の對外貿易

五十二億圓を突破

而も入超は一億圓以上を減少……

非常なる好轉（二十五日迄の累計）

【東京二十八日發聯合】大藏省發表本年一月以降十二月二十五日迄にかける本邦對外貿易は左の如し（單位千圓）

內地 輸出	二、四四〇、七九九
輸入	二、四五四、〇〇二
合計	四、八九四、八〇一
入超	一三、二〇三

尚內外地即は左の如し

輸出 內地	二、四四〇、七九九
朝鮮	一、[illegible]
臺灣	[illegible]
合計	二、五九六、二六八
輸入 內地	二、四五四、〇〇二
朝鮮	[illegible]
臺灣	[illegible]
合計	二、六三六、四五〇
輸出入合計	五、二三二、七一八
差引入超	四〇、一八二

前年に比し一億圓以上の入超減を示せり

公債發行額實に

百十億圓に近し

利拂負擔累加は財政上の癌

【東京二十八日發】明年度特別會計は二十七日大藏省議を經て明春劈頭の議會で決定されることとなつたが明年度に於ける新規公債の發行額は本年度に比し一般會計において六千九百萬圓、特別會計において五百一十萬圓計七千四百萬圓を減少して七億五千五百萬圓となり、尚各方面で豫想されてゐる如く九十九億六千萬圓となりこれに本年度末公債の現在高に明年度分を合算する時は百十億圓に近づくこととなるので公債利拂を通しての負擔累加は金融市場の公債消化力問題と共に今後における財政上の癌として愈大規模に取扱はれて行くのを重要視さるるに至つた

昭和十年中の

米價の動き

期米の高低値幅三圓弱

臺灣米は好値續く

期米は年初限月を除く、二月末に二十九圓を出し五月中に二十二圓二十錢に大阪、近期は二月中旬に三十二圓六十六錢と打止め小波く大納會を迎へた、顧みれば本年の米價は前年の大凶作を受け强人氣の下に最初から收益が利いて高値は二月初に三十二圓の高値を見せ、五月末に二十八圓九十五錢まで崩落したが大發表を見て七月中に三十一圓四十二錢と戻したが大發表を見て七月中に八月一日新米の十月限發會に百四十九錢の安値を崩落したが、一月四日の大發會に二十九圓四十五錢の安値をつけた大阪期米の先限は二十二圓四十五錢（廿一月限）で、それより幾分上向き九月に入り新甫十一月限が又もや百四十寸の大下落を付けたが作柄弱觀に加へ正米は飽迄頑强を失はず九月二十八日當限は三十二圓四十錢といふ突飛高値を演出し連れて先限も三十一圓七十四錢迄吹き上げたが之を高値に漸落十月には新米氣分の濃化に連れ期先の期剝げ著しく十一月初には先限二十九圓六十八錢と高値より二圓一以上の反落を示し之で九月の安値に對し二番底を固めてアト株高と現實良好、政府の買上げ期待に反映、寸退尺進十二月に入り又も三十一圓三十錢に來せ二十五日三十一圓三十九錢を大本つけて遂に伸切らず三十一圓二十錢で大納會となつたので、ある、翻つて本島米の現物相場（基隆渡包）をみるに蓬萊米、丸糯米共に前年よりも遙に高値を出し蓬萊米は五月の八圓九十錢が最安値、十月の十圓七十五錢が最高値で他の月には九圓二十四錢以下の安値なく九圓六、七十錢から十圓台の高値が多く、丸糯は九月の十五圓七十七錢が最高（二期米）、一月の九圓三十六錢（昨年二期米）が最低で近年にない異常な大高値を出し本年二期糯の如きは十二月に十二圓六十一錢といふ最高値を演出した、即ち次の通りである

蓬萊米

	最高	最低	平均
一月	一〇、六五錢	九、六五錢	九、九〇錢
二月	一〇、五六	一〇、一二	一〇、三五
三月	一〇、四九	一〇、〇四	一〇、二五
四月	一〇、一九	九、四〇	一〇、〇〇
五月	九、八〇	八、九〇	九、三六
六月	九、六八	九、二六	九、四六
七月	一〇、二六	九、二三	九、六八
八月	一〇、三六	九、三二	一〇、〇七
九月	一〇、四〇	一〇、〇〇	一〇、一〇
十月	一〇、七五	一〇、〇〇	一〇、三二
十一月	一〇、二六	九、九〇	一〇、〇七
十二月	一〇、三五	一〇、一〇	一〇、二〇

丸糯米

	最高	最低	平均
一月	一〇、三六	九、三六	一〇、〇八
五月	—	—	—
六月	—	—	—
七月	一三、二一	一二、五〇	一二、八八
八月	一三、五〇	一三、一〇	一三、二六
九月	一五、七七	一三、五〇	一四、〇〇
十月	一五、六〇	一三、四〇	一三、五五
十一月	一二、〇八	一二、二一	一二、二二
十二月	一二、六一	一二、〇八	一二、四〇

（備考）十二月は二十七日迄の最高、最低である

因に本年二期米の移出高は去る二十六日迄の累計次の通りである

蓬萊米	一、〇八八、四四〇
丸糯米	八八、八六五
在來米	四九、一〇〇
長糯	三七、三三九

年內の製糖開始

三十四工場に上る

本期の製糖開始は鹽水港製糖の新營工場がトップを切り十一月十五日から製糖作業を開始し十二月二十六日には大日本製糖虎尾第二工場と帝國製糖竹南工場、二十七日には帝國製糖臺中第二工場、鹽水港製糖岸內、蕭壠南工場が何れも作業を開始した、而して二十七日までの作業開始工場數は總督府特産課調査に依れば三十四工場で新式工場の總數四十七工場であるから十三工場が殘つてゐる譯である、本期は強い季節風が早く吹き其後の氣候温暖のために歩留が惡く作業開始を手控へてゐるものもあるが、一般に各社とも原料が豐富であるのでたとへ歩留上に不利があつても原料處理の關係から永く作業開始を手控へする譯にも行かず一月に入り一齊に殘りの各工場とも作業を開始するものと見られてゐる、尚今日まで作業開始濟みの工場は左の通りである

臺灣製糖八、新興製糖一、明治製糖六、大日本製糖八、鹽水港製糖四、帝國製糖四、昭和製糖三

歲末の

日銀帳尻

發行高十七億圓突破

【東京二十八日發本社特電】歲末大晦日に近づき日銀兌換券は連日激增し膨脹過程を辿りつつあるが二十七日に繰越された帳尻によれば兌換券は更に五千六百十四萬三千圓を激增して十六億五千七百六十萬圓となり、前年同日に比し一億三千一百萬圓の膨脹を示してゐる而して二十七日中には日銀貸出が再び膨脹に轉じて約四千萬圓前後の增加を見たものといはれ、從つて兌換券もその程度に膨脹を來してゐるので廿八日に繰越される日銀帳尻では兌換券發行高は十七億圓を突破するが確實であり、從つて前年の兌換券最高十六億六千八百萬圓（廿九日）は本年は二十七日において早くも突破したことになる譯

臺銀の

停年制

新年より實施

臺灣銀行にかては曩てから調査をすすめてゐた行員停年制度を採用昭和十一年より實施することになつた、その內容は行員直に之に準ずる雇傭員の停年を滿五十五歲とし二ヶ年の餘裕期間を認むとなし將來の人事行進を秩序だてようとするものである、行內の空氣は割合に平穩で、停年に達する者は、行內は滿五十五歲と云へば屆傭員から特進せる者に稀にある位のもので一般行員では幹部級と雖も五十代は稀である、從つて今度の實施で即時解雇になる者は無く、二ヶ年の猶豫期間を經てその適用を受くべき者も內外地本支店に亙り僅か三四名にすぎないとの事である

極東煉乳販賣

本島は從來通り

三井系の極東煉乳會社が明治製糖系となつたことは既報の如くであるが、右に付本島の販賣權を有する三井物產臺北支店の雜貨係員と金鷲印ミルクの一手販賣店臺北榮裕の支配人とは販賣問題につき交渉の爲め上京中の所二十七日歸臺した、而して交渉の結果は本島にかける極東煉乳の販賣は明十一年六月迄三井物產で面倒を見ることとし一手販賣店は從來通り金鷲印は榮裕、金錨印は元裕が一手販賣店として賣込に努力することに決定し明治商店は本島では極東煉乳の販賣に關係しない事になつたと

東石郡下の

棉花栽培

非常な好成績

現下全島に亙つて栽培されつつある棉花は所謂國策的見地から當局にかて相當熱心に奬勵されて來たが未だ試作時代の域を脫せず度々失敗した成果も擧げられぬので當局として多大な不安を感じてゐる矢先に今回臺南州東石郡朴子庄下にかて試作中の棉花が全島一の成績を擧げ甲當り千斤以上で、この成功は直ちに本島棉花栽培に一つのヒントを與へたものとして非常なセンセイションを巻起し、林田臺南州內務部長を初め各地から係員の如く視察團が押し寄せ或は農林學校より標本として採集される等同庄長臼井房吉氏を面喰はしてゐる状態で殊に林田內務部長より當局の棉花栽培に貴重なヒントを與へたもので全島一の成績は勿論內地或は世界にかける棉の本場エジプト邊もこれ位の成績ではなからうかと激賞した由で、因に當庄天田政良氏の（千餘甲步）で甲當り甘蔗收穫の平均二十四▲斤、蓬萊米九十斤の成績で名を擧げた庵軍は更に全島一の棉を生産して俄然臺南州下の爲め萬丈の氣を吐いた譯である

臺灣の產業經濟は

廿年前の三倍に膨脹

柚花三和支店長談

山中佐太郎氏の後を繼ぎ三和銀行臺北支店長となり過日和歌山支店より着任した柚花仁氏は大正四年より同十年まで前身三十四銀行の臺北支店にゐた因縁もあり感慨深げに次の如く語つた

私が始めて三十四銀行臺北支店に來任したのは今より二十年前の大正四年十二月で同十年迄約五年振りに再び此の地に參つたやうなわけで、大正四年にも十一月に辭令を受けて十二月に着任したし今度も十一月に辭令、十二月に着任したなど奇しき因緣ではありませんか、大正十年私が內地へ轉任する直前に臺北村支店長の下にあつて私が取扱つたものに臺北州の華山陸橋改築二十萬圓といふのがあつた、十五年後の今日此の華山の築堤の見る……ことを思ふと愉快でもあり感慨深いものがあります、又私が初めて臺灣に參つた大正四年頃の臺銀發行高は平日で一千八百萬圓內外、年末には二千萬圓を越したと記憶してゐるが、現在では七千萬圓を超し七千三百餘萬圓といふ最高記錄を作つたといふことを聞き臺灣の產業、經濟が二十年前の三倍以上四倍近くに膨脹してゐることが窺はれる、本年末の金融は平穩、銀行發行高は私の豫想通り十七億七千萬圓位で越年しさうである、三和銀行は前身三十四銀行以來本島に深い關係を持つて居り官民各位からも特別の御援助を蒙つてゐるのであるから臺灣では前三十四銀行以來の傳統を守つて[illegible]

北東南西

今春結城豐太郎氏を團長とする一流銀行家の觀察團が來臺した日糖社長藤山愛一郎氏が二十八日又來臺した、藤山氏は例年一、二月に來臺するのが普通であるが、去る二十五日に鐵道新設の影響を緩和して新年二日から製糖を開始する龍巖製糖所の運轉振りを社長自ら檢分したいといふので繰上げた譯、藤山氏一ヶ月の豫定▲能力一千二百噸の大工場が新に出來、虎尾の第一、第二工場と北港工場、大林斗六の各工場と相俟つて日糖の事業は益々合理化へ、そして益々大をなすに至つたわけで、藤山社長も龍巖製糖所の結果には愉快禁じ難いものがあらうとお察しする▲鐵道部は過日來各部分の手直し、斧が行はれてゐるが、永井重役は鐵道部の齋々大地を固めんとする音響と云ひ、歐語るやうな氣分、それは他の工場と樣互に違ふものだと初の登龍門を尋ね氣に臨つた▲昨年末には用紙の用務[illegible]

昨年の臺灣觀光團の[illegible]

臺北の[illegible]社長は一月中頃に來臺するさうだ、臺糖の武智社長も一二月中には來臺するだらう▲大正十三年總督府特產課の設置以來、本島の青果產業のために盡し又皇族方の御成りの際には必ず御進係主任者として奉仕した小笠原技師は臺灣青果、臺灣青果の大合同が成立したのを機會に二十七日附勇退し實業界入りをなすこととなつた▲後任には臺北州の梶原技師が發令されたがは臺北州の前身時代に半年、農試所に四年ゐた、梶原技師は地方技師中でのピカ一で身體こそ小さいが氣槪、實に同君の手腕に俟つ所が多く中島局長の眼鏡に叶つて引拔かれたもので州としては大きな損失であるが臺灣の青果業界のためには最適任者を得たので前途祝福すべきであらう▲商工課に九年ゐた甲本課長も今田君に代つて商工係へ、米から青果へ轉籍したわけだ、特產課の青果係は本年は隨分多事多端[illegible]

店長歲末多忙の際に着任したので臺北だけ挨拶を濟してホッと一息、臺南、高雄への挨拶は新春へ持越となつた▲今年の歲末は商機が餘りに盛大に華やかであつただけに警師其他何となく目立たぬ乍らも實質的には未曾有の盛況を示し農村を中心に今迄にないゆたかな氣分に滿たされてゐる▲本島、內外貿易は總額六億に突破すること疑ひなく殊に移出超過八千五百萬圓を下らぬ模樣、特に對外輸出の發展から輸入超過が昨年の半分に減つたことは見逃せないところだ▲島內の購買力增進は移入品に反映し滅災復興と相俟つて新記錄を作つたものが多い、殊に其の島內賣上げ高實に二百九十萬圓昨年の二百十萬圓に比し約四割の激增はその代表的のものだらう▲明年の本島經濟界は本年より多望であらう、喧春早々から米に一段の高値が出るか何うかは問題だ、財界そのものには與安以外にさしたる惡材料はないが、國際關係にデリケートなものがあるからだ▲新更新選の新年も近、あれんとす、[illegible]

お斷り

紙面整理は當面を以て本年の最終刊とし、一月六日（七月附）より紙面を改めて發行されることになります

臺中米價（二十八日）

蓬萊米一〇圓五〇錢、丸糯二二圓四〇錢、出來高蓬萊米八、三〇二袋、丸糯四、一二二袋（臺中驛前）

株式

東株閑氣配

【大阪二十八日發】東株の實物市場大納會立會は金融緊縮を基調に昨高見越と共に買氣存外活潑を呈し好人氣の裡に引締りのもの多かつた、新東株外主要株は引續き保合氣配であつたが人絹株の閑散が注目されて帝人は百二十一圓丁度と二と四圓丁度、同新株七十四圓丁度との兩高その他も頗る好調を呈した

穀肥

大連特產前場

	寄	引
大豆現物	五、九六	五、八三
一月限	五、八一	五、七六
二月限	五、七八	五、七四
三月限	五、七七	五、七四
豆粕現物	一、七八五	一、七七〇
一月限	一、七七五	一、七七〇
二月限	一、七七〇	一、七六〇
三月限	一、七八〇	一、七五五
五月限	一、七七〇	一、七五〇

銀塊

上海栗金市況

【上海二十八日發本社特電】海外銀塊反撥を入れた栗金市場は千百五十五弗三と下放れて始め更に五十一弗まで崩れ結局五十二弗で終つた日本向け爲替正午唱値は百二四八分一買唱へである

大連銀栗況前場

【大連二十八日發本社特電】波瀾を孕んだ本年の鈔票市場は最高百四十四圓最低九十四圓と遂して本日本前場を以て大納會となつた本朝入電のロンドン銀塊は印度筋の賣買で二十一片丁度と八分の一方反撥したのとカナダ筋の殘分落容み報じ寄付九十九圓丁度（安値）と睨りに始めその後も反撥妥安に買方の前退と日本人筋の買物に百四圓丁度の高値で本年掉尾の活況を示した出來高三百八十一萬圓

	寄	引
現物	一、七八〇	一、七六五
一月限	一、七七〇	一、八〇〇
二月限	一、七七〇	一、八〇〇
三月限	一、七八〇	一、七六〇

名聲益々高し！

淋疾の本格的治療法

慢性と再發症に就て

慢性淋疾とは

淋疾は感染後、約一、二ケ月を經過すれば既に慢性症に移行したのである。而して、それより以後の療法は頗る困難とされてゐる。

（註に曰、慢性症状は大體に於て變化なく、朝、尿道口が癒がるか、或は日中、少量の分泌液あり、尿中に淋糸あるも患者の苦痛は比較的少なく一見經過良好の感がある）

この慢性淋菌は尿道內の粘膜表面にあるにあらずして、實は尿道粘膜の細胞組織下を蠶食しつつ潛在してゐる。

不徹底なる治療法

しかるに從來の治療法は、この慢性淋菌に對しても、內服藥を用ゐて尿と共に尿道を通過させるか、或は洗滌、注入等にて藥液を尿道內に注入、塗布する方法が最も多い。

（註に曰、內服藥を服用し尿と共に尿道を通過させるも、其の作用は尿道粘膜の表面を一時的に滑流するに過ぎない。又洗滌、注入藥を尿道內へ注入するも、內容が水溶液のために尿道彈力にて直ちに尿道外へ流出し、其の作用は僅か數分であり、從つて其の效力は頗る遲々として進まない）

慢性患者は不安なり

斯くの如き治療法にては、尿道粘膜表面の淋菌には作用するが、尿道粘膜深部に潛在する淋菌は容易に死滅することなく、ために慢性淋疾の治療期間は甚だ長日月にわたり、短きも半年、長きは數年、十數年にわたり、患者は氣候の變り目、或は不攝生の都度、忽ち再發の憂目に惱まされ常に耐え難き苦痛と不安を感じつつある。

こゝに着眼し多年にわたり各專門家に依囑し、苦心研究の結果、創製したのが日、英、米、佛、專賣特許、ウラルゴールである。

ウラルゴールの本質

ウラルゴールとは殺菌力强大なる特殊の銀劑と粘膜深達性に富む色素劑とを獨特の方法により化合して粉末とし、この粉末を直ちに溶解する薄き皮の細き管中に入れたものである。

此の管を尿道へ入れると、管は忽ち溶解し、內容の粉末は尿道彈力によつて尿道粘膜の微細なる部分にまで平等に分布密着し、其のまゝ、徐々に溶解浸潤しつゝ、僅か一本にて數時間の長きにわたり尿道內にて連續的に殺菌作用を營み、其の殺菌力は、つひに粘膜表面の淋菌は勿論、尿道粘膜側管及び深部の慢性淋菌にまで深達するのである。

驚くべき成績

故に、從來の治療法にては殆んど全治する見込なき慢性患者に對し、ウラルゴールを二三十本使用して、忽ち快心の結果を得たる實例は、すべての實驗者が異口同音に感嘆する所にて、ウラルゴールが淋疾療法上にかける新貢獻なりとして、喧々たる名聲あるは實に當然である。

獨特の效力と其の治療方針！

▼慢性症には最初に短管十本入一箱、大ぎに中管十本入一箱を使用すべし。

▼惡性か、或は數年にわたる慢性固疾症は短管、中管の大ぎに長管十本入を使用して徹底的に治療し、再發を防止すべし。

▼不攝生、或は時候の變化にて、再發したる患者に對しては、先づ短管、大ぎに中管を使用すべし。

▼初感染早々は短管三本入を使用すべし。

▼豫防用としてウラルゴールを應用する場合は、其の翌日に於て短管一本を使用すれば、よく豫防の目的を達し、感染の不安去る。

（註に曰、兼後、廿四時間以內なれば尿道口より入りたる淋菌は短管一本にて死滅す。故に從來の豫防法と異なり其の翌日に使用して可なる點が實際問題として非常に便利なり）

使用法は頗る簡單にして安全

ウラルゴールを尿道へ入れるには、添附のクリームを尿道へ入れ、大ぎに管を尿道へ入れれば、何等の不安も、手數もなく。しかも長時間の作用中も無刺戟にして副作用なく、且つ內容が粉末なれば、洗滌、注入等の如き水壓力全然なく、從つて淋菌其他の汚物を後部へ移送する危險がない。之等の諸點はウラルゴールの獨特の效力と併せ大いに苦心完成したものである。

日英米佛專賣特許

ウラルゴール

ウラルゴール一本の殺菌時間は數十回の洗滌注入に優る。未實驗者は即時、之を使用して快心の結果を得られよ！

ウラルゴールの種類と價格

短管三本入（豫防用、初感染用、少女婦用、子宮頸管用、男子慢性及び再發初用品）	スポイトクリーム	〇円七五
同　十本入（急性慢性用）	同	二円〇〇
中管十本入（女子慢性及再發用）	同	二円五〇
長管十本入（男子慢性固疾用）	同	三円〇〇

（外に大箱入、病院用あり）

治療用としては一日一本或は二本使用の事
豫防用としては廿四時間以內に一本使用の事

類似名あり、ウラルゴールの短管、又は中管、或は長管と必ず御指定を乞ふ。

各地の藥店及びデパート藥品部にあり。若し品切れの時は直接發賣元へ御註文あれば代金引換其他便宜の方法にて直ちに發附す。（前金註文は送料不要、郵券代用にても可）

東京市日本橋區本町三ノ一
製劑發賣所
發賣元　友田合資會社
振替東京二七八〇・二八一・七四九一・七四四七
電話日本橋（二）九三八

實驗各博士の說明書進呈

街に散る花（14）

竹田敏彦作
寺本忠雄畫

追憶の十字架（五）

師走も下旬に入ると、亞谷里の學校も冬休みになつた。買出しで賑ふ歳末の街は、やがて迫る新春を思はせた。

明けて二十歳の春を迎へる亞谷里の周圍は、決して寂しいものではなかつた。家には多少の蓄へもあり、彼女のことなら目もない母もあつて、實は亞谷里は何の惱みもない苦勞知らずの一人娘だつた。そのうへ、新らしい多趣味の才に惠まれて、[illegible]の外に、文學もやる。學生街の演劇研究會へ入つて、脚本の朗讀もすれば、女には新らしい戲曲も書くといふ。さうした亞谷里には、自然異性の友達も少くなく、天與の美貌も手傳つて、寄り集ふ若い學生達の間では、可成、女王のやうな華やかな存在として謳はれてゐた。

かうした連中は、ことごとに、亞谷里の家へ押しかけた。が、母の久代は、決してそれを拒まなかつた。それは、娘の愛に盲ひた無智な放任主義からではなく、[illegible]亞谷里の將來、良き將來の夫を物色しようとする親らしい望みからであつた。[illegible]

[illegible]亞谷里は、母と連れ立つて、上野の廣小路へ、正月の買物に行つた。その歸り途、[illegible]行の電車に乘つたが、暮れの市電は混んでゐて、大分包を抱へた二人は、やつと空いた吊革を探して取縋つた。その時、亞谷里はすぐ前の坐席から自分の方を見上げてゐる林田を見て、ビックリした。

「あら――」

彼女は思はず、聞いたやうな聲をした。

「ほア……お母さま、林田様よ」

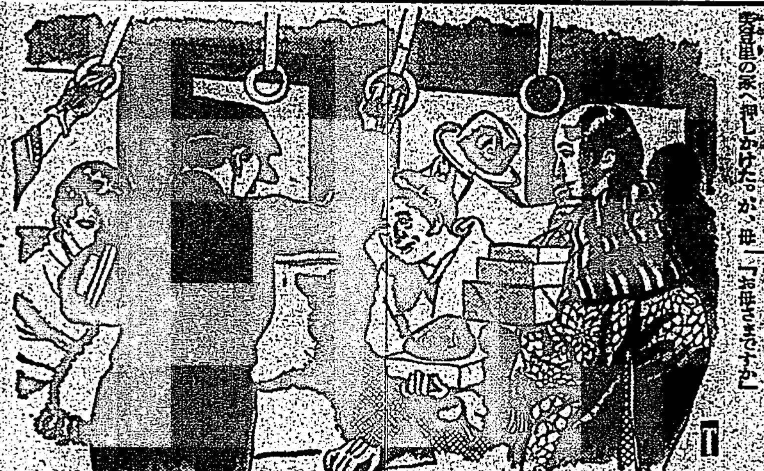
「さうでしたか、亞谷里がいつもお世話になりまして」

久代は鄭寧にお禮を言つた。

ガード近くになると、道は急に淋しく、暮月の下に静まり返つてゐた。それが却つて親しみを感じて、

「ねえ、お母様、[illegible]お茶でもいかなかつたら、お寄りを願つて、お茶でも召上つていただきません？」

母の方へ同意と加勢を求めるやうに言つた。



[redacted]

「お買物ですか」

「ほア、ちよつと濱小路まで」

「代りませう、お荷物を持つて大變でせう」

林田はもう立上つてゐた。

「あら、恐縮でございますわ」

「遠慮すると、人が掛けますよ」

「ちや、お母さま、掛けさせていただきなさいまし。ほんと濟みませんわ」

久代は會釋して掛けさせて貰つたが、帝大の角帽を被つた林田の男らしい凜々しい容子を、眩しげに見上げてゐた。

電車は間もなく坂本二丁目に着いて、林田もそこで一緒に降りたが、

「御婦人にはすこしこの道は寂しすぎますね」

親切に同行の意を示してくれた。

「ほんとに電車が不便で困りますわ」

「お母さまですか」

ラヂオ

午前の部

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操（今週の指導臺北附屬小學校教官[illegible]）今朝のお天氣のお知らせ—臺北觀測所發表、臺北近郊今朝のお天氣のお知らせ（臺北のみ）

【七・三〇】全國氣象通報（東京）家庭料理獻立（臺北第一高女家事部[illegible]）（一家揃うて祝ふ元旦のお獻立）一、吸物二、口取三、煮物四、燒物五、小丼六、中皿七、香物

【自九・〇〇至九・四〇】日曜勤行（京都）（天台宗山門派門跡寺院青蓮院熾盛光堂より中繼）一、勤行法華三昧之次第—大導師門跡大僧正赤松圓麟外一山大衆二、法話法華三昧之後—門跡赤松圓麟

午後の部

【〇・五九】正午の時報、氣象通報—臺北觀測所發表、放送局編輯ニュース、晝間娛樂時間（レコード演奏）うたの明治、大正、昭和（流行歌謠集）德山璉、内田榮一、四家文子、藤本二三吉、小唄勝太郎、市丸、平井英子、ヴオーカル・フオア合唱團

【五・〇〇】子供の時間（東京）ラヂオ・スケッチ「年の暮と子供達」東京放送童話研究會、新井太郎

【五・二五】講演（臺北）未定　立教大學野球部久保田部長、福田主將外

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間（臺北）アナウンサー忘年座談會　JFAKアナウンサー一同

◇藝苑餘技の夕

—自六・二〇至八・三〇—

【六・二〇】大阪より（未定）

[illegible]

【九・二〇】氣象通報（臺北觀測所發表）放送局編輯ニュース、新聞社提供ニュース（各局）公示並告知事項（各局）明日のプログラム發表（各局）

雜誌紹介

▲改造（一月號）今月の創作欄は光つてゐる。谷崎潤一郎氏の「猫と庄造と二人のをんな」は大號完結のものだが、標題の示す如く猫を中心としての二人の女の愛欲世界。一匹のリリーと云ふ猫の動きが巧みに描き出されてゐる。横光利一氏の「青春」も久しぶりの好短篇、この他珍らしく長谷川如是閑氏の「哈爾賓の幻想」があり、中野重治、川端二氏も書いてゐる。大衆讀物は、海音寺、邦枝、木村の四氏が各自得意のテーマを捉へ來つて執筆してゐる。特輯は杉森孝次郎他三氏の「世界」にかける日本民族の問題」夏目漱石の「英文學研究」も珍重に値する。内田百閒氏の新隨筆は例によつてユウモアに滿ちて快く、また本誌が坪田讓治氏に童話を書かしめたのも興深い。その他[illegible]山本二氏の「日本[illegible]組合」[illegible]と市の「王正廷を圍んで座談會」大刀山の「歷書」談等[illegible]、別冊附錄は「政治年鑑」（定價一圓東京市芝區新櫻七ノ一二　其社）

▲文藝汎論（創刊號）懇話會員が交代編輯してその月々の個人雜誌みたいな形式でゆくと云ふ興味深い趣向の懇話會の新雜誌本號は上司小劍氏の責任。島崎藤村、正宗白鳥、德田秋聲、近松秋江、宇野浩二、中村武羅夫、里見弴、横光利一、菊池寬、廣津和郎、岸田國士、川端康成、オシユコルヌ等の諸氏が大變氣持よげに執筆してゐる。創作は室生犀星、平川虎臣の二氏。隨筆に手頃であり、内容は充實してゐるし、一般より歡迎されるであらう。次號編輯は岸田國士氏（定價二十錢東京市麴町區内幸町一ノ三大阪ビル文藝懇話會）

文藝

一九三五年の論壇を顧みる

石濱知行

三

ナチス・ドイツの文化革命の報道が、いまた往耳に新なる時、日本にも機關說反國體論が政府によつて糺明され、各大學に特別なる思想講座が新設され、文化統制の聲が漸く高くなつた。そこへ突然文部省の天下り帝展改組が行はれた。つづいて文藝懇話會が三井の金をもつて文藝界統制に乘り出して來た。文藝院の設立さへ唱へられた。文壇にも多くの贊成者があつた。これは著作權擁立が目的であるが、その裏にはその技術的目的以外に政治的目的があることが、專門家の一村尊一氏によつて指摘された。そこでかかる文藝統制に對する賛否の論が論爭された

この文藝懇話會や著作權議會をもつて、直ちに日本に文化統制が行はれると危惧するのはどうかと思ふけれども、日本の政治の動向が獨占主義の名をかつて合法的ファシズムへの傾向をとりつつある今日、そして思想統制などが著々として進行しつつある今日、文藝統制も早晩何等かの形をとつて來ることは必然であらう。その意味から、文藝統制についての論爭が起つたことも大いに意味がある。文化統制は、結局文化への政治の干渉である。文化を、文化そのものの價値によつて評價しないで、政治的な立場のみによつて評價することである。そしてその文化が、政治的に支配者の立場にある思想と合しなければ、文化として如何に立派なものであらうとも、これを壓迫するのである。かかる政治的意圖をもつ文化統制が、如何に文化を歪曲し、文化を偏頗せしむるものであるかは言はずして明瞭であらう

かかる文化統制への反對は、一般政治的鬪爭を必要とするものであるが、文藝界においても文藝人は、先づ自らの自主的な態度をつくること、各人がもつと社會的視野を廣くして假裝的假面を被つて現はれ來る統制の先ぶれをよく見分けるだけの見識を必要とする。行動主義が失敗したのも、彼等に社會的な定見、社會的現實に對する認識を缺いたがためであつた

かかる反對に對して、文壇の一部では、懇話會の主宰者の人格を信ずれば良いではないかとか、出す金ならそれが資本家から出やうが政府から出やうが變つたら良いではないか、とかいふやうな論が出てゐるだがこれは文壇人のもつなげやりな、氣分本位の思い所である。いまの世の中で、個人の人格は如何に立派なものであらうとそれは問題ではない、その人が如何なる機關の一部として働いてゐるかが主要な關心事である。その人格を信じてゐるうちに、いつの間にかその人格を動かしてゐるその背後の大きな組織の擒囚となつてしまふ。金にしてもさうである、金を利用するも良いであらう、しかしそれにはその金の出所、その滅ぜんとする役割をよく見破つてすることが先決問題である。金はそれが意圖することを明確に判別する。それ自身は一片の紙幣にすぎないが、社會的には、そのうちに重大な支配、被支配の社會關係を隱蔽してゐるのである。人格、紙幣といふものを、抽象的にただそれだけのものとして、認識することは淺薄な考へであつて、それらが内包しそれらが背負はされてゐる社會的役割の方が、ことにいまの世の中では、必要な事だ

最後に、資本主義日本の社會における殘存物としての封建的諸制度に對する評價についての論爭が行はれてゐる。この論爭はいまだ進行中である。來年の論壇に展る問題であらう。政治的見解が先に立つてコジツケに終ることのない樣に、あくまで科學的に論爭されることが必要である

日本の詩歌に對する反省

（中）

福本卓

—以上日本の詩歌音樂に對して、極端な偏僻に近い批評を與へたが、それ等の批評は全部的に眞理か、而して日本語の詩歌は、かく偏僻せねばならぬ程に低級なものかを反省する餘地がないであらうか—と云ふ事を自ら反省して見る時、私の心の一面は、直ちに日本の詩歌はそれ程に棄てた物ではないと叫ぶのである

○

然らば其の事を知りつつ何故に私は自ら認める云ひ過ぎをしたかと云ふと、斯く云ひ過ぎる事によつてのみ、實は日本詩歌の特長を闡明に說明する機があつたからである。—即ち云ひ過ぎを訂正しつつ介明をなす事によつて云ひ殘した日本詩歌の特長と、未來性を說明する事になるのである。私は日本の詩歌に就ては、或程度の失望を感じてゐる。だが某博士が、音樂はドイツ（特にベートベン）に限り、日本に生れたのが不幸であるなど云ふ言葉に贊成しない。博士が獨のハーモニーをヘルムホルツの音樂論などから論じて、無價値なものだと云つてゐる言葉などには贊成できぬ。ヘルムホルツの議論など云ふものが士魂低級な學說で、それを買ひかぶるのは頭の程度が知れて居るので、この批評はヘルムホルツ崇拜家の一般に呈したいのである

またヨーロッパ音樂の最近の傾向か、從來の硬的格律とでも稱すべき約束から脫して、雅樂の曲に近いものが現れ出して[illegible]からと言つて雅樂を最高の音樂と自惚れる譯にもゆかぬ

私は日本の詩歌音樂をけなし、且つ西洋の音樂の聖典を輕蔑して、さて何を誇らんとするのか。讀者はまさに予の思想の矛盾を笑ふであらう—然り矛盾である。[illegible]胸中の一般情を強いて云ひ表はさば矛盾たるべく、矛盾たるべきである—否、矛盾なるが故にこそ眞理を誇らんとするのである。科學價値と異なつて藝術價値は、優劣の標識を缺き主觀の範疇には勢い言葉がない

○

私は日本の詩歌、歌謠、音樂に對する不滿を細かに反省して見、また日本の詩歌歌謠中の私の愛好するものを考へ合せて見て、この兩者の差異を檢討して見て實は意外な發見をしたのである。—それは原則として、徳川時代の所謂「風流人」の作つた唄は殆ど、詩歌藝術にかて全く無價値なものであり、また三味線の伴奏によつて歌はれる歌は、實になさけないと云ふ一大事實である。—徳川といふ陰慘な封建制度のために、[illegible]情や[illegible]に歪められた[illegible]自然[illegible]徳川期の詩歌や音樂には天眞の流露や、感情純粹の新鮮さは全く缺けてゐる。この故にこそ徳川時代の日本歌謠は、私の如き眞情の發露を求むる者の胸にピタリと來ぬのである

だが吾等が一度、これ等の三味線的な屋内の詩歌音樂から離れて民謠の世界に來ると、やつと日本語も藝術的な詩歌である事にほつとするのである。日本の詩歌から民謠を除いたなら日本の詩歌界は全く暗である。加茂眞淵は「古への歌は調を專にせり。うたふものなり」と云ひ、[illegible]は「詩は性情の眞を直ふ。十五國風天籟の辭あり。而して後世の文士の及ぶ處に非ざるなり」と讃じて居るのである。而して又私は知つてゐる、地方の三味線を使はぬ民謠が、一度お座敷に入つて三味線の伴奏によつて藝者に唄はれると、直ちに山野の素朴が失はれて[illegible]民謠としては面白くもない別のものに墮落してしまふ[illegible]全く別物であり、[illegible]三味を使はない大島節が藝者によつて[illegible]歌曲されてゐる

日本の地方の無名の詩人によつて作られ、無名の作曲家によつて節づけられた幾多の傑作は、實に粗朴な牧歌的な味はひと眞情の流露によつて、ピタリと胸に響いて來る。馬子唄や追分節、大島節や舟唄や其他數々の民謠の優れた味はいは如何か。これを四疊半趣味の淺薄なる三味線と比較して見よ。實に山野自然の大[illegible]

青龍刀

▲中野實氏が某紙に連載してゐる「花嫁設計圖」は非常な好評だが、この小說の男主人公といふのはガスメートルの檢針員なので出入りのガスメートル屋さんすつかり感激

▲メートル調べに行く家の女中や家族のものをつかまへては、「讀んでゐますか？あんな面白い小說つてありませんよ」と宣傳して歩いてゐる

▲此頃は又、東京中のガスメートル檢針員を語らつて、作者中野氏に記念品を贈るんださうだ

▲だが、中野氏に言はせると「そんなことよりも、あれを書き出すと、材料をいろいろ提供してもらへたので助かつたですよ」

最近着の雜誌

▲近代劇場（十二月號）▲日本[illegible]（十二月號）▲[illegible]（十二月號）▲短歌研究（一月號）▲兒童文學（一月號）▲[illegible]（一月號）▲[illegible]（新年特別號）▲天台（新年號）▲東方公論（十二月號）▲[illegible]（一月號）▲[illegible]（十二月號）▲現代俳句（一月號）▲[illegible]公論（十二月號）▲人の噂（一月號）▲つはもの（第五百二十六號）▲南國（一月號）▲月刊ロシヤ（新年號）▲大日（第百十七號）▲教育女性（十二月號）▲財界之日本（十二月號）

トンボ鉛筆

キヤラメル　ボンボン

玉突台　世界的選手　東京市芝區田村町　鈴木龜吉商店　[illegible]只今發賣中

入浴で身體を　はれやかで　頭腦を休ませる　[illegible]

日光ペン　◆全國文具店に有り◆　東洋精鋼會社　東京市小石川區丸山町一六

胃腸

唯一の養護劑

榮養と消化に

マダルモン錠

食慾の進まぬ人・榮養不良の人
胃腸の惡い人・病後衰弱の人

食慾が進み、消化がよくなり、榮養が增し、胃腸が強くなり、體力が回復し、全ての病氣に對する抵抗力が增し、一日一日を健康に樂しく暮す事が出來ます

理想的の榮養消化劑にして、其の効果の卓越してゐる事は服用された人々の等しく認めらるゝところであります。マダルモン錠はビタミンBを多量に含んでゐますので食慾を增進させ又脚氣の豫防と治療にも理想的であります。

價格至廉
六十錠入　四十錢
三百錠入　一圓五十錢
千錠入　四圓五十錢

發賣元　株式會社　塩野義商店
大阪市東區道修町
東京日本橋區本町

[redacted]

髮洗ひ

花王シャンプー

髮を洗つて新年へ・・

初春のお髮を見事に仕上げるために
花王シャンプーで　さらつときれいにお洗ひ下さい
平素のくせ毛が　なくなるばかりか　その色艶に
氣品が榮えます

日本髮・洋髮　一回分
少女方なら二回分　一個・五錢

對馬洋子

東京・花王石鹸株式會社長瀨商會・大阪

花蓮港廳の御用納式

【花蓮港電話】花蓮港廳では二十八日午前十時から會議室に於て本年の御用納式を舉行藤村廳長一場の訓示を爲し午良警務課長廳員一同を代表して答辭を述べ十時半終了した

澎湖廳の御用納め

【馬公二十八日發】二十八日午前十一時から郡元廳長は廳員一同を會議室に集め御用納め式を舉げ年末年始に際して夫々訓示を爲す所あつた

宇野警務課長が衛生課長を兼務

臺北州衛生課長の後任決定まで當分の間宇野警務課長が衛生課長を兼ねる事になり二十八日付で發令があつた

東部臺灣の開發に 大規模な移民計畫
明春から花蓮港、臺東兩廳が 共同で適地を調査

【花蓮港電話】東部臺灣の拓殖開發を目指し產業百年の大計を確立する大方針の下に花蓮港廳では臺東廳と共同戰線を張り之が準備工作に要すべき調査費三萬圓を本年度追加豫算として督府當局に要求し森田花蓮港、關田臺東の兩廳務部長が過般出府の上之が折衝中であつたが二十七日夜歸廳した、折衝の

結果は 督府當局も右の計畫案には非常な乘氣で大體豫算配布の諒解を得たものの經費の都合上調査費は五千圓に削除されたので廳當局は最初の調査方針に多少の變更を加へ前記の諸計畫の中移民招致に伴ふ土地の調査を先決問題と認め取り敢ず廳下に於て將來大規模の移民を招致するに當り廳下の人員を收容すべき適地があるかにつき調査を進める事にし明年一月早々調査に着手し六月末迄を以て

終了し その結果によつて更に本格的移民計畫を確立し十二年度豫算に計上し督府當局に要求する事になる模様である

基隆市の明年度豫算
各課ともに要求額は仲々尨大で 査定は骨が折れよう

【基隆電話】基隆市十一年度豫算は二十七日夜學務部の新規事業に就て各課長の說明を聽取した位でまだ全て見當はつかぬが各課とも莫大な要求額に上るべく査定には骨が折れる事だらうが大體の見當は次の通りである

△勸業　經常臨時を合し約四十萬圓、新規事業としては高砂市場の改築費二十萬圓、之は老朽甚しい[illegible]の改築、八尺門に於ける同方面の發展に伴ひ市場の新設が必要とされ之等が約八萬圓と[illegible]の次は[illegible]之は內地で加工するまでもなくい技術者を養成して基隆で加工すべきものである、其他は水產職位のもので何れも少額

△教育　經常部二十萬圓で約三十萬圓、臨時が五十萬圓で約二十萬圓何れも十年度豫算より增額、新規事業としては公會堂二十萬圓、双葉小學校講堂四萬圓、天神町オール二萬五千圓などが大口で海水浴休憩場の改築、瀧川公學校に附屬ある青年教習所設置、仁愛院に精神病棟增築、市營住宅改築、學級增加九と之に伴ふ校舍の增築などが主なるものである

△土木　特に新しいものと云つてはないが十年度から繼續事業としてゐる道路開鑿、擴張即ち綠町から眞砂町へ拔ける山越え道路と基隆神社から無線山を縱斷して前記橫斷道路に結び付ける新道、女學校前の擴張、主要道路の鋪裝、橋梁架け替へ等々約六十萬圓に上る見込み

△衛生　經常臨時を通じ約四十萬圓、市區計畫に伴ふ墓地の移轉と火葬場の改築、隔離病舍擴張等が最も大物であるが產業界の發展に伴ひ勞働者が著しく增加して風土病、傳染病など前年の三倍になつてゐるが之に對する防遏費など一向殖えないので動きが取れず出入船舶增加に伴ふ海上衛生に就ても現在のままでは手が出ないから之等に對する施設費と人件費を相當要求してゐる

水產講所設置に 高雄で猛運動
代表五名が廿九日出北して 關係要路に陳情

【高雄電話】高雄水產講習所設置期成促進會は既報の如く督府當局に對し請願運動を起した後實行的運動を開始實行委員十五名を擧げて具體策を練つてゐたが過日の市協議會にて第一教育府當局に陳情書提出を決議したので促進會に於て第二段の運動に邁進すべく歎願書を起草し廿七日實行委員中村一造氏外數名は內海知事を公室に訪問して督府宛歎願書の取次方と援助方を願ひ出たが實行委員五氏は廿九日午前五時半高雄驛發列車にて出北督府要路を訪問して直接陳情することとなつた

澎湖廳の係長異動

【馬公二十八日發】澎湖廳庶務課では二十七日左の通り係長の異動を行つた

會計係長羅田晟、勸業久保恩兵衛、[illegible]、土木[illegible]

花蓮港三社の總會開かる

【花蓮港電話】花蓮港木材、電氣、朝日組の三社では廿八日夫々總會を開き決算報告を爲した

木材會社 三十二回決算は收入二十七萬七千三百六十四圓十五錢、內六萬六千五百三圓五錢の益金中三萬五千圓を固定資金に繰入三萬二千五百二圓五錢の純益を舉し大いに村田專務の手腕の現はれを見せてゐる

花蓮港電氣 三十二回決算收入十四萬四千五百六十四圓七十三錢內四萬三千百二十七圓四十八錢の純益で本期は新城公埔玉里、カレワン、北埔各方面の電力供給區域を擴張してゐる

朝日組 二十六回決算は收入十萬四千百二十五圓六十七錢純益七千六百五十二圓二十錢であつた

何處までも祟るジユノー號

【馬公二十八日發】臺灣法制公論十二月二十日發行紙上に發表された安保辯護士の「天地の公道を誤る勿れ」大里前臺北地方法院長の「ジユノー號事件とその飛沫」と題する論文は穩當を缺くものとして馬公要塞部では憤慨してゐるもの如くで又復問題を蒸し返しはせぬかと憂慮されてゐる

農業教員養成所選拔試驗 東京帝大農學部農業教員養成所の入學志望者は總數二〇九名の多數に上り本島よりは十一名の志望者があるが、その選拔試驗は明年一月十三、四、五の三日間臺北市樺山町文教局會議室にて行はれる、詳細は文教局學務課に問合はされたいと

河部五郎一座 きのふ乘込む

新春の劇壇界を彩る河部五郎一座一行五十餘名は豫定の通り二十八日華々しく臺北に乘り込んだ、日活時代から劍戟士として知られてゐる河部氏に臺北南カフエー組合女給總出で出迎へる賑かさであつた、一行は二十餘臺の自動車を連ねて驛前から臺灣神社に參拜、それぞれ旅館に落ちついたが、二十九日町廻りをなし、元旦を初日に榮座にて開演の豫定（寫眞は臺北驛前の一行にて中央は河部五郎丈）

基隆から香港へ 水牛を輸出
高雄のお株を奪ひさう

【基隆電話】二十八日午後基隆出港商船基隆香港間臨時船第二十六共同丸で基隆名物水牛が二十頭、香港に向けて輸出された荷主は桃園の陳日本氏で基隆から水牛の輸出はこれで二回目であるがこれからどんどん輸出されるとの事どうやら高雄のお株を奪ひさうで基隆埠頭に聚つた荷役が見られるやうになつた譯

臺銀聯珠競技 臺銀俱樂部聯珠部では其の忘年大會を二十七日南門町俱樂部に開催熱戰の結果左の成績を收めて午後十時散會した（番付井澤六段）一等九十九里勇治（二勝）、二等青池彌壽郎（二勝）、三等元木太郎、以下佐々木章、內藤保、伊勝章、浪見恒金之助、松本三千三、大石太郎、東松善信（以上一勝）の順

漁場の調査で 鮪群の洄游判明
漁夫連鐵腕を撫して待つ

【高雄電話】高雄州水產試驗船高雄丸は二十七日午後四時鵞鑾鼻沖海洋調査並に新南群島西方漁場調査を完了して高雄に歸航したが同船の齎した情報は次の通りである　鵞鑾鼻沖海洋調査後九日間危險區域西方の海區に於て九回に亘り操業を行つたが使用漁具總數四百鉢に對する漁獲物は鮪百二十二尾、旗魚十四尾、鮫十八尾その他五尾合計百五十九尾にて平均漁獲率は四、四尾當は六、二である試驗海區にかける水溫は表面の最高二十八度最低二十七度平均二十七度八分にして百米層の最高二十二度二分最低二十度九分、平均二十一度〇、五海里及び一海里の時速を示したが同海區は危險地西方を北上する暖流域に當り今後水溫の降下するに伴ひ潮流なる鮪の大群回游するものと見られてゐると

讀者優待大福引

本社は恒例に依り**昭和十一年の新春**を迎ふるに當り聊か祝意を表する爲め左記の方法で**本紙月極購讀者の優待福引**を擧行致します

一、日時　一月二日午前十時より午後三時迄

二、場所　臺北、基隆、新竹、臺中、彰化、嘉義、臺南、高雄屏東の九市及び、汐止、士林、北投、淡水、瑞芳新店、板橋、新莊、宜蘭、頭圍、羅東、蘇澳、三峽桃園、大溪、中壢、竹南、竹東、大湖、苗栗、豐原集集、南投、埔里、員林、斗六、西螺、新營、旗山花蓮港、玉里、里壠、臺東、馬公の三十四ケ所に於て擧行致します

三、抽籤券　福引の抽籤券は別に印刷して前記各取次店より前以て讀者に配布します

四、方法　抽籤券は各地別々で共通使用は出來ません、當日抽籤券を本社を始め各地取次店に御持參下されば之と引換に福袋一個を差上げます、此の福袋の中には景品の等級を記した桃色紙が密封してあります、この桃色紙を直ぐ取次店內の引換所に差出せば現品と引換へます、福袋には空籤は一本もありません

五、當日限　抽籤券は當日限り必ず各取次店に御持參を願ひます、郵便其他に依る引換へは總て無效と致します

六、景品贈呈　福引に加はらざる前記四十三ケ所以外の購讀者全部に對しては三日の新聞と共に景品として本社特製の手拭を贈呈致します

臺灣日日新報社

癈疾の老人を 慰める感心な少女
基隆市瀧川公學校の 兒童たち六人と判る

【基隆電話】優しい少女が數ケ月前から癈疾の老人を慰めてゐたと云ふ美談—本年夏頃から基隆市瀧川町の名食收容所市立基隆養命室に毎日の如く訪れ自分の食べ殘した辨當（結構に半分にして食べ殘り）或は全然箸のつかない辨當を贈つて癈疾同樣の哀れな身寄りのない老人をいたはり慰めてゐる數名の學校兒童の居る事が知れたので收容者に名前を聞いて置く樣命じてゐたがどうしても本人が云はぬ爲當記に調べさせた所瀧川公學校の三年生陳氏寶鳳さん外五名の兒童である事が最近漸く判つた其の後も引續き優しい姿を見せてゐるが近頃一寸見かけない美しい話しである

黃牛と印度牛の 雜種を作る
新竹州で計畫

其の具體的內容については未だ發表を見るが、州畜產係黑田技手は本年夏頃から印度東方面に赴き同地方で優秀の折紙を附けられた印度牛カンクレージ種牡牛十頭を購入、二十八日歸新した、右十頭は新竹郡一、竹東郡四、竹南郡一、苗栗郡二、大湖郡二の割合で夫々の畜產組合に割當て黃牛の改良を圖る筈である、抑も若牛の黃牛の牝は能力弱く農耕に堪へず、前記印度牛カンクレージ種は牝牡の力量の差少ない爲め黃牛との雜種を作れば黃牛の牝も能力增加しよく農耕に堪へる樣になり新竹州下の黃牛の大改良を爲す意向であると

嫜媒を虐待

【臺中電話】臺中市寶町四ノ四に最近開業した某醫師夫人が月頃使用してゐる嫜媒劉氏燕玉を虐待し全身に腦病症を起さしめたので最近大甲郡清水街の實母の所へ逃げ歸り虐待の告訴を提起したので郡當局では和解を勸告してゐる燕玉は生れて間もなく父に死別れ母は各所を流轉し其間燕玉は數回に亘り次から次へと貰られ七歲の時臺中市寶町某より前記の所に貰られて來たもので、彼女は實母戀しさに心當りを探してゐたもので風の便りに清水街にゐる事を知り久し振りに母子の對面をしたものである

今日の船

（△印は貨物船）

▲出港
はるびん丸　後四時　門司　商船
屏東丸　正午　安平　同
△中華丸　前十時　高雄　同
△泰洋丸　午後　採炭　同
△廣安丸　後五時　高雄　同
△海平丸　後四時　馬公　同
△第三日清丸　午前　淡水　同

▲入港
△明海丸　前七時　須崎　商船
△西山丸　午後　淡水　同
でりい丸　前六時　蘇澳　同
△泰洋丸　午前　新嘉坡　同
山東丸　前七時　大連　丸一

▲在港
盛山丸　第一岸壁　商船
大和丸　第二岸壁　郵船

感情の對立あれば それの解消に 乘出してもよい
緒方臺中地方法院長談

【臺中電話】緒方臺中地方法院長は二十七日着任したが二十八日朝官舍にて特に記者に對し言々血を吐くが如き熱誠の至情を傾けて左の如き談話をなした、それは同院長がジユノウ號事件の解決につき一身を賭して積極的に乘出さんとする意見を表明したものとして注目される

久し振りだね、君から御懇切な電報を頂いて有難う、大いに目星して邦家の爲め盡したいと思ふ、電報や手紙をくれた人が外にもあつた、君とは同期だつたね、齋藤高等法院長も同縣の

先輩 で高地に赴任される弘俣の學校（明治大學）の講師をも兼ねてゐられたやうな關係で赴任前から臺灣の司法について大いに談じもし御意見も聞きたいと思つてゐた、何れ來春早々初度巡視があるだらうから胸襟を開いて語りたいと思ふ、未だ會つた事はないが純學者肌の人で人觸りのよい立派な人だといふことだから御目にかかる機會を待つてゐる、我々は每日天皇の御名により裁判をなしてゐるが裁判といふものは形ばかりが整つてゐても駄目だ、その裁判に自分の魂を打ち込んで置かねばならぬといふのが僕の十數年來の

持論 で、之は曾に過去月報に於て愛の裁判を書いた時一部を發表したと思ふ、天皇の御名により裁判して行く我々は常に上御一人の御爲め國の爲めといふ念頭以外何事も考へてはならないものである、僕は十九歲の時から既に卅年同樣の[illegible]

湘浦伯の知遇を受けて來た爲めか自然自分より大きな器と見れば好んでその人に接近しその人物の光に打たれ自己人格の向上完成に努力して來たものだ、曩頃湖南國駐日大使蔣介石氏が臺南に來られた時二時間程膝つき合せて飲む機會を得た、初對面の人ではあつたが本島人中稀に見る大人物であると惚れ惚れとしたものだ、その蔣介石氏より北支那に於て活躍してゐる內臺人の模樣等を聞き、軍人といはず、民間志士といはず恐くこれ國家の爲めに

生命 を投げ出して眞劍に働いてゐる事を知り我々內地人の斯界における現在に鑑み環境の相違こそあれその生活振りや其他に眞劍さを缺いてゐることに思ひ及びし密かに恥ぢ入つたものだ、ジユノウ號事件以來新聞紙の傳へる所では軍官民の[illegible]

新殊な空氣は昭和十年の夢にして一日も早く解消させたいものである、高等法院長の披露宴に軍部から一切出席しなかつたと新聞紙は傳へてゐるが、これは定めし軍部には軍部の都合があつてのことと思ふが、若しそれがジユノウ號事件から派生した餘波であるとすれば我々は進んで此の空氣を

修正 せねばならぬ、此の修正に誰一人乘出すものがないとすれば僕自身乘出してその役を勸めてもよいと考へてゐる、事の成敗は敢て眼中にない、一死以て陛下の爲め國の爲めに奉ずる覺悟あるのみだ、元來軍人は詔の御旨を拜し[illegible]御馬前に生命を[illegible]

命を投げ出すといふ強い信念を自覺する機會を持つてゐない人もある、日本の現在の國情はジユノウ號の如き問題に何時迄も捉はれてゐる時ではないと思ふ、その昔時なら格別、既に過去となつた今日ジユノウ號の如き小さい船が五度や十度右を向いてゐるやうが左を向いてゐるやうがどうでもよいではないか、ジユノウ號位によつて帝國の安危は

微動 だにするものでない、併しジユノウ號そのものは將來と雖も新たな事件から軍官民間に感情の疎隔を生じ今尚疎隔として大問題だ、大きく言へば國力に影響を與へるものである、我々司法の職にあるものとして上御一人に對し奉り誠に相濟まぬ[illegible]

現在を檢討して考へて見なければならぬ事はないか、修正しなければならぬ事はないか、深く考へさせられる所である、私の健康も殆ど元通り恢復しつつあり未だ新任の柳川司令官は勿論荻洲參謀長にも御目にかからぬが、年が明けたら

機會 を得て御目にかかり御互に期する所は天皇陛下の爲め國の爲めといふより以外何物もないのだから赤誠を披瀝して御互の誠と誠をぶつけ合つて語り合つて見たいと思ふ、御互に誠さへ忘れねば大抵の蟠りは除く事が出來るものだ、柳川將軍の爲された第一聲軍官民の協力一致も決して至難のことではないと思ふ、假に新聞紙の傳ふる如く今日の軍部に何等祟りたらざるものがあるとすればそれ[illegible]

萬なかだち
求職一件一回　金壹圓
其他　一回　金壹圓七拾錢
五　名　言

商品券・電話　買入　金高く
北市建成町二ノ九　電ワ三二五　正和

電話參〇五參番　買物
建成町二ノ九　正和

女給拾數名募集
臺北京町　ボタン新館

女中入用　[illegible]

頭の痛みと疲れに

安心して服める頭腦藥

ノーシン

正宗です！

凡そ「あゝ藥が効いたナ」と心から思ふのはノーシンを服んでスーツと頭痛が消えて頭がハツキリして行く時の事でせう、これは正に頭痛に對する寶刀とでも云ひませうか、これだけは鳴物入で理屈を並べ立てる頭痛藥でも到底ノーシンとは太刀打ちできません

三つの誇

（一）ノーシンには胃腸を惡くする成分を含んでゐないこと

（二）従つてわざ〳〵胃腸藥などを加へて無理に胃腸の防備をする必要のないこと

（三）誰が服んでも安全であること

試驗勉強や劇務で頭の疲れる方々にぜひ服んで戴きたいと思ひます！

主効
頭腦過勞・頭內朦朧
眩暈・精神憂鬱
頭痛・偏頭痛・頭重
胃腸に無害

定價　四回分…二十錢　十三回分…五十錢
七回分…三十錢　廿八回分…壹圓

★全國どこの藥店にもあり

製造發賣元　東京　荒川長太郎合名會社

奥様の御責任

おくさまは一家の御醫者様

大變な間違ひです

頭の榮養劑と一時抑へ頭痛薬の相違

「頭の榮養劑はれやか」が頭痛や氣ふさぎ、めまひ、齒痛に速く効くからといつて從來の一時抑へ頭痛薬（ピリン劑）と、大同小異のお考へでゐたら大變な間違ひです。一時抑へ頭痛薬と「頭の榮養劑はれやか」はその目的が根本から違つてをります即ち、一般一時頭痛薬は痛くなつてから一時まぎらしに服み、服みつづけると、胃腸や心臓に惡い作用をのこしますが「頭の榮養劑はれやか」は、頭の榮養の根源たる大腦、小腦、腦下垂體、頭腦細胞に不足した燐、カルシウムの榮養素を補給し、服めば服むほど頭をよくし、併も痛苦に速かに効く特長があるのです。

一時抑へ頭痛薬と頭の榮養劑はどう違ふか？

1・大腦
2・小腦 二日酔、睡眠不足、過度の勤勞や勉強、極度の心配事から起つた頭痛は、この大腦や小腦に蓄へられた頭の榮養素、燐、カルシウムが急激に消費された結果起る症状です。一般一時頭痛薬は無理に血管を擴らし、神經をひろげて、この症状を一時的に抑へるのですが、之が爲に惡い影響は胃腸や心臓を害ふことです。「頭の榮養劑はれやか」は痛みを速かに治す許りでなく榮養素、燐、カルシウムを補給して病原から良くして行く最新の頭の薬です。

3・腦下垂體・ ここに燐、カルシウムの榮養が缺乏しますと、腦ホルモンの分泌が減少するので、仕事に根氣が續かず、記憶力は減退しますが「頭の榮養劑はれやか」が頭をよくし、記憶力蘇活に効果あるのは腦ホルモン原基たる燐、カルシウムの補給になるからです。

4・頭腦細胞・ [illegible]か、腦の疲れで榮養素が不足し、炎症を起す故です。この場合血管を一時ひろげる頭痛薬でも、一時的には痛みを和げるが、之は副作用が著しい故に、その憂ひのない「頭の榮養劑はれやか」で速かに痛みをおさへ、併も榮養素を補給して根本的の手當をなすべきです。

風邪の頭痛（熱はないが頭がキリキリ痛む重苦しく鈍痛がある）旦那様の頭の疲れ（仕事の疲れ神經衰弱精力減退二日酔）お子様の試験勉強（根氣がない頭がボーッとして考へがまとまらない）などに（歯いた）一時抑へ薬（一時的には痛みを抑へるが心臓や胃腸を害ねる怖るべき副作用がある）でなく頭の榮養劑（痛みに速かに効くばかりでなく病症の根原ともいふべき頭腦榮養素燐カルシウム等の不足を補ふ）はれやかをお奨めします

主效 頭痛、齒痛、不眠症、神經衰弱、ヒステリー、疲勞回復、めまひ、二日酔へ、船車醉、胃腸に基く頭痛

藥價 三十錢・五十錢・一圓
二圓・三圓・五圓

東京市京橋區銀座西一丁目
販賣元・はれやか本舗 **日獨醫化學研究所**
電話(代表)京橋八二三〇番・振替東京二〇〇四二番

待望の立教野球團　元氣よくきのふ來臺

先輩や校友連に迎へられ　いづれも巨人揃ひ

本社招聘で來臺の立教大學野球チーム一行二十四名は久保田部長に率ゐられて二十八日入港の大和丸で來臺した。[illegible]雨に煙る基隆港に大和丸は午後一時豫定の如く雄姿を見せた。デッキに倚つた浦田主將は「選手一同至極元氣です、試驗で暫らく練習を休んでゐましたが甲子園で我らが敢然[illegible]しました」と元氣のいいところを見せる。

[illegible]で船は岸壁に横付けとなつて下船するや園友三浦、松本、山本などの先輩連及び校友連と「どうだ元氣か」と久々の對面に交歡を温める、基隆驛出迎への伊藤[illegible]、細川本社員と共に午後二時五分基隆驛發列車で臺北に向つたが、選手はじめ西郷、田部、高野、坪内、志摩、關田などいづれも巨人揃ひで[illegible]野球部選手で堅めてゐる

[illegible]團にゐる松林君などが却つて小さく見えるといふ始末「皆大きくなつたなあ」と校友連感歎の聲を放つてゐた、選手は既報の如く浦田主將以下十七名の外基隆出身の酒原、稲村の兩選手更に一昨年來征の折強打を振つた高野一壘手に過日の對慶大第一回戰に殊勲の打棒を振つた村田二壘手が加つてゐる

臺灣神社參拜後　總督を官邸に訪問

吾妻旅館で旅塵を洗ふ

來征の立教野球團一行を乘せた列車は定時刻午後三時[illegible]臺北驛構内に滑入した、プラットフォームには先輩、校友、[illegible]長、河村社長、大[illegible]長谷[illegible]記入以下本社員多數が出迎へて[illegible]と本社旗を構外にひるがへしつつ賑やかであつた、列車が到着するや直ちに驛外に現はれた久保田部長、浦田キャプテン、小[illegible]以下の選手に歡迎の[illegible]しみの關田、坂浦、杉田、別井、高野、志摩、寺内などの選手は先年の來征のときよりは一層がつちりして頼もしくみえる、旅客の[illegible]の疲れを慰め、元氣を祝する歡談のシーンが數分間續いて一行は直ちに本社旗をかざして驛前に用意された七臺の自動車に分乘し北門町から御成街道を眞直に臺灣神社に正式參拜し、それより再び自動車にて總督官邸を訪問した、[illegible]にて久保田部長が[illegible]挨拶を述ぶれば中川總督は一同の元氣を祝し[illegible]て退出、ついで長官官邸を訪問後本社を來訪して暫時歡談の後一先づ吾妻旅館に入り旅塵を洗つて[illegible]一夜の夢をやすらかに結んだ

選手の出身校

立教野球選手の氏名並に出身校左の如し

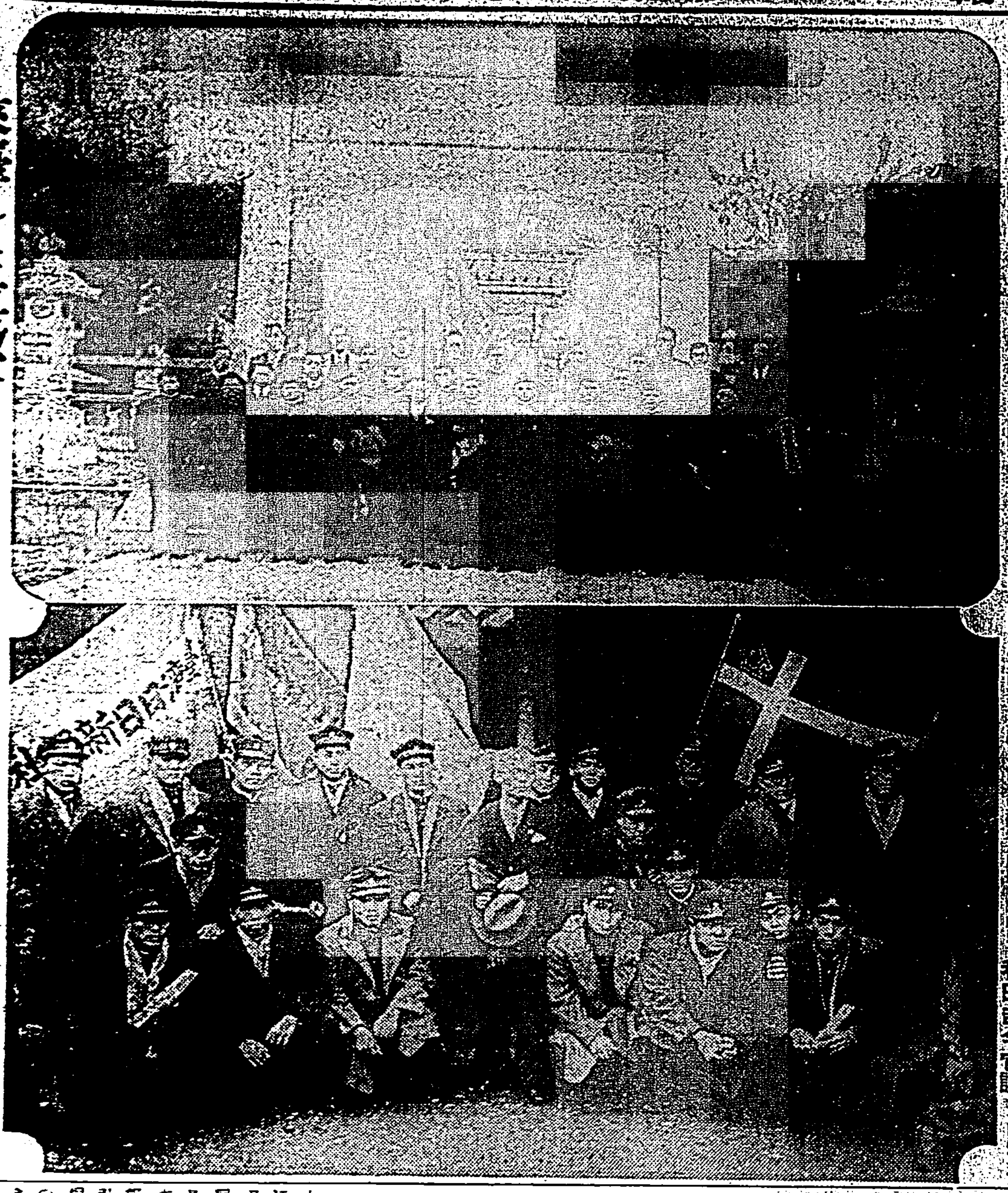
部長　久保田正次郎
マネジャー　齋藤　[illegible]
主將二壘手　浦田　健二（臺北一中）
外野手　吉井[illegible]一郎（臺北一中）
投手　關田　[illegible]（敦賀中）
坂浦　[illegible]（松山商）
有村　[illegible]（鹿兒島二中）
小山　[illegible]吉（豐橋中）
西郷　[illegible]（鹿兒島二中）
酒原　初雄（高雄中）
成田　[illegible]治（青森商）
捕手　別井　正二（栃木中）
野田　[illegible]夫（栃木中）
一壘手　黒田　忠司（姫路中）
高野　百介（松本商業）
二壘手　田部　[illegible]夫（廣陵中）
村田　貞良（松本商業）
三壘手　杉田　榮（廣島商）
遊擊手　西田　[illegible]夫（豐浦中）
北原　昇（松本商）
外野手　志摩　正司（廣陵中）
寺内　一隆（松山商業）
坪内　道則（天王寺商）
稲村　晃（臺北一中）

圓山球場で初の練習

けふ午前十時頃から

立教チームは二十九日午前十時頃から約二時間圓山球場にて初の練習を行ふことになつた同日各チームの練習時間は左の如くである

午前十時—正午　立教
午後零時半—二時　專賣
同二時—三時半　ＯＢ
同三時半—五時　臺銀


[redacted]

來臺した立教チーム（上）臺灣神社に參拜した一行（下）臺北驛前にて一行

臺灣拓殖の實現に努めた

中瀬殖産局長語る

大和丸きのふ入港

【基隆電話】近海郵船大和丸は二十八日午後一時半基隆入港、船客二百六十八名、積荷二千七百六十七噸、主なる人は和田馬公要港部司令官、中瀬殖産局長、藤山日糖社長を始め樺山總督の銅像除幕式に臨席の令孫樺山丑二氏、本社招聘の立教野球團一行、河部五郎一座で賑かであつた

和田司令官談　今回は軍令部に呼ばれて打合を遂げただけである、即ち鎭守府艦隊の各司令長官、要港部各司令官を呼んで防備に關する計畫打合が行はれた譯で恒例によるものだ、内容については御話し出來ぬ事勿論である

中瀬局長談　米穀生産費調査の委員會に行つて來た九年度の生産費は新聞に出てゐる通りだが後は悉議會で調査されるだらう、取あへず内地、朝鮮、臺灣は今後の考慮すべき點について打合せ數字を出さないで夫々調査方法を統一する爲め意見の交換を行つた、十年度の生産費は來年一月十二日より十五日迄數字を出すべき材料を持寄り東京で會議が開かれることになつた、臺灣拓殖會社は拓務、大藏兩省に對し原案を説明極力通過を圖ることに努めたが、長官は右の爲め尚若干折衝を續けてゐられる、内容の説明は川村、高橋兩事務官が殘つてやつてゐる、資本は三千萬圓で中一千五百萬圓は政府の現物出資とし、殘り一千五百萬圓の二分の一を民間より出資する事になるだらう、これが出來ると相當資本が動くから益々活況付く譯だ

藤山日糖社長談　龍巖の新工場が二、三月中に運轉を始めるし、虎尾第二工場の白糖設備も出來たので見に來ました、一月中居つて緩くり各工場を廻りたいと思ひます、砂糖は當分値段も下らんやうです、ジャワは閉場期の持越が七十萬噸ばかりありますが、三十七年度の消費が約三十萬噸といはれてゐますから殘りはなくなり、歐洲のビートも五六十萬噸減産ですから世界的に糖價はいい譯です

“萬感胸に迫る”

初代總督銅像除幕式に參列のために來臺した

令孫　樺山丑二氏談

祖父の銅像除幕式に參列の爲めやつて來たので二十九日朝式を濟ますと直ぐ同日午後出港のはるぴん丸で歸ります、父は今年七十二歳になり老齢のこととて參列出來ないのは殘念です、私は十五ケ年間英米にあつて二三年前歸朝した許りで今迄來臺の機會に惠まれませんでしたが祖父が初代總督として仕事をした土地だけに親しく[illegible]つて來て見ると萬感胸に迫るものがあります、私は現在アメリカの銀行その他の會社に關係してゐる外ゼーオースタヂオにも關係し生フイルムの製造、錄音等に從つてゐます（寫眞は樺山氏）

二十年前に作った　故樺山伯の詩二首

けふ銅像除幕式に大久保侯が　參列の代りにと三好氏の許へ

初代臺灣總督であつた樺山資紀伯の銅像除幕式は既報の如く今二十九日午前十時から總督府舊舎前に於て盛大に擧行されるが、此式に參列のため故總督の令孫樺山丑二氏は二十八日大和丸にて來臺、二十九日式を終了次第歸京の途に就く筈である、而右の除幕式には東京から故伯の側近に侍し極めて密接な關係を持つ大久保利武侯の參列を總督側や三好德三郎氏等故伯の昵近者側からも

希望してやつたが年末でもあり其の運びには至らなかつたしかし大久保侯から三好氏へ自分が行かれぬ代りに之を送るとて二枚揮毫を送付して來た、此詩集に依つて故樺山伯が「臺灣始政二十周年書懷」と題して大正五年五月來臺した時感慨無量な詩を二つ作つてゐたことが判明した、右の詩は

失雲掃盡[illegible]。
異域始蒙皇化新。
回首匆匆廿年事。
落花流水轉負人。

更に他の一首は

南洋千里化皇恩。
領城一開[illegible]夢魂。
回首暴風驟雨[illegible]。
[illegible]然都市改乾坤。

といふのであつて、二十年前總督として來任した當時に較べると都市も[illegible]然として恰も天地が[illegible]つた樣に改善され、二十年の昔が夢の如くであるとて故總督としては誠に感慨無量のものがあつたことが現はれる、而故樺山伯は明治六年の當時から臺灣の東西を奔走し、牡丹社討伐には參謀として參戰し、明治二十八年本島領有と共に臺灣總督として來任したもので、臺灣に取つては最も因縁を持つてゐるといふ（寫眞は大正五年、故伯が來臺した當時臺灣總督府舊舎前で記念撮影したもので、中央の頬ヒゲが樺山總督）

本格的内臺航空のダイヤ正式に許可

運賃規定其他と共に

昭和十一年一月よりいよいよ本格的に開始される内臺定期航空のダイヤ、運賃規定その他について遞信局より二十七日正式に許可があつた、その詳細は既報せる如くであるが一週二往復で毎月火、木、土曜日臺北・福岡兩地發、發着時刻は

上り
臺北發　午前九時（臺灣時刻）
那覇着　午後三時五十分（内地時刻）
同發　翌日午前七時（同）
福岡着　午後一時三十分（同）

下り
福岡發　午前七時（内地時刻）
那覇着　午後零時三十分（同）
同發　午後一時（同）
臺北着　午後四時（臺灣時刻）

となつてをり當分の間旅客輸送は搭載重量の關係で二名以内に限られてゐる、旅客運賃は

臺北　那覇間　五十圓
那覇　福岡間　六十圓
臺北　福岡間　百十圓

郵便物は

書狀　十五瓦（四匁）毎に十[illegible]
[illegible]　八錢
[illegible]　九錢五厘

其他である、使用機はフオッカーⅦＢ型雁、隼、白鷺、鳩、雲雀の五機、操縦士は大森正雄、加賀京助、[illegible]晃、森田勝人、阿部房平の五氏、機關手は鈴木善助、田代精一郎、[illegible]殿久藏、鈴木米太郎、五味善七、岡田理平の六氏である

ダグラス機の完成を待つ

慶谷航空係長語る

いよいよ内臺飛行を正式に開始するに當り遞信部慶谷航空係長が左の如く語る

内臺定期航空に關する色々な手續きも完了していよいよ新春一月二日から本格的に旅客、貨物郵便の輸送を一週二往復定期的に開始することになつたのはわが臺灣交通史上特筆に値するものと云はねばならぬ、これ偏へに總督、長官以下關係各部局長の御努力と熱誠なる島民各位の御後援の賜であつて眞に感謝に堪へないことである、本定期航空の實施に依つて内地、臺灣間は僅々十時間足らずで連絡し得ることになるので、本島經濟上文化發達上に資する利益ははかり知れないものがあると信ずる

ただダグラス機の作成が豫定通り進行し得なかつたため當分の間フオッカーⅦ機を使用することにしたために途中那覇に一泊するの止むを得ないことは遺憾であるダグラス機が出來上れば臺北から大阪まで一日のうちに連絡することになり朝飯は臺北、夕飯は銀座でと云ふやうな時代も近く來ると信ずる、臺灣の航空も整備時代から飛行時代に移り、更に國際定期の要衝たらんとしてゐる、航空國策に邁進するため今後も益々島民各位の援助を得たい

内地行の航空券　早くも四枚賣る

ホクホクの日本空輸

臺灣内地間定期航空の旅客扱ひは初春の空を飾つていよいよ二日より正式に開始されることになり二十八日午前九時から航空切符が發賣された申込者は意外に多く瞬く間に四枚の切符が賣れＮＯ１は大竹本社員の手に納められた、而四日の第二回上り便は清水組臺北出張所長土井堅吉氏（臺北、大阪間）ランヤ商會八幡[illegible]二氏（臺北、福岡間）の兩氏が夫々獲得し内臺旅客航空は年内に早くも賑はされた首途を見た譯である

殺到する果物や苗木に　係員は轉手古舞

手不足で悲鳴をあげる　基隆の植物檢査出張所

【基隆電話】植物檢査所基隆出張所の歳末風景は全くみじめであり氣の毒である、毎日平均檢物自輸手荷物五、六十個此の外に内地歸りの船客が持ち込む柑橘類を二萬二三千個位僅かな檢査員で檢査しなければならぬ最近は殆ど徹夜である之は出る方であるが、這入る方も正月用の生花と共に殺到するから全く死にもの狂ひである、當初九名の檢査員中新竹と臺林に二名取られ入營の爲一名闕員したので不足の上に猶不足を告げ本春出來た植物檢査協會から役員九名と職員五名が應援して呉れ漸る能率を上げたが檢査其のものは熟練した技術者でないと絶對に出來ぬ關係上、檢査員を增員し同協會外山會長外二名は殖産局に出頭百方陳情の結果漸く二名の應援を得たが二十八日の大和丸の如き[illegible]代船の影響を受け内地の檢査植物は山とつまれ悲鳴の態な有樣であつた

伊海軍の大演習終る

紅海作戰に重大關係

【アスマラ二十七日發聯合】紅海方面にかけるイタリー海軍を總動員した海軍大演習は二十七日成功裡に終了した、今回の大演習は紅海上未曾有の最大演習と云はれてゐるが、アスマラを中心に外國の侵入を防禦する想定に基づくもので演習の成果は將來イタリー海軍の紅海作戰に重大關係あるものと觀られてゐる

神兵隊の前田氏昨夕出所

【東京二十八日發】井藤士夫、野原夫氏と並んで神兵隊の兩首領と目される前田虎雄氏は御用納めの二十八日夕刻付で豐多摩刑務所を出所した尚同氏と共に白井爲雄氏も出所しこれで神兵隊被告五十九名全部出所し娑婆で新春を迎へる譯である

實子殺しの教唆を父が自白

日大生殺事件

【東京二十八日發】あり得べからざる肉親間の反逆事件として世人を驚倒させた本郷區西片町二ノ二五日大齒科生徳田貫殺しに就ては母親[illegible]と妹[illegible]子は既に殺害の事實を自白し唯親子を唆かして貫を殺させたとの疑惑で留置中の父親[illegible]だけは頑強に否認してゐたが遂に係の野村檢事に對し殺害の事實を自供するに至り茲にその眞相一切が明らかになつたので[illegible]三人の共謀の犯行として新春早々殺人罪で起訴豫審に附することとなつた

けふの天氣

△臺北地方　東の和風　曇一時雨
△北部地方　北東の和風　曇一時雨
△昨日の最低氣溫　七十[illegible]度四分（午前五時）
（臺北測候所發表）

上田判官剃刀で手首に斬り付く

臺北へ赴任の前夜

其後の經過は良好

臺灣高等法院長は二十八日午後談話の形式で左の如く發表した（寫眞は上田判官）

上田判官は本年十月頃より不眠症にて過度の神經衰弱に罹り、十一月初めより約一ケ月間臺北に於て靜養の結果快復したるに付き十二月初め赴任したるものなるところ本月十[illegible][illegible]

[illegible]を受けたが其後の經過良好である

匪賊二百を全滅さす

岡田部隊が激戰

【ハルビン二十七日發聯合】[illegible]

幽靈人夫を書きあげ　巧みに賃金詐取

福岡市の失業救濟土木疑獄で　土木課長も送局さる

【福岡二十八日發[illegible]】[illegible]

福岡縣の藥種疑獄更に擴大

【福岡二十八日發本社特電】[illegible]

活人劒　オールトーキー
荒木又右衛門
女人祭
オールサウンド版
伏見信子　[illegible]　河津清三郎　共演
芳乃館

元日より特別公開の最も面白い新興映畫
嵐寛壽郎　熱演
空前の豪華配役を得て完成せる稀有の傑作映畫
監督　マキノ正博

伊井友三郎　伏見信子　小宮一晃　主演
見故の春
國親居林喜美枝主演
渡世三世相
立花松[illegible]主演
若人の世界
芳乃館

いよいよ元日開館
一日より四日まで公開
披露番組
ベビー　お目見得
紺屋高尾
太平洋攻防戰
一圓　六〇錢　三〇錢
世界最高ＲＣＡフオト・フオン發聲裝置
國際館

一月二日內臺初飛行
開辦旅客郵便貨物
本社大竹記者搭乘

臺灣內地間定期航空。決定新春一月二日。正式開辦旅客。郵便。貨物等。內臺間交通史上。實一新紀元。夫以一千六百餘之長距離。飛洋橫斷定期航空路。歐美各國尙無。我社爲紀念此歷史的壯舉。以資航空思想普及。同日臺北發東上第一便。就航之越州式雁號。使本社航空擔當記者。整理部副部長。大竹文輔君。搭乘同機。爲最初旅客。征服處女空。執筆空界旅行印象記。揭載於新春本紙上。今後內臺空間旅行者。可徵爲好箇參考資料。供多大之興味也。

封印式日
總督禮詞

光陰如白駒過隙。匆々又經一年。茲舉封印式。回憶過去一年間。殊感慨。本月二十八日。恭逢第二皇子殿宮正仁親王殿下降誕。對我皇室之彌榮。誠[illegible]奉祝。回顧本年。適當始政四十周年。比例年有行許多施設事業。洵屬多忙之年。因各位之熱誠盡事。一切始終得好成績。其貢獻于本島文化之向上。實非淺鮮。尤余所感謝。一月奉迎李王垠殿下島內御視察。二月因練習艦隊之寄航。又奉迎御乘組久邇宮朝融王。朝香宮正彥王。伏見宮博英王三殿下。已諸事順進。本島山川咸沐光榮。感化民心實大。不勝恐懼感激之至。四月二十一日。新竹。臺中兩州大震災。乃本島稀有之悲慘事。對罹災民。洵堪同情。然對此應急及善後措置。不失其機宜。而使一般深懷倚安之念。復蒙天皇皇后兩陛下軫念。國民同情翕然表顯。使島民一視同仁內臺融和。如實體驗。所謂轉禍爲福。殊堪感謝。久無開會機會之府評議員會。經五年開會。而多年懸案之地方制度改正。亦見實施。其初次選舉。意外好成績者。畢竟一關係者諸君之熱心指導努力。及島民自覺使然。洵堪欣快。然最爲主眼者。在于以後制度之運用如何。余尤望諸君。更以不斷熱誠及努力。對制改正目的之共同一致國民精神振作。有以貢獻之也。又始政四十周年紀念式典。及同紀念博覽會。熱帶產業調查會等。皆始終得十二分成績。或使島民于自己現今如何。精確認識。且將本島重要性。使周知于中外上。或蒙本島天賦使命之對南華南洋經濟發展于適切資料供給上。有至大貢獻。對此不勝感謝。夫欲得此效果。須勿此次所得資料。將以如何利用之也。如是本年中施設事項中。卽其二三主要者。尙十分好成績。滿腔表感謝意。然對以後之成就。皆賴諸君之熱心努力。而尤痛感要加一層努力也。更觀世界情勢。列強相互關係。旣極緊迫。帝國亦際會非常時局。國民神經銳敏之軍縮會議。現開于倫敦。其結果難可逆料。隣邦中華之天地。亦非平靜。其爲東洋平和支柱之帝國。責任極大。而本島之使命。愈益加重。蓋吾人于內外兩面。擔當最緊張場面之新年。已迫在眉睫之間。于茲暫入休養時期。冀諸君鑑此時局之重大。此數日間。十分靜養。更以溌剌元氣。邁進于新任務。茲對年中精烈努力。衷心表感謝之意。並就將來之期待。而述所感。以爲封印式之禮詞。

兩切煙草著爲暢消
專賣局喜憂交併
新工場未能增製之間
當講臨時的變通辦法

兩切煙草之大衆暢消。爲世界共通象。旣於最近公表之統計。過去四年間激增四倍。而在內地。則突破二百億本。一面口付者。則降至爲百億本以下。與三四年前。呈正反對。臺灣亦然。爲是專賣局之工場兩切製造能力。不少感却困難。兩切賣出。昭和十年度下半期初期。爲七億千七百萬本。昭和十一年。至少亦當賣出八億六千六百萬本。專賣局煙草本年度全部賣出額。按實千六百九十九萬圓。而來年度當增加約百四十萬圓爲千八百三十九萬圓。呈空前之新記錄。依此狀況昭和十二年度當突破十一億本。現在兩切製造工場之擴大。經計上于明年度以降。三個年間。繼續計畫。然而新工場之作業開始。尙在十三年度下半期。又在下奎府町煙草工場之兩切製造能力。最大限度不過十億本。此間不足之額。當講究臨時應急方法。以應顧客之需。及擁護財源。卽時間外之勤務。繼續勵行。亦其一法也。聞大藏省對於兩切工場之建設費。頗拂以深甚注意。又兩切中。以紅葉利。最爲暢消云。

南滿鐵道運賃改正
明年二月一日施行
年額減五百六十萬圓

[illegible]十八日電。滿[illegible]爲[illegible]料金合理[illegible]正。與奧地開發計[illegible]。要將運賃[illegible]距離遞減。慎重研[illegible]正。[illegible]上關係當局認可[illegible]二十三日。已得認可[illegible]二十八日。奉天。[illegible]京（滿鐵本社）。[illegible]表。卽自明年二月[illegible]施行。大改正。卽[illegible]滿洲新事態。以[illegible]之使命爲根幹。其[illegible]目標如左。[illegible]國鐵。運賃機構[illegible]統一。[illegible]滿洲國產業。就中北[illegible]目標之國鐵線[illegible]運賃改正。[illegible]社線運賃。及料[illegible]北。[illegible]結果運賃料[illegible]社國鐵。[illegible]十萬圓。況國鐵線。年額五百萬圓。斷行遞減。又對重要物產之農產物。兩線各[illegible]。遞減四百五十萬圓。又實施期決定舊正交易閑散期。卽明年二月一日發表。又改正要綱如左。

一、普通運貨

國鐵分三地帶之運貨。其準置於最低率京岡線地帶。改正統一。採用遠距離遞減制。社線規行四等級制。統一於國鐵六等級制。而增大遠距離遞減率。

二、特定及割引運貨。

一、設定與地開發特定運貨。

一般特定運貨。相機改廢。

三、料金。

各種手數料。全部遞減。

四、運貨及料金規則。

貨主及從業員辦理便宜爲主眼。採用社國兩線同一規則。與隣接鐵道協定。將其內容整備改訂。

五、貨物等級表改正。

謀辦理簡易化。貨主利便。採用社國兩線單一等級表。

督府州市封印式

▲總督府　于二十八日午前十時。于正廳舉行昭和十年度封印式。府各高等官出席。中川總督有別項告詞。小濱長官代理答詞。十時半閉式。

▲臺北州　同時于州會議室全州員會集。野口知事訓示。戶水內務部長答詞。十時半閉式。

▲臺北市　同十一時。召集全所員于樺山小學校講堂舉式。松岡市尹訓示。樂滿市助役答詞。然後散會。

大連鈔票
本年大起落
納會掉尾活況

大連二十八日電。波瀾洶湧之本年鈔票市場。最高百四十圓臺。最低九十圓臺。本日前場大納會。本朝入電倫敦銀塊。印度空賣起至買埋。二十一片。加奈陀亦幾分安定。寄付九十九圓其後票金低廉。賣派買回。日本人出買。高值百圓。本年掉尾之活況。

票金低落
滙水百三圓

上海二十八日發本社特電　海外銀塊反撥。票金市場千百五十五弗三。更落至五十二弗。結局五十二弗終了。日本向爲替。正午唱值百三圓八分一。

意國攻擊英國之時
法國約相援助
首相公然在下院言明

巴里二十七日電。法蘭西首相。二十七日午後。於下院外交問題討議開始前。高唱法國政府。迄今對意神紛爭政策。終始以平和爲目標。有辭如左。

巴里和協試案。英拒絕。余無所異議。余旦該和協案。總以平和爲目的。余無所後悔。聯盟對意制裁問題起時。凡法國所當制裁之事。所要遂行之方策。余已實行。英國質問意國海軍陸軍。或空軍。攻擊之時。法國出何態度。余對駐法英國大使。明告法國立場。而對前英外相。亦同言明。卽余與英國前外相。在英法兩國及世界利益範圍內。發見平和擁護保障之最好手段。相與努力。一顧巴里和協試案。既已消滅之事。爲萬人所共認。然和協之道尙開。我等向來孜使日本獨逸兩國脫退聯盟之事情。必要十分留心。法國在今回意神紛爭之際。聯盟所出一切手段。就中對意制裁。忠實行之。英國或受意國攻擊之時。余已約援助。茲公然言明云々。

問信內閣
政府或勝利
法下院投票

巴里二十七日電。法國下院。有首相外交演說。[illegible]定二十八日。[illegible]議會討議意神紛爭問題。此外交討議後。拉麥當見內閣信任投票。與和協試。共運命而倒耶。或壓反對派。得議會信任耶。二十八日中。自明形勢。然消息通認最近現政府立場。幾分好勢。確信內閣信任投票。約差三十票。拉氏派勝利。

基隆魚市
紛糾解決

屢報基隆魚類小賣人協會對魚市仲買人組合之紛糾。二十七日市小松勸業課長已說得協會一邊。協亦體諒讓步。以非條件。納加盟手數料於組合。市當局考慮相當資金融通。同課長將情告於組合。組合亦表贊意。問題得於年內解決。協會卽以五百圓之保證金。納於魚市場。二十八朝已已爲買賣云。

特產各品
皆大暴落

大連二十八日發本社特電　特殊材料缺乏。銀高貴。各品暴落。大豆現物輸出者賣。與地投機者賣。價比昨日。低落二十錢。三等品五圓七十五錢。最低六十三錢。邦商優勢賣弃落。各限陷落至七十錢臺。

豆粕市況活潑。豆油低落現物十八圓臺。定期七圓臺。本年立會已大納會。本年各品高低如左。

	高値	安値
大豆	六圓二八錢	三圓五〇錢
豆粕	一圓八八錢	一圓二二錢
高粱	四圓八五錢	二圓六二錢
豆油	一九圓五〇錢	一〇圓八〇錢

駐意英大使
一時歸國
豫定二週間

羅馬二十七日電。駐意路拉文英大使。對二十八日自羅馬起程。豫定二週間一時歸國。二十七日發表此間英意間電大嘆案。大使會本國首相。及外相以談轉危爲安之道。大使未歸任之間。意神問題。或不展開云。

與俄絕交
正式公表
南米宇爾倪

[illegible]二十七日電。宇[illegible]國政府。二十七日[illegible]與蘇俄國交斷絕之旨。正式公表。旣對蘇俄駐宇公使。以下衆公使館員。發給歸國所要旅券。蓋爲蘇俄政府。托足宇國。援助共產運動。並以蘇俄外交機關。亦關係伯國之共產黨內亂云。

賀年電報
按增三成

賀年電報。昨年因宣傳過緩。本年頗覺普遍。昨年島內發信三千七百四十九通。本年按增加三成以上。又昨年發信。有爲前記之三千七百餘通。而受信多至四千四百九十五通。收入金一千二百圓。而本年遞信部。將用紙一萬張。配布于全島。觀昨年之例料于逼迫之三十一日。提出者驟至。故全島各郵便局。目下均爲待機。

基隆賀年狀
引受增加

基隆郵便局。至去二十六日。引受賀年狀三十三萬二千五百十八通。比昨年同日。增加二萬千七百五十五通。配達八萬一千六十五通。與前年無大差。然本年因一般好況。料有相當增收云。

本社招聘立教球團
一行廿四名抵北
參拜神社及訪各方面

本社招聘遠征來臺之立教大學野球部選手。一行二十四名。由久保田教授引率。于二十八日。基隆入港之大和丸抵臺。午後三時列車到北。受本社々員。臺灣體協役員。並球界關係者。立教大學校友會員。其他有志。齊至驛前迎接。下車後直赴臺灣神社。正式參拜。次對各關係方面敘禮。于同四時頃。訪問本社。歡談約十分告退。然後投宿于驛前之吾妻旅館。濯淨旅塵。

南京安亭間
及鎭江等處
頒戒嚴令

南京二十八日電。南京衛戍司令谷正倫氏。奉中央之命。任滬寧滬道南京。安亭間戒嚴司令。二十七日夜起。於該地帶。布特別戒嚴令。又鎭江。同日亦布其令云。

爲請願學生
平漢線不通

上海二十八日電。據河南省信陽來電。該地學生二千餘名。[illegible]

中國綏遠地方風景
有新舊兩城址及諸馬路
產物羊皮馬等爲最大宗

客有歸自中國綏遠者。談其地方風景。略謂綏遠省會。有城垣二。一個在東。一個在西。在東者。叫做新城。是前清康熙年間所建修者。在西者叫做舊城。年代不詳。新城面積不大。好比北平先農壇。舊城面積。大於新城。市上繁華中心點。故都在城外。民國十二年起。舊城々垣。大部分折去。交通極便。環城馬路。據本地人說。該馬路長約三十里。以外還有兩條石子馬路。是由驛站。通新舊兩城。此兩條馬路。大都有六七里遠。兩傍楊柳。夾道而生。霜降以前。青翠可愛。綏遠人士。把那條馬路。列在八景之一。叫做柳城陰。馬路邊。所有商舖住戶。寥寥無幾。有者公省立圖書館。省立體育運動場。綏遠毛織工廠。及某戲院。該戲院大可容二千餘人。公園有三。一爲烈士公園。一爲龍泉公園。一是農林試驗場。設備都遜於臺園。一過嚴冬。人跡殆無。以外還有一座賈家花園。所種海棠高而且大。一過盛開。則賞花士女。裙屐如雲。外遊之人。殆不一不到賈家花園。賞識海棠。綏遠土產。羊皮最爲大宗。其次爲馬。去年中賣出之馬。多至萬匹。現由省政府。獎勵馬種改良。藥品則甘草。黃耆。枸杞等。瓷器資料不甚好。種類亦少。發達無望。綏省婦女。比諸綏省較爲活動。省政府內。有三位女職員。但街上婦女纏足者尙占十分之三。鄉村更多。自臺灣人眼地觀之。有設天然足會。提唱改良之要。房屋大半是山西式。屋之後簷。高於前簷。而且三分之二。是用泥砌成者。外面再加一層黃土。用白石灰塗抹。食料強半爲土產。主爲筱麵白麵。除非食慣之人。皆不容易下咽。米比北平每包貴四五元。紅小西瓜每個重三四斤。須至舊曆八九月間。始能上市。是故綏遠有早穿皮綿。午穿衫抱著火爐吃西瓜。是言其天氣之急變。電燈電話之設備。雖付舊式。但較近鄉村處々。都有電話。可稱便利。其關於婚姻喪葬風俗。沒甚特異。所可異者爲出殯時。聯軸比竹竿還長。要再加一人。和著昇者。在傍照料。綏省人口尙不足九萬人。蒙古人占二十分之一。喇嘛數甚多。並有少數之還俗喇嘛。娼妓公娼有三戶。暗娼約五百戶。錢幣。銅元價賤於銅元票。每十二枚銅元。才能換得十枚之銅元票。然多半喜用角票。以其較便也。

家政女學校
增一學級

本年五月開校之臺中市立家政女學校。入學希望者甚多。本年定員五十名。竟收容五十六名。而來年豫想希望者激增。妥對州當局。申請增加學級。州當局亦認其必要。已決定增加一學級。來年度收容者約百十名云。

北港市場
第二次改築
歸三組落札

北港街市場。第二次改築工事。訂本年度中完成。去二十七日午後一時。集各包辦業者。于街役場。工場分爲三部。施行入札。結局北港福井。林啓。王推恩三組包辦。訂來一月初興工。北建物。卽向宮口街賣店二階建二棟十一軒。場內賣店五棟。總工事費四萬三千三百二十圓云。

花蓮港沿岸
砂防造林
本年度栽完

花蓮港廳。自昭和六年以來。以六年間繼續事業。對海岸一帶七十二甲。計畫砂防造林。爾來栽培中。本年度對米崙迄至附近海岸九甲。栽培木麻黃其他三萬本。日前已完了。又補植二十六甲。除此其他二十六甲。按明年實施。而初年度栽培者。發育皆良好。海岸一帶。風致甚佳云。

市內濱町
發生鑿傷案
原因爲被足蹴

臺北市濱町。去二十七日午後七時半。發生傷害事件。被害者爲臺北市堀江町包辦業者古山嘉四郎所用之雇人李朝枝。年四十一。是夜在濱町一[illegible]脫。當道接報。有所轄南署中原刑事主任。召集全刑事。嚴查犯人。朝枝負傷後。卽入大場外科醫院治療。聞要醫治二禮拜云。

臺南商業學校
改五年制
陳情督府

臺南市。私立臺南商業學院。爲希望將三年制。改爲五年制。實施甲種商業教育。爾來改善校舍設備。及教員之質等。由客年向督府。申請認可中。學校當局。欲期明年四月實現。種々計畫中。關右由州當局。愼重研究中。而學校當局。按近日出北陳情云。

蘭船在基隆
擅自行動
致延翌日開船

蘭船智加拉號。大一萬噸。月二十六日午後二時。自上海入基隆港。假泊港外。受港務部檢疫時。不卸整列於甲板上。致[illegible]時間。我港吏員及檢疫員。異常憤慨。又該船有上陸之船客十五名。乘船之船客百餘名。依慣例須一切手續後。始能上陸。又上陸後。仍使之乘船。然彼等不然。客未上陸。卽紛々下船。於是秋關及水上署。不許其夕刻出港。辛延至翌二十七日朝。然後許令開往廈門云。

殺人事件
事已自白

基隆。曙町殺人事件。二十七日午後。再度搜查。果不出最初所料情大藏金水所爲。蓋從一部發見之物的證據及人的傍證而究問之。至二十八朝。遂自白其犯行大部分。於是將入迷宮之事件解決。警察署爲之安堵云。

絞殺後妻僞作病死
埋葬後乃解剖
本夫已自供其犯行

基隆署。二十七日又起奇怪殺人事件。卽西町六七劉波之妻劉簡氏勝。年四十六。去十九日突然死亡。附醫師診斷書。二十日埋葬。後聞簡氏非病死。乃被殺害。事被基隆署刑事探知。二十七日午後。開始活動。因拘置其夫劉波。且召問其女劉氏麵年十七。及女婿曾福[illegible]落等。臺北刑事課員前往[illegible]。南北兩署刑事。分作兩路。蒐羅證據。午後五時。臺北醫專內田教授。及教員[illegible]。施行解剖。十七夜解剖被害者簡氏勝之死體。知非病死者。頸部有絞痕。絞殺證據歷然。留置中之劉波。已自供其犯行一部。[illegible]

金融樂觀株況活潑
帝人株一躍起四圓
其他好人氣價多昂騰

大阪二十八日電。東株實物市場大納會立會。以金融樂觀爲基調。料必春牌買氣。意外活潑。於好人氣之中。價多昂騰。新東株外十要株。雖仍保合氣配而人絹株顯騰。事堪注目。帝人株百二十一圓。加貴四圓。同新株七十四圓。加起二圓。其他頗呈好調。

下條博士
本日赴新嘉坡

英領新嘉坡。不日要開催之國際聯盟東局保健部第九回諮問委員會。我總督府特派技師下條久馬一博士列席。博士按搭本日基隆發之鳳山丸。開赴香港。與內務省加藤防疫官偕往。列席於自一月十五日起。至十八日四日間會議。然後更視察該地方狀況。按三月中旬歸臺云。

故守屋社長
追悼錄成

東京伯爵後藤一藏。長尾半平。宮尾舜治。高木友枝。鈴木伊十。上田恭輔諸氏。因初代本社長故守屋善兵衛氏。歿後已三年。念其生前曾長臺灣日々新報。及長滿洲日々新聞。於兩地帝國之統治。多所貢獻。今春三年忌前。特屬各方面有緣故者。錄其生平行事。以爲追悼錄。至於本月。始見發行。有阪谷男爵。德富蘇峰。山本悌二郎諸氏題辭。兒玉拓相。後藤伯爵爲序。且附入故藤園將軍。桂霞伯爵。貴族院議員故山脇立氏諸肖像。所錄故人事蹟頗詳。世之人。欲研臺滿過去政治。乃可參考云。

羅東小學校
決定移轉

羅東街役場。豫算編成上考慮中問題。其後羅東小學校之移轉。該小學現在[illegible]

債券盜案
二千七百圓

臺北市[illegible]署。司法係古賀警部。去二十七日。偕菊池呂兩刑事。赴宜蘭。調查某甲之嫌。其後更召往郡警察課調查。凡三時間。聞事件爲本月中旬。曾在萬華逆旅。抽一豪遊中之自稱天理教布教師。本島人林明年二十九。其人云十一月末。曾投宿於宜蘭同教布教所。與街之信徒往來。乘間竊取人家債券額面二千七百圓云。

生產黨員
廿八日送局

日來臺北州刑事課檢舉訊問中之生產黨橫尾某外二名。州之究整已就緒。二十八日午前已送致於臺北地方法院檢察局。中村檢察官方調查中。因證據關係其他。年內似難決定起訴與否也。

宜蘭

檢察著任

臺北地方法院宜蘭支部新任檢察官小倉公吉氏。月二十八日著任。

審查店舖

宜蘭酒[illegible]賣捌人[illegible]小賣人組合。主從宜蘭郡下店舖審查。自去二十[illegible]開始。月二十六日有[illegible]。向郡下賣小店[illegible]。[illegible]年倍加云。

臺中

歲末警戒

臺中州警務課。爲年末多忙。促各自注意。以防事故。印刷歲末警戒之宣傳單。經保甲役員之手。頒布各戶。其標語揭[illegible]自少々失敗。外出之際關門要嚴閉。夜間宜內明外明。

設慈善鍋

臺中市內十字街路。救世軍依往年之例。設置慈善鍋。由諸慈善家。集取寄附金。[illegible]爲赤貧者之救恤費云。

魚子少到

烏魚子之風味。內臺人均十分嗜好。每屆歲暮。多見暢銷。本年烏魚漁獲少。故來市內[illegible]市場。[illegible]到魚子者殊少。價格甚昂。目下卽每一斤三圓四五十錢。比常年只有三四成。欲購之人。多寡足云。

鶯燕紛集

臺中市內族亭酒館。咖啡店。喫茶店等處。藝妓酌婦女給。在臺博開期中。多自南來北。閉會後。陸續[illegible]。一面新來者亦[illegible]。然斯界之景氣。不似昨年之佳良云。

臺南

特製神棚

臺南市[illegible]公學。今回因當局獎勵神宮大麻。欲普及于各戶。[illegible]特製神棚。以廉價售諸生徒。藉以促進敬神觀念云。

再行製糖

臺灣製糖三崁店工場。因擴充場內。[illegible]一時[illegible]中止。至二十七日下午八時起。製糖再行開始云。

詩壇

歲晚書懷　五十嵐[illegible]洲

乾坤如逆旅。寒暑遞遷移。
昔爲紅顏子。今成霜鬢姿。
我生胡爲者。世間使思惟。
行年已六十。百歲恐難期。
非不委運化。世途嗟險巇。
山中木葉脫。颯々來風吹。
歲律難云暮。樂道心自夷。

全島聯吟大會

人海　左[illegible]　右[illegible]選

左元　曾笑雲

泉接貪廉勝一脈。流分[illegible]不同心。何當四起歡聲湧。帝澤恩波共感深。

右元　守坤

撲盡塵氣幾升沈。喚到空洋繫苦心。知否當年張養浩。不勝嗚我感偏深。

左眼　元鏡明

[illegible]洲安知萬衆心。思潮翻浪渺難尋。交通整理煩巡警。權作中流砥柱任。

右眼左花　盧史雲

[illegible]洞何知感慨深。不生身世共浮沈。時流時派爭新日。明鏡誰懸止水心。

右花左七　吳叔秋

該識有容感慨深。實我迷津不易尋。我自源頭悟生活。滴流指水沒盟心。

左四　吳士茂

島都洶湧起潮音。一片波聲萬衆臨。若個官隄防氾濫。往來愍傾左行心。

右四　吳子安

馬龍車水[illegible]手尋。[illegible]

偵探案（三）
新式科學的搜查（三）
棄屍箱中（二）

鈴川自擊斃鈴木後。自以爲算不知鬼不覺。將所強奪鈴木金五千圓。爲旅費潛歸故鄉。越宿又走向馬關。逃往朝鮮仁川[illegible]。京都府刑事課移文各府縣通緝。仁川警察署接到移文。內有鈴川秀[illegible]到新屆工人名冊。遂照所報[illegible]或同人改名。遂與之深究[illegible]者。問其履歷。他所答與船員所報者。頗有不同。益[illegible]疑。思外探取其指紋。送致京都照[illegible]以自[illegible]國。送到此間謀生。須守之。有似指紋者。以樂天派已安分。他去後。發見他所說[illegible]出。據大搜形[illegible]左手人指及中指。人指爲渦狀紋。中指爲蹄狀紋。撮影數枚。以一枚送京都府刑事課。與鈴川武指紋對照。知與鈴川秀乃鈴川武之變名。[illegible]